

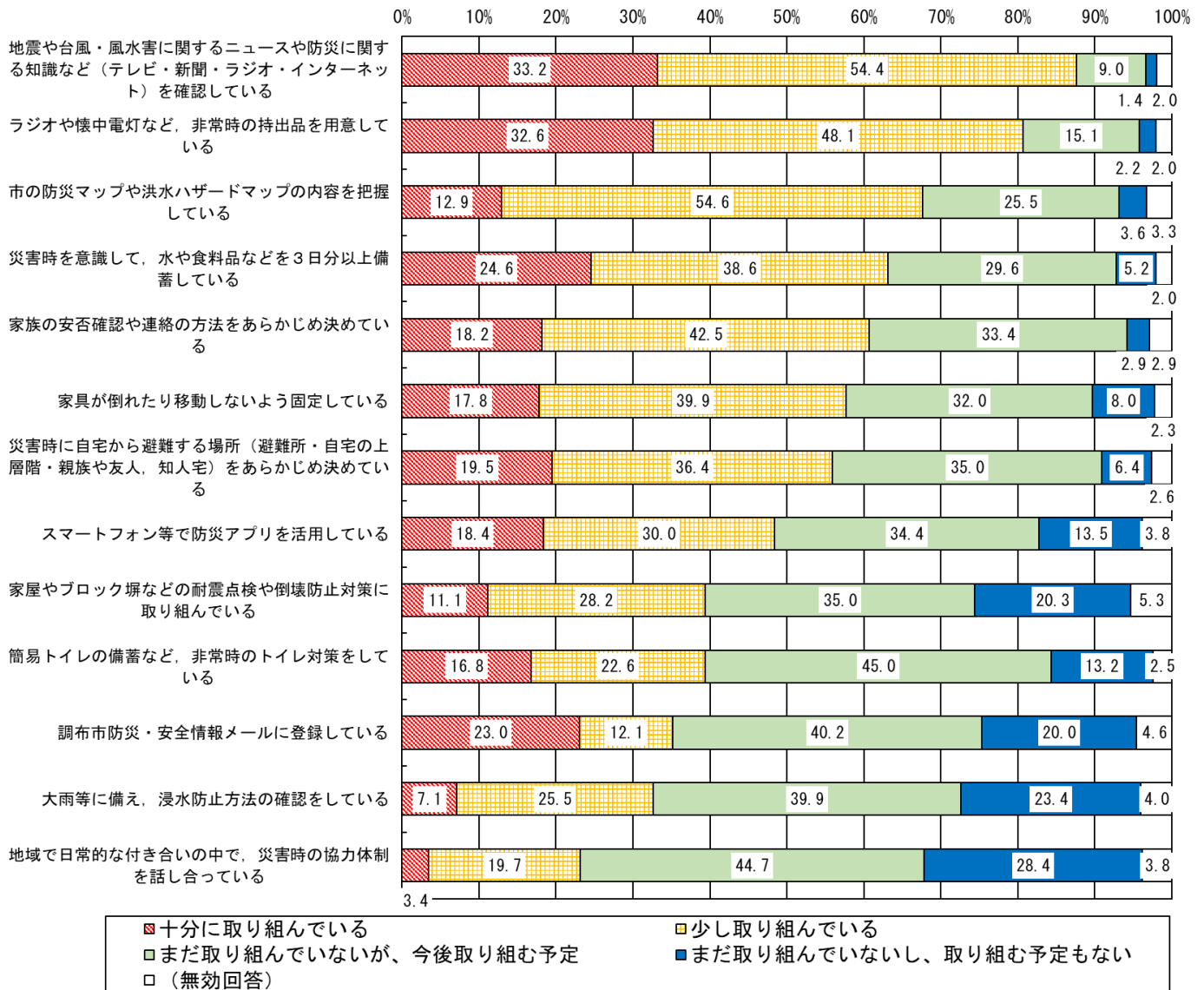
(3) 日ごろの意識や行動

【防災について】

問 14) あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。

<全体 (n=1,367) >

○「十分に取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」の合計は、「地震や台風、風水害などの知識を確認している」が87.6%と最も高く、次いで「ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している」が80.7%、「市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している」が67.5%の順となっています。

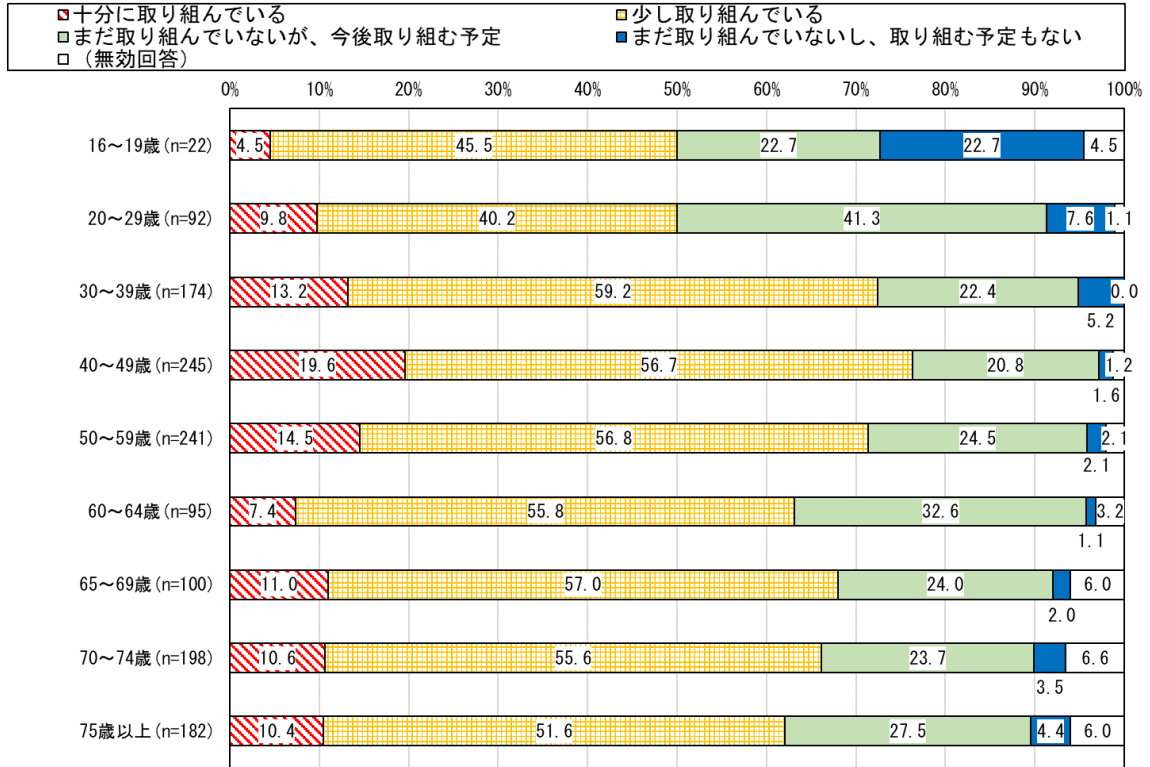


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

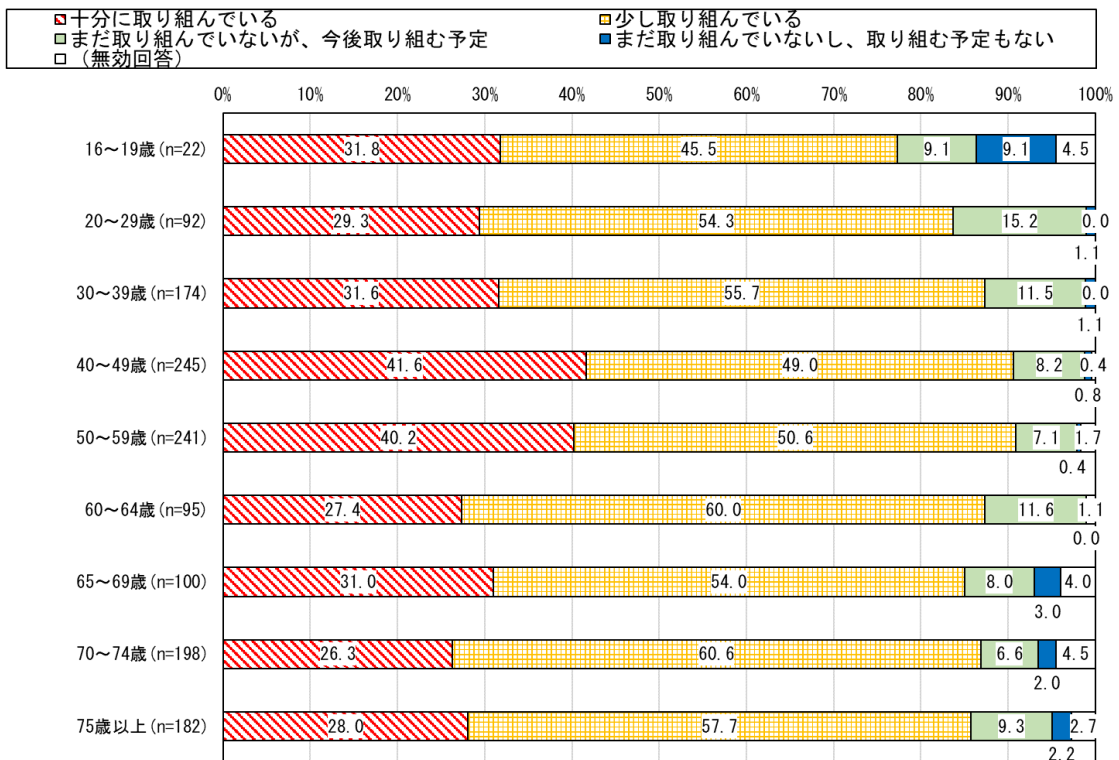
<年齢層別>

○「スマートフォン等で防災アプリを活用している」では、40歳～64歳が他の年齢層に比べ「十分に組み組んでいる」と「少し組み組んでいる」の合計が高くなっています。また、「調布市防災・安全情報メールに登録している」では、30歳～59歳が他の年齢層に比べ高くなっています。

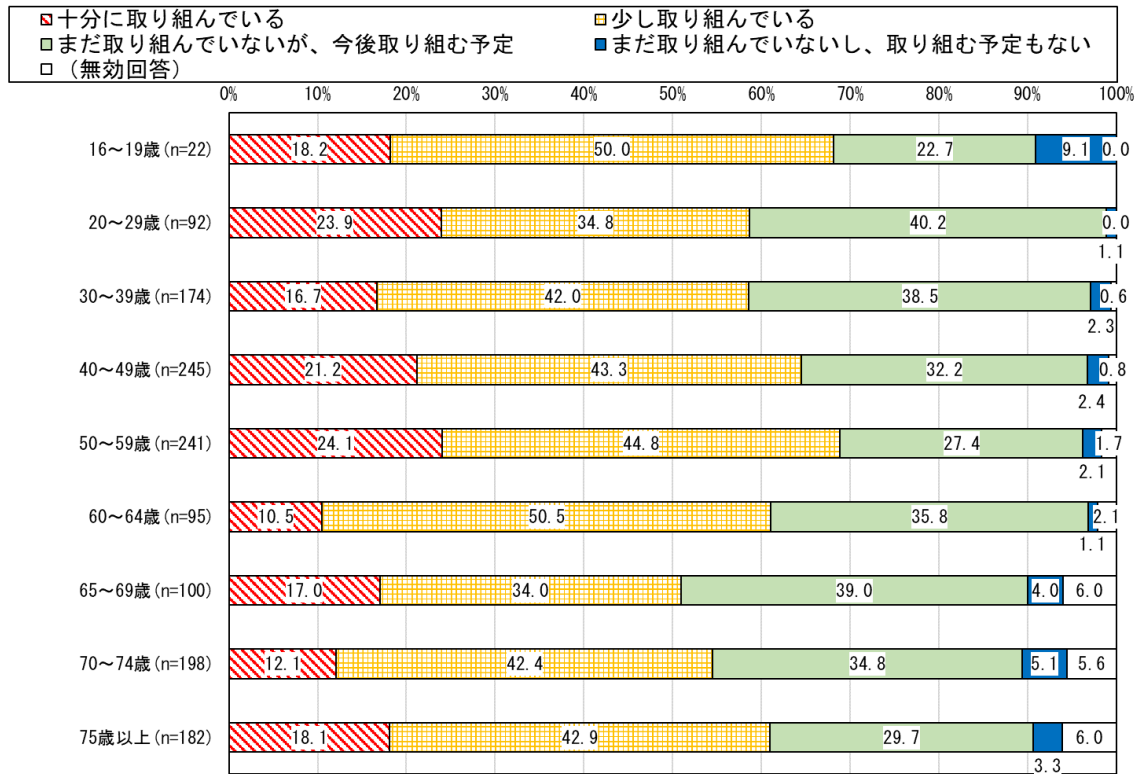
ア 市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している



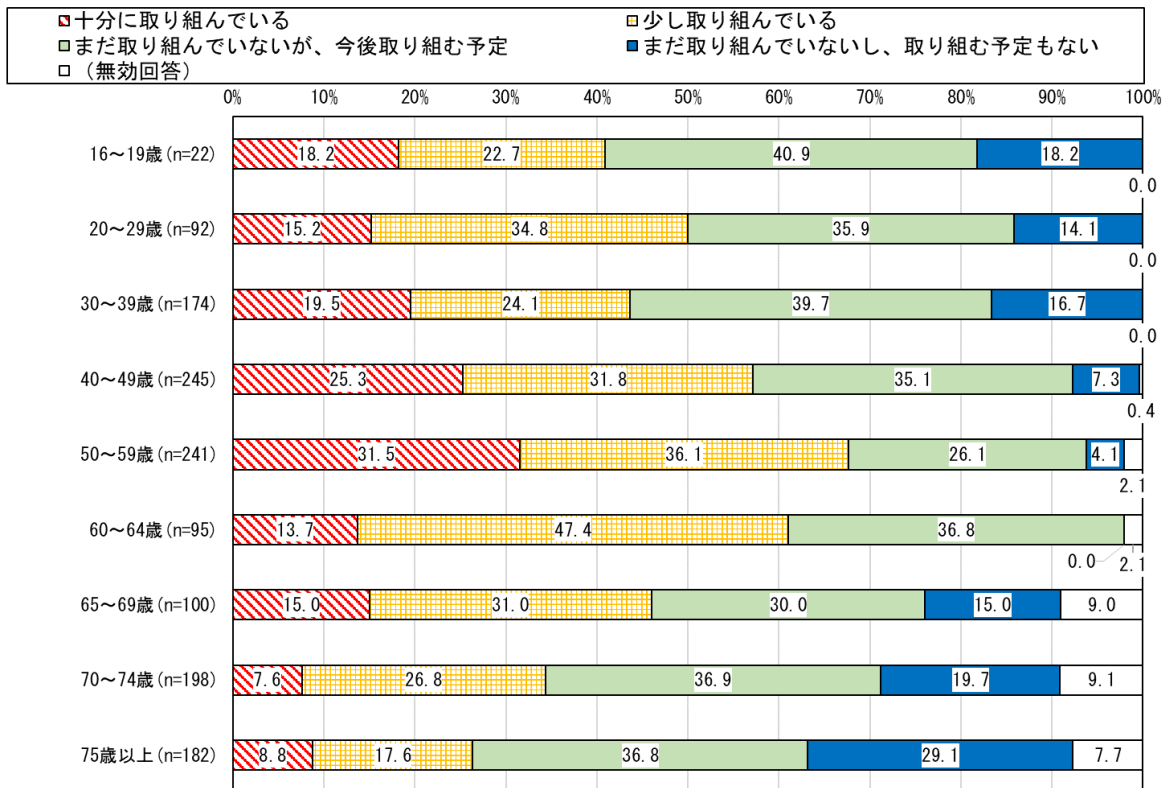
イ 地震や台風、風水害に関するニュースや防災に関する知識など（テレビ・新聞・ラジオ・インターネット）を確認している



ウ 家族の安否確認や連絡の方法をあらかじめ決めている

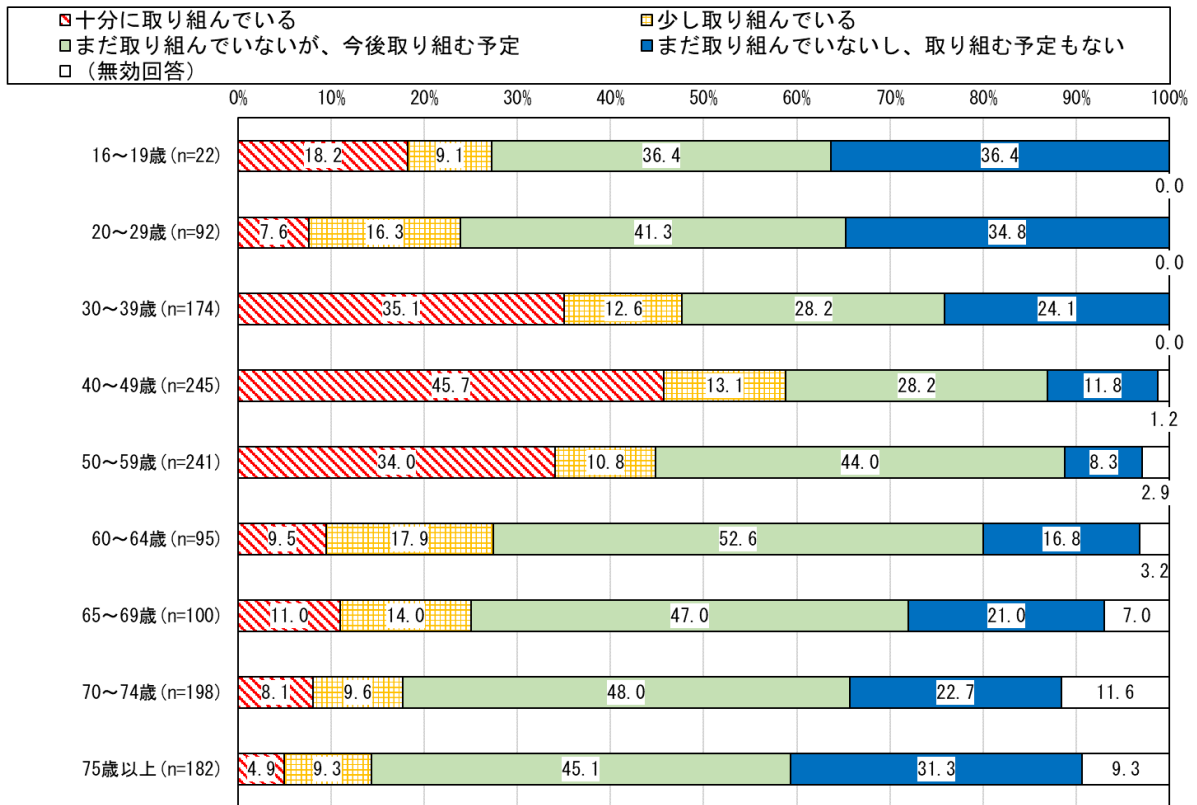


エ スマートフォン等で防災アプリを活用している

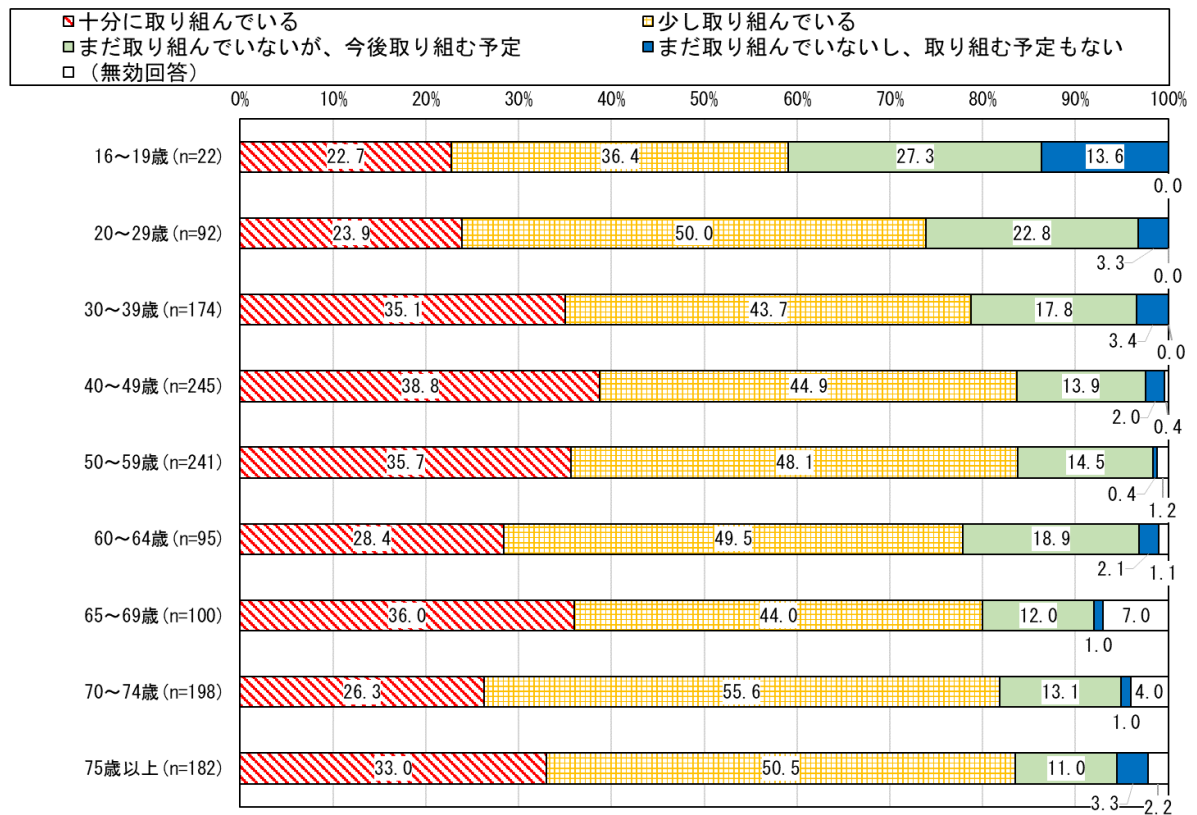


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

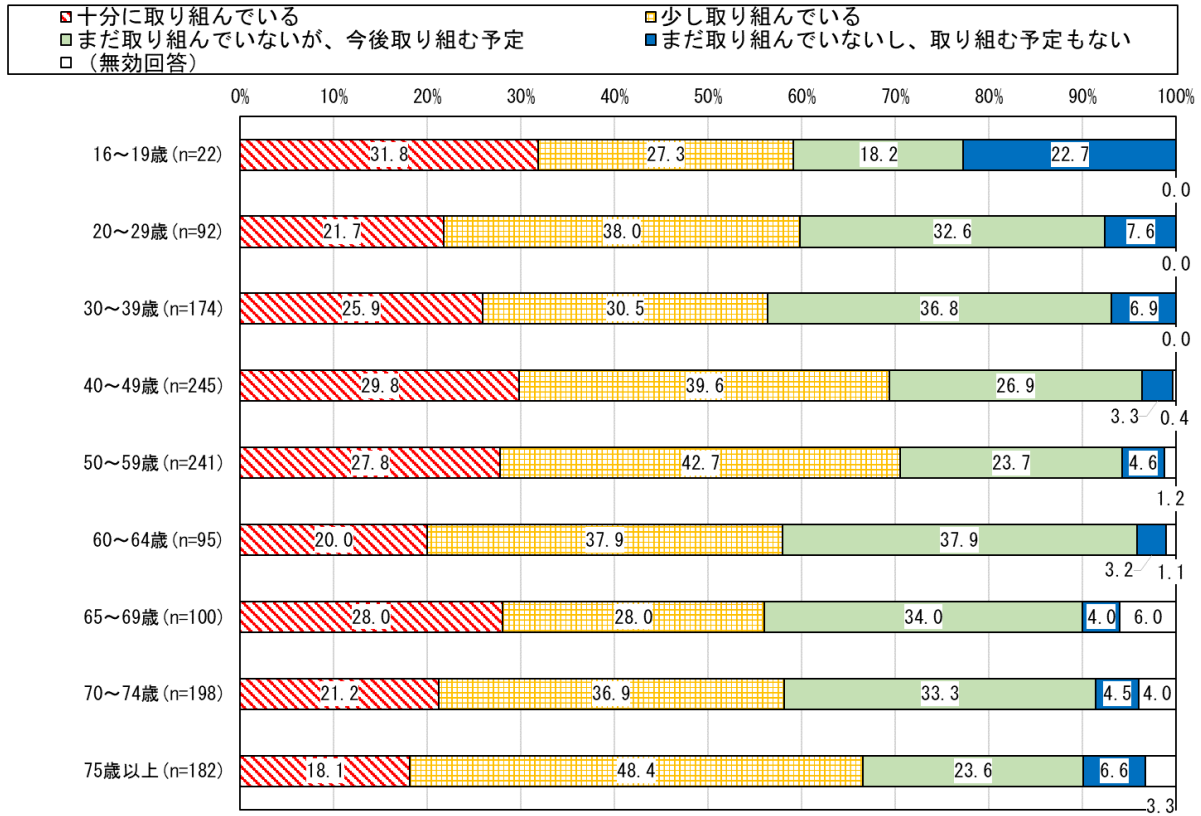
オ 調布市防災・安全情報メールに登録している



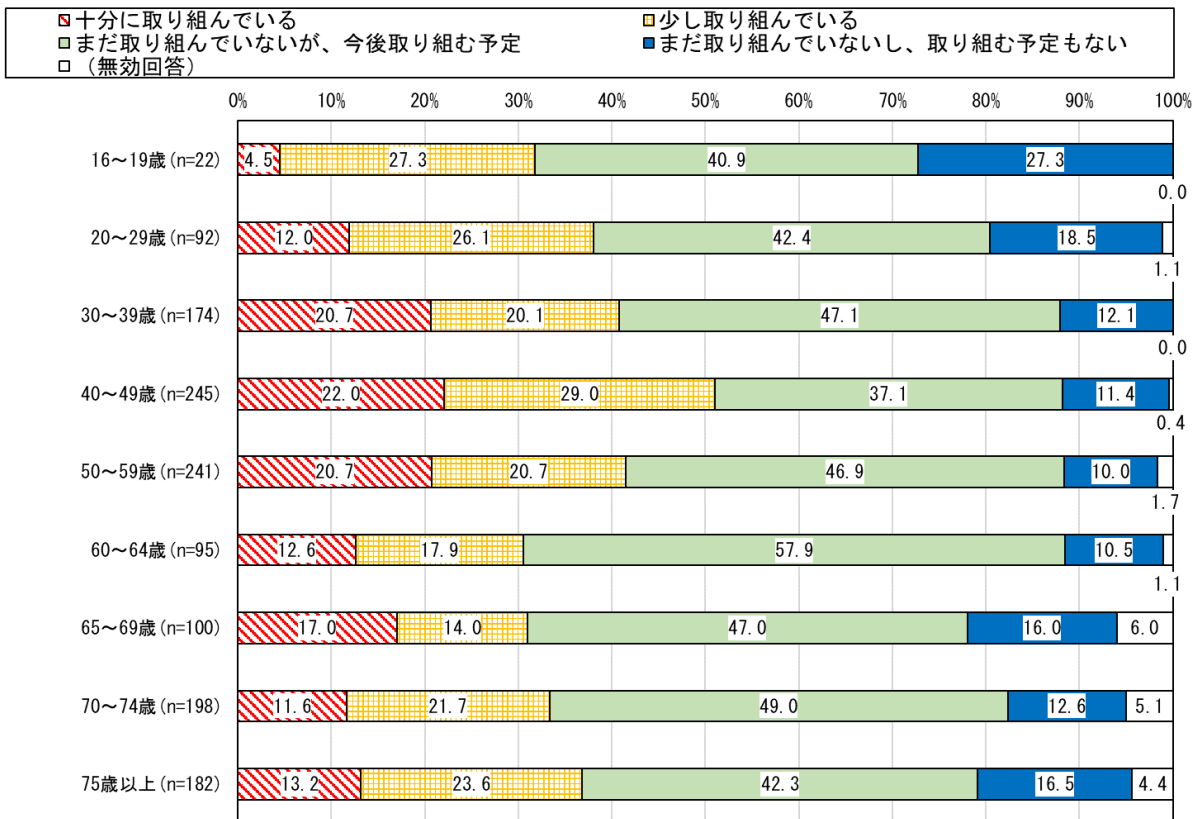
カ ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している



キ 災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している

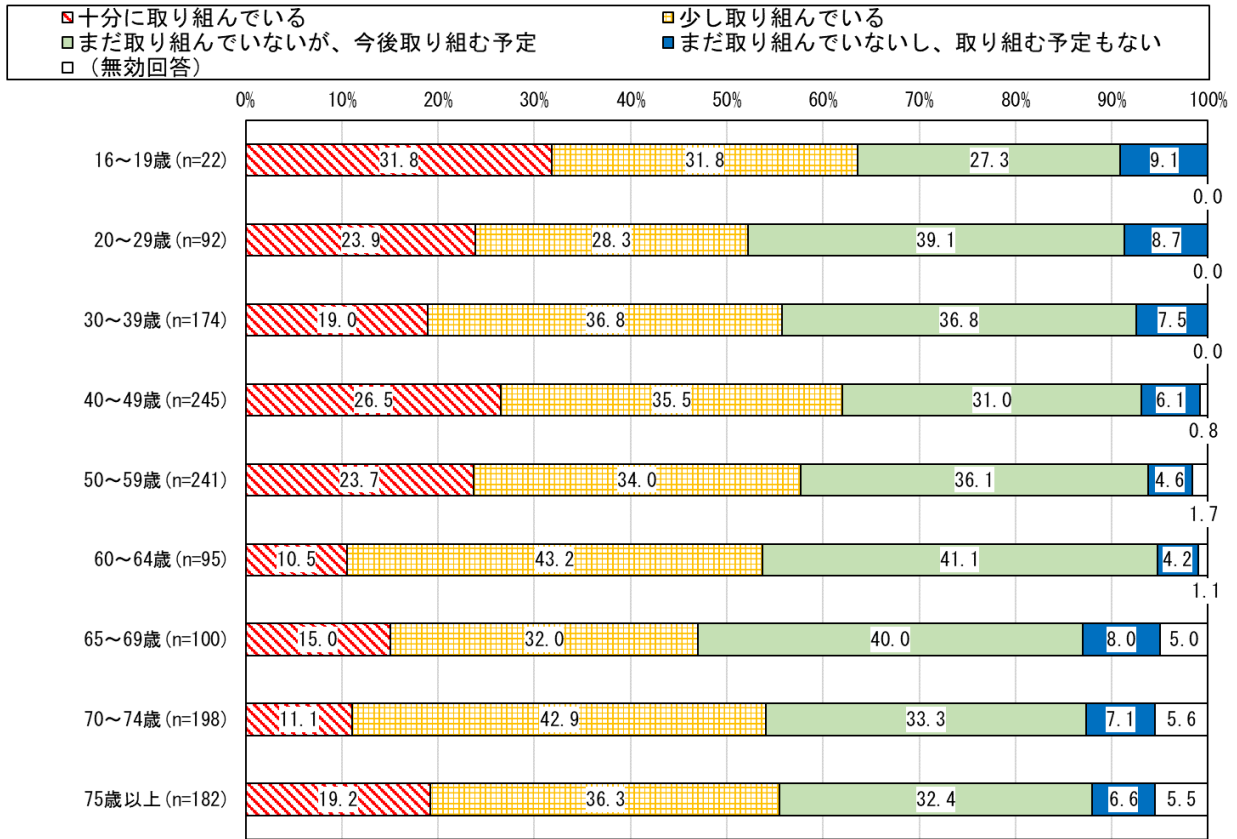


ク 簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている

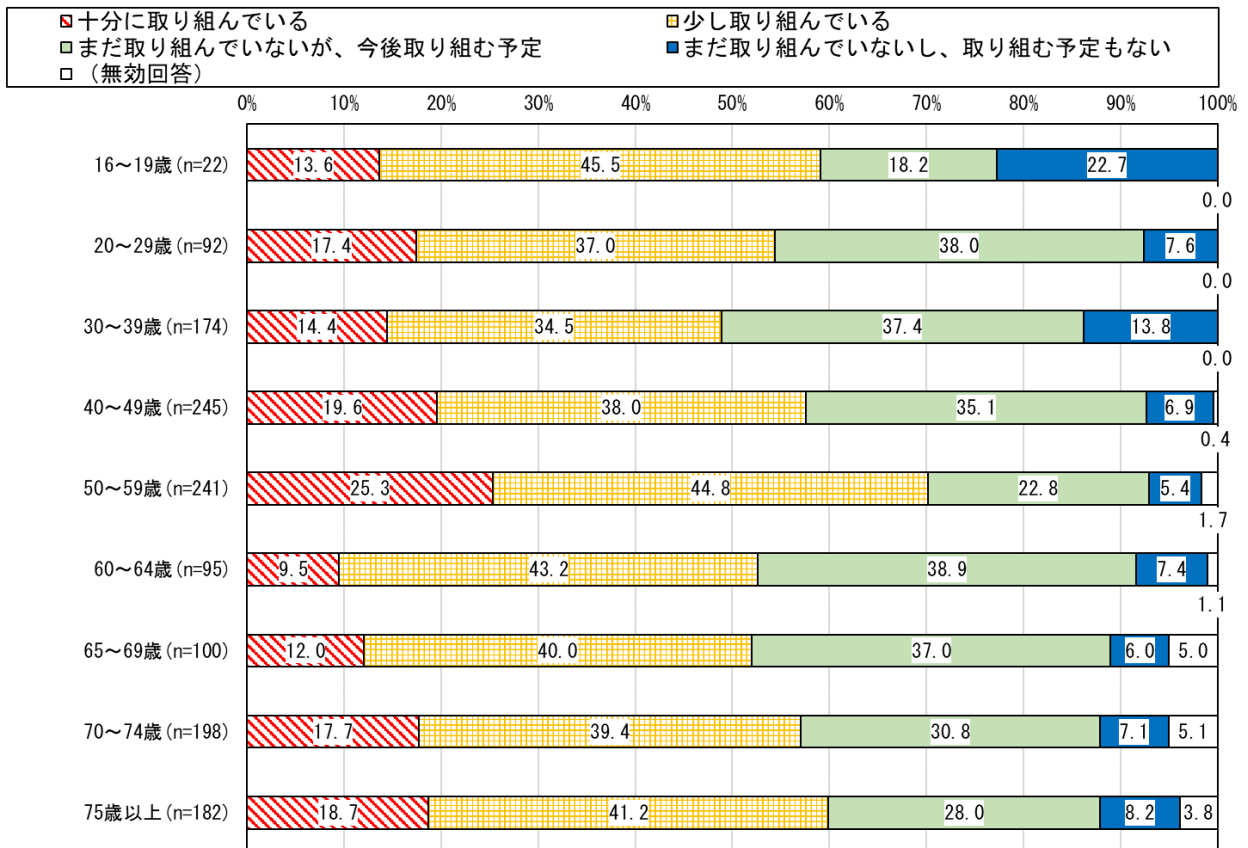


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

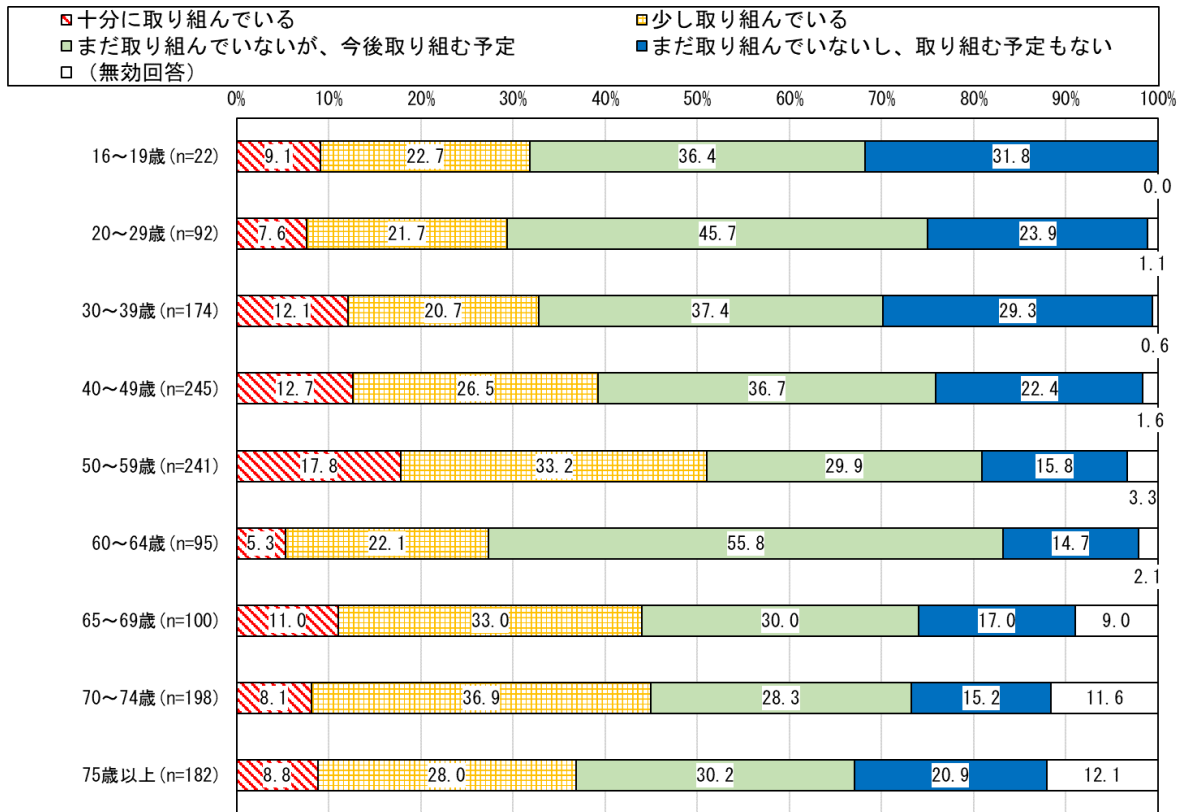
ケ 災害時に自宅から避難する場所（避難所・自宅の上層階・親族や友人、知人宅）をあらかじめ決めてい
る



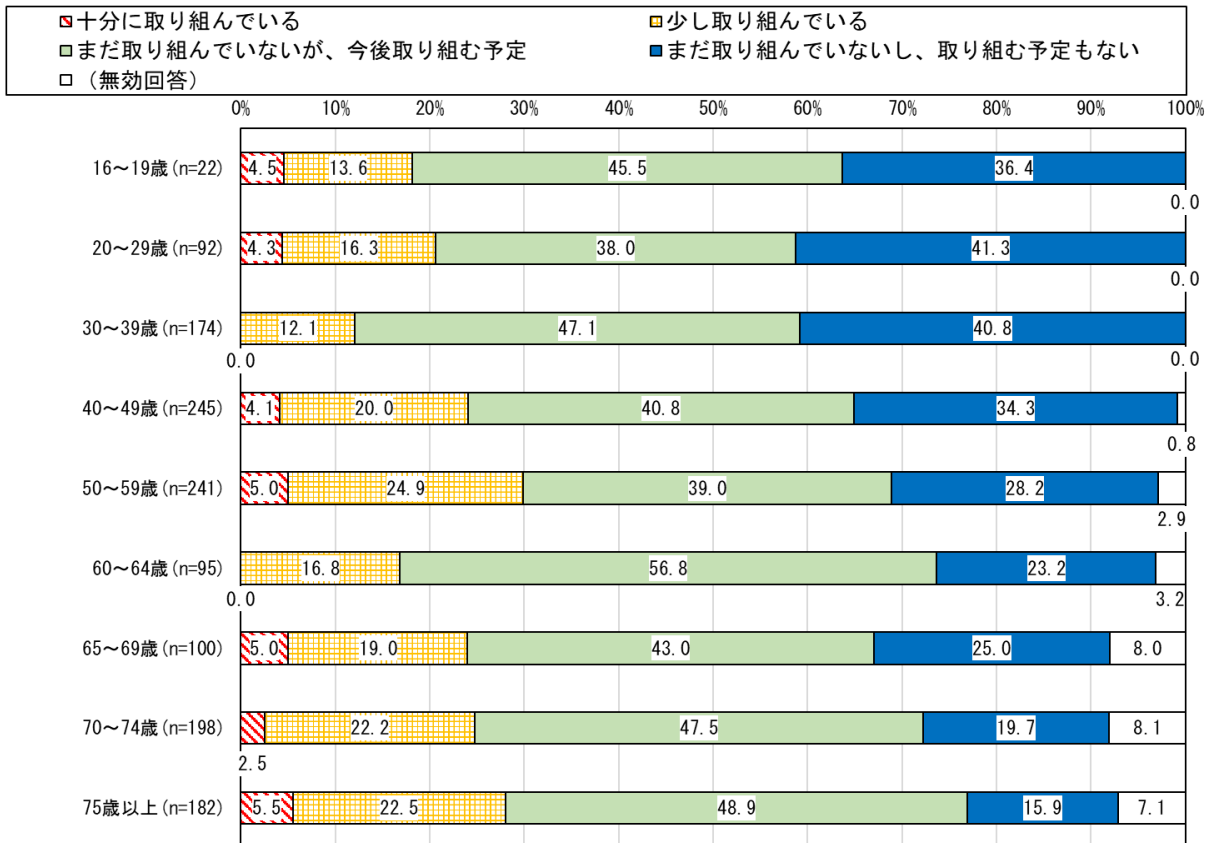
コ 家具が倒れたり、移動しないよう固定している



サ 家屋やブロック塀などの耐震点検や倒壊防止対策に取り組んでいる

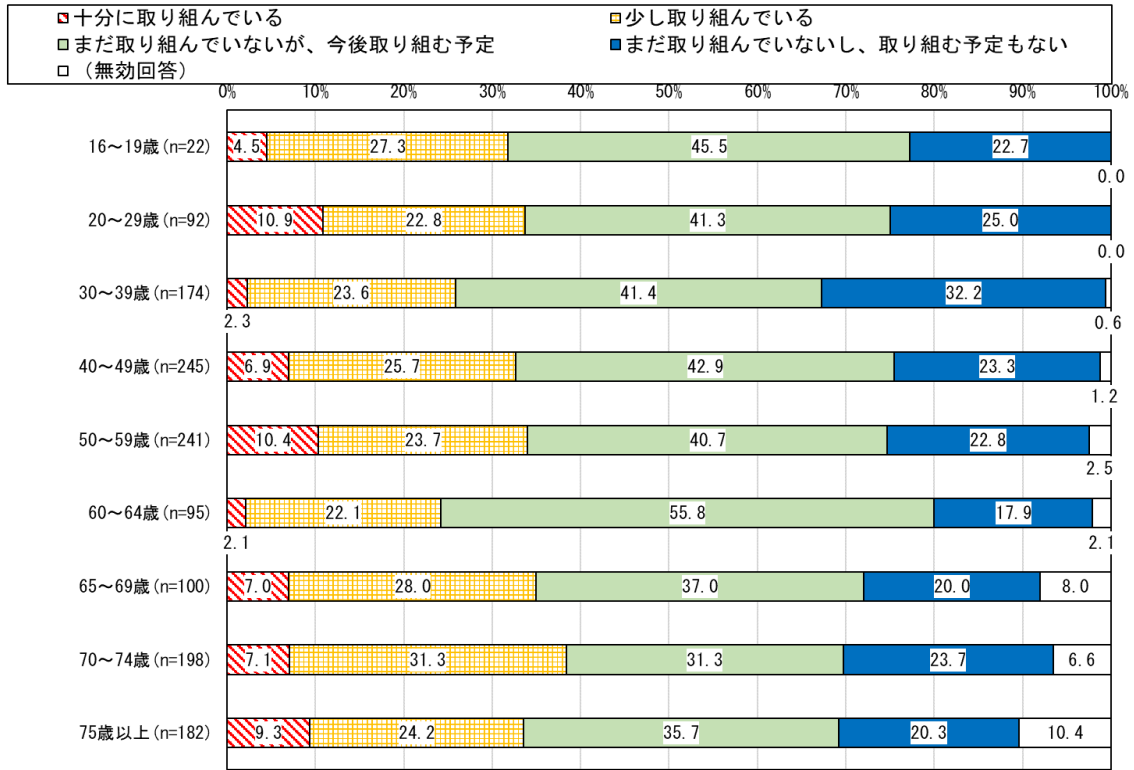


シ 地域で日常的なつき合いの中で、災害時の協力体制を話し合っている



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

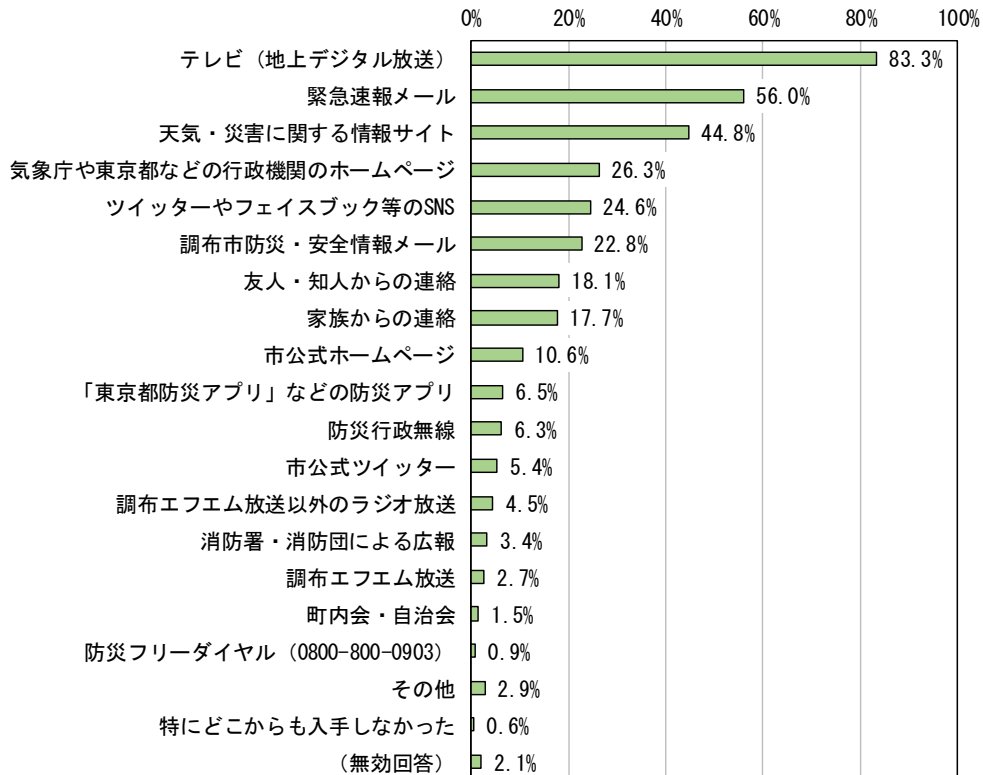
ス 大雨等に備え、家庭でできる浸水防止方法の確認をしている



問 15) あなたは、令和元年台風第 19 号の際に、台風関連情報をどのように入手しましたか。

<全体 (n=1,367) >

○「テレビ (地上デジタル放送)」が 83.3%で最も高く、次いで「緊急速報メール」の 56.0%、「天気・災害に関する情報サイト」の 44.8%の順となっています。



<年齢層別>

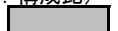
○令和元年台風第19号における台風関連情報の入手手法は、いずれの年齢層でも「テレビ（地上デジタル放送）」が最も高く、また、2番目について、16歳～29歳では「ツイッターやフェイスブック等のSNS」など、30歳以上では「緊急速報メール」が高くなっています。

○「調布市防災・安全情報メール」について見ると、40歳～49歳で41.2%と最も高く、子育て世代で活用されていると考えられます。今後もすべての世代に周知を図っていく必要があります。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,367	22	92	174	245	241	95	100	198	182
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
テレビ（地上デジタル放送）	1,139	16	71	131	200	201	86	86	174	158
	83.3%	72.7%	77.2%	75.3%	81.6%	83.4%	90.5%	86.0%	87.9%	86.8%
緊急速報メール	766	10	52	106	152	142	61	55	94	86
	56.0%	45.5%	56.5%	60.9%	62.0%	58.9%	64.2%	55.0%	47.5%	47.3%
「Yahoo!天気・災害」などの天気・災害に関する情報サイト	612	12	47	97	146	134	42	46	56	27
	44.8%	54.5%	51.1%	55.7%	59.6%	55.6%	44.2%	46.0%	28.3%	14.8%
気象庁や東京都などの行政機関のホームページ	360	5	36	57	83	86	19	20	29	19
	26.3%	22.7%	39.1%	32.8%	33.9%	35.7%	20.0%	20.0%	14.6%	10.4%
ツイッターやフェイスブック等のSNS	336	13	64	73	85	63	17	8	6	6
	24.6%	59.1%	69.6%	42.0%	34.7%	26.1%	17.9%	8.0%	3.0%	3.3%
調布市防災・安全情報メール	311	5	9	44	101	71	15	13	28	21
	22.8%	22.7%	9.8%	25.3%	41.2%	29.5%	15.8%	13.0%	14.1%	11.5%
友人・知人からの連絡	248	7	12	33	65	39	19	11	25	33
	18.1%	31.8%	13.0%	19.0%	26.5%	16.2%	20.0%	11.0%	12.6%	18.1%
家族からの連絡	242	9	19	30	32	30	15	16	42	47
	17.7%	40.9%	20.7%	17.2%	13.1%	12.4%	15.8%	16.0%	21.2%	25.8%
市公式ホームページ	145	2	10	33	39	32	7	6	7	6
	10.6%	9.1%	10.9%	19.0%	15.9%	13.3%	7.4%	6.0%	3.5%	3.3%
「東京都防災アプリ」などの防災アプリ	89	2	6	11	18	31	4	2	10	5
	6.5%	9.1%	6.5%	6.3%	7.3%	12.9%	4.2%	2.0%	5.1%	2.7%
防災行政無線	86	2	6	6	12	17	2	6	19	16
	6.3%	9.1%	6.5%	3.4%	4.9%	7.1%	2.1%	6.0%	9.6%	8.8%
市公式ツイッター	74	3	11	22	20	12	1	0	0	2
	5.4%	13.6%	12.0%	12.6%	8.2%	5.0%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%
調布エフエム放送以外のラジオ放送	62	0	3	1	6	10	4	10	13	15
	4.5%	0.0%	3.3%	0.6%	2.4%	4.1%	4.2%	10.0%	6.6%	8.2%
消防署・消防団による広報	46	0	1	5	3	7	5	2	7	16
	3.4%	0.0%	1.1%	2.9%	1.2%	2.9%	5.3%	2.0%	3.5%	8.8%
調布エフエム放送	37	0	2	2	5	5	1	2	10	9
	2.7%	0.0%	2.2%	1.1%	2.0%	2.1%	1.1%	2.0%	5.1%	4.9%
町内会・自治会	21	0	0	0	1	7	0	0	5	8
	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	2.9%	0.0%	0.0%	2.5%	4.4%
防災フリーダイヤル（0800-800-0903）	12	0	2	0	0	1	0	0	5	3
	0.9%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	2.5%	1.6%
その他	39	0	2	7	8	5	0	5	6	4
	2.9%	0.0%	2.2%	4.0%	3.3%	2.1%	0.0%	5.0%	3.0%	2.2%
特にどこからも入手しなかった	8	0	0	1	2	2	1	1	0	1
	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.8%	0.8%	1.1%	1.0%	0.0%	0.5%
（無効回答）	29	1	1	5	2	4	2	0	8	6
	2.1%	4.5%	1.1%	2.9%	0.8%	1.7%	2.1%	0.0%	4.0%	3.3%

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い： 

回答割合が2番目に高い： 

第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<情報機器別>

○いずれの情報機器の利用者においても「テレビ（地上波放送）」が最も高くなっています。

選択肢	全体	固定電話	F A X	パソコン	タブレット型端末	スマートフォン	携帯電話・PHS	その他
合計	1,367	581	232	614	243	995	304	7
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
テレビ（地上デジタル放送）	1,139	512	203	522	199	829	253	6
	83.3%	88.1%	87.5%	85.0%	81.9%	83.3%	83.2%	85.7%
緊急速報メール	766	316	140	370	138	613	156	2
	56.0%	54.4%	60.3%	60.3%	56.8%	61.6%	51.3%	28.6%
「Yahoo!天気・災害」などの天気・災害に関する情報サイト	612	231	95	364	148	527	98	2
	44.8%	39.8%	40.9%	59.3%	60.9%	53.0%	32.2%	28.6%
気象庁や東京都などの行政機関のホームページ	360	139	49	220	90	302	65	0
	26.3%	23.9%	21.1%	35.8%	37.0%	30.4%	21.4%	0.0%
ツイッターやフェイスブック等のSNS	336	83	38	201	85	311	35	1
	24.6%	14.3%	16.4%	32.7%	35.0%	31.3%	11.5%	14.3%
調布市防災・安全情報メール	311	140	56	162	61	259	58	1
	22.8%	24.1%	24.1%	26.4%	25.1%	26.0%	19.1%	14.3%
友人・知人からの連絡	248	105	38	115	43	186	52	1
	18.1%	18.1%	16.4%	18.7%	17.7%	18.7%	17.1%	14.3%
家族からの連絡	242	110	46	95	39	174	57	1
	17.7%	18.9%	19.8%	15.5%	16.0%	17.5%	18.8%	14.3%
市公式ホームページ	145	58	22	96	34	128	22	0
	10.6%	10.0%	9.5%	15.6%	14.0%	12.9%	7.2%	0.0%
「東京都防災アプリ」などの防災アプリ	89	38	16	58	18	79	13	0
	6.5%	6.5%	6.9%	9.4%	7.4%	7.9%	4.3%	0.0%
防災行政無線	86	47	21	42	15	58	20	1
	6.3%	8.1%	9.1%	6.8%	6.2%	5.8%	6.6%	14.3%
市公式ツイッター	74	19	4	43	21	64	9	1
	5.4%	3.3%	1.7%	7.0%	8.6%	6.4%	3.0%	14.3%
調布エフエム放送以外のラジオ放送	62	36	14	28	12	40	18	0
	4.5%	6.2%	6.0%	4.6%	4.9%	4.0%	5.9%	0.0%
消防署・消防団による広報	46	31	12	15	9	27	15	0
	3.4%	5.3%	5.2%	2.4%	3.7%	2.7%	4.9%	0.0%
調布エフエム放送	37	20	4	9	5	13	11	1
	2.7%	3.4%	1.7%	1.5%	2.1%	1.3%	3.6%	14.3%
町内会・自治会	21	18	9	10	2	10	9	0
	1.5%	3.1%	3.9%	1.6%	0.8%	1.0%	3.0%	0.0%
防災フリーダイヤル（0800-800-0903）	12	4	1	5	2	6	3	0
	0.9%	0.7%	0.4%	0.8%	0.8%	0.6%	1.0%	0.0%
その他	39	15	6	18	9	24	10	1
	2.9%	2.6%	2.6%	2.9%	3.7%	2.4%	3.3%	14.3%
特にどこからも入手しなかった	8	6	0	1	0	2	2	0
	0.6%	1.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.7%	0.0%
（無効回答）	29	11	4	8	5	18	9	0
	2.1%	1.9%	1.7%	1.3%	2.1%	1.8%	3.0%	0.0%

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い：



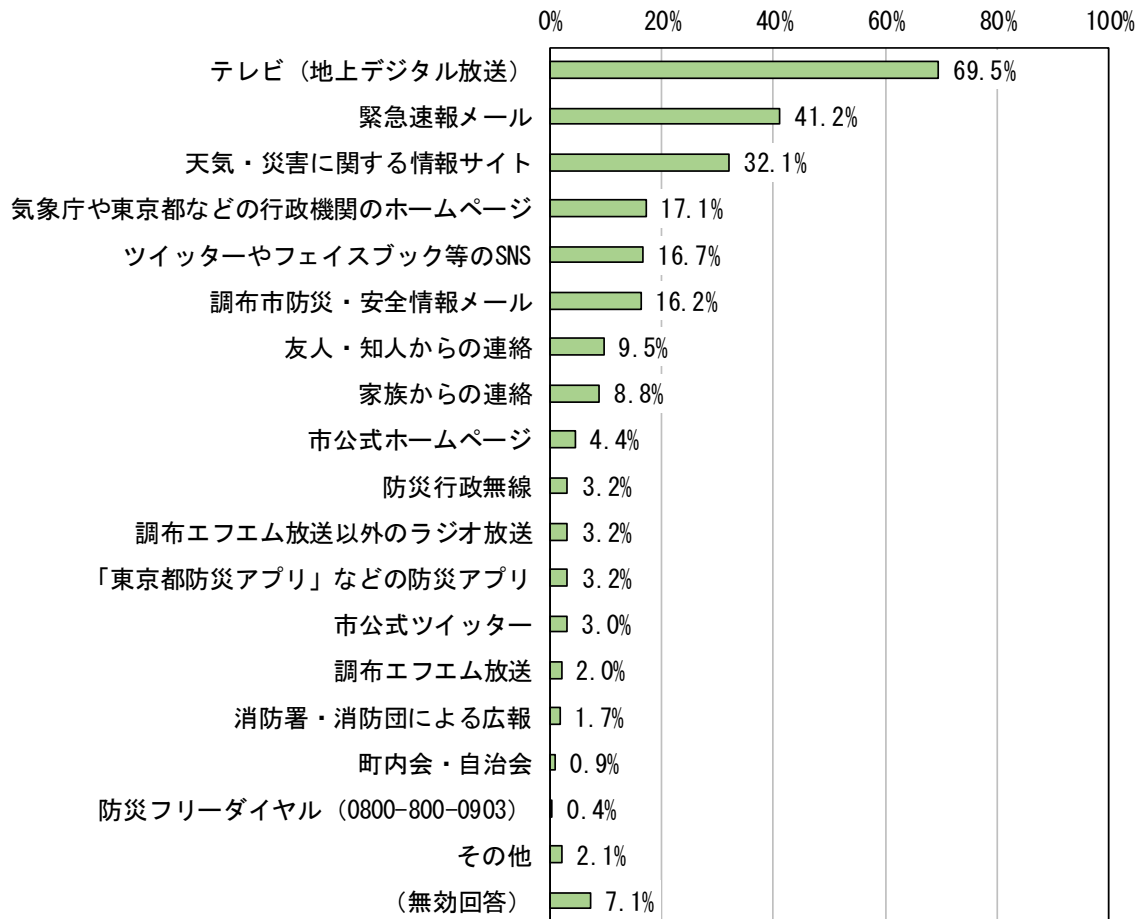
回答割合が2番目に高い：



問 15-1) 最も役に立った情報源はどれですか。問 15 で選んだ選択肢番号のうち上位 3 つをご記入ください。

<全体 (n=1,330) >

○最も役に立った情報源は、「テレビ（地上デジタル放送）」が 69.5%で最も高く、次いで「緊急速報メール」の 41.2%、「天気・災害に関する情報サイト」の 32.1%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>


<年齢層別>

○令和元年台風第19号において最も役に立った情報の入手手法では、いずれの年齢層でも「テレビ（地上デジタル放送）」が最も高くなっています。また、おおむね全ての年齢層において「緊急速報メール」や「Yahoo!天気・災害」などの天気・災害に関する情報サイト」が次いで高くなっていますが、16歳～29歳では「ツイッターやフェイスブック等のSNS」などが高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,330	21	91	168	241	235	92	99	190	175
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
テレビ（地上デジタル放送）	925	13	60	108	156	163	76	75	138	127
	69.5%	61.9%	65.9%	64.3%	64.7%	69.4%	82.6%	75.8%	72.6%	72.6%
緊急速報メール	548	7	34	76	97	93	51	43	69	71
	41.2%	33.3%	37.4%	45.2%	40.2%	39.6%	55.4%	43.4%	36.3%	40.6%
「Yahoo!天気・災害」などの天気・災害に関する情報サイト	427	7	31	62	106	98	30	33	39	18
	32.1%	33.3%	34.1%	36.9%	44.0%	41.7%	32.6%	33.3%	20.5%	10.3%
気象庁や東京都などの行政機関のホームページ	228	4	27	33	46	56	16	10	21	12
	17.1%	19.0%	29.7%	19.6%	19.1%	23.8%	17.4%	10.1%	11.1%	6.9%
ツイッターやフェイスブック等のSNS	222	7	42	46	55	44	13	6	5	4
	16.7%	33.3%	46.2%	27.4%	22.8%	18.7%	14.1%	6.1%	2.6%	2.3%
調布市防災・安全情報メール	216	3	4	31	76	46	10	10	22	11
	16.2%	14.3%	4.4%	18.5%	31.5%	19.6%	10.9%	10.1%	11.6%	6.3%
友人・知人からの連絡	127	5	7	16	28	18	12	8	14	17
	9.5%	23.8%	7.7%	9.5%	11.6%	7.7%	13.0%	8.1%	7.4%	9.7%
家族からの連絡	117	3	8	10	10	15	9	13	22	26
	8.8%	14.3%	8.8%	6.0%	4.1%	6.4%	9.8%	13.1%	11.6%	14.9%
市公式ホームページ	59	0	6	10	15	11	2	4	6	5
	4.4%	0.0%	6.6%	6.0%	6.2%	4.7%	2.2%	4.0%	3.2%	2.9%
防災行政無線	42	0	2	2	5	4	1	6	10	12
	3.2%	0.0%	2.2%	1.2%	2.1%	1.7%	1.1%	6.1%	5.3%	6.9%
調布エフエム放送以外のラジオ放送	42	0	2	1	5	5	4	5	9	11
	3.2%	0.0%	2.2%	0.6%	2.1%	2.1%	4.3%	5.1%	4.7%	6.3%
「東京都防災アプリ」などの防災アプリ	42	1	0	7	10	14	0	1	8	1
	3.2%	4.8%	0.0%	4.2%	4.1%	6.0%	0.0%	1.0%	4.2%	0.6%
市公式ツイッター	40	1	4	12	10	4	1	2	1	4
	3.0%	4.8%	4.4%	7.1%	4.1%	1.7%	1.1%	2.0%	0.5%	2.3%
調布エフエム放送	26	0	0	1	0	1	1	1	12	9
	2.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.4%	1.1%	1.0%	6.3%	5.1%
消防署・消防団による広報	23	0	0	5	2	4	1	1	3	7
	1.7%	0.0%	0.0%	3.0%	0.8%	1.7%	1.1%	1.0%	1.6%	4.0%
町内会・自治会	12	0	0	0	0	4	0	0	3	4
	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.6%	2.3%
防災フリーダイヤル（0800-800-0903）	5	0	0	0	0	0	0	0	3	1
	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.6%
その他	28	0	1	6	7	3	0	4	4	2
	2.1%	0.0%	1.1%	3.6%	2.9%	1.3%	0.0%	4.0%	2.1%	1.1%
（無効回答）	95	2	4	4	9	8	5	8	25	27
	7.1%	9.5%	4.4%	2.4%	3.7%	3.4%	5.4%	8.1%	13.2%	15.4%

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い： 

回答割合が2番目に高い： 

<SNS別>

○いずれのSNSの利用者においても「テレビ（地上デジタル放送）」が最も高くなっています。

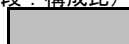
選択肢	合計	Face book (フェイス ブック)	Twitt er(ツ イッター)	LINE (ライン)	Insta gram (インスタ グラム)	その他	閲覧・活用 していない
全体	1,330	295	286	907	287	43	233
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
テレビ（地上デジタル放送）	925	197	169	629	189	32	178
	69.5%	66.8%	59.1%	69.3%	65.9%	74.4%	76.4%
緊急速報メール	548	106	120	409	115	16	82
	41.2%	35.9%	42.0%	45.1%	40.1%	37.2%	35.2%
「Yahoo!天気・災害」などの天気・災害に関する情報サイト	427	129	110	348	117	15	44
	32.1%	43.7%	38.5%	38.4%	40.8%	34.9%	18.9%
気象庁や東京都などの行政機関のホームページ	228	69	85	177	70	8	24
	17.1%	23.4%	29.7%	19.5%	24.4%	18.6%	10.3%
ツイッターやフェイスブック等のSNS	222	101	134	197	118	10	4
	16.7%	34.2%	46.9%	21.7%	41.1%	23.3%	1.7%
調布市防災・安全情報メール	216	49	35	174	39	7	27
	16.2%	16.6%	12.2%	19.2%	13.6%	16.3%	11.6%
友人・知人からの連絡	127	23	17	96	27	3	17
	9.5%	7.8%	5.9%	10.6%	9.4%	7.0%	7.3%
家族からの連絡	117	19	18	72	22	4	20
	8.8%	6.4%	6.3%	7.9%	7.7%	9.3%	8.6%
市公式ホームページ	59	11	15	45	15	0	10
	4.4%	3.7%	5.2%	5.0%	5.2%	0.0%	4.3%
防災行政無線	42	9	3	18	5	2	15
	3.2%	3.1%	1.0%	2.0%	1.7%	4.7%	6.4%
調布エフエム放送以外のラジオ放送	42	2	4	18	6	2	10
	3.2%	0.7%	1.4%	2.0%	2.1%	4.7%	4.3%
「東京都防災アプリ」などの防災アプリ	42	16	20	36	17	2	1
	3.2%	5.4%	7.0%	4.0%	5.9%	4.7%	0.4%
市公式ツイッター	40	14	18	33	17	1	5
	3.0%	4.7%	6.3%	3.6%	5.9%	2.3%	2.1%
調布エフエム放送	26	1	1	4	1	0	10
	2.0%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.0%	4.3%
消防署・消防団による広報	23	8	3	13	4	2	5
	1.7%	2.7%	1.0%	1.4%	1.4%	4.7%	2.1%
町内会・自治会	12	1	0	5	0	0	3
	0.9%	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.3%
防災フリーダイヤル（0800-800-0903）	5	0	0	2	0	0	1
	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%
その他	28	6	13	20	3	0	4
	2.1	2.0	4.5	2.2	1.0	0.0	1.7
（無効回答）	95	8	5	39	6	2	22
	7.1	2.7	1.7	4.3	2.1	4.7	9.4

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い：



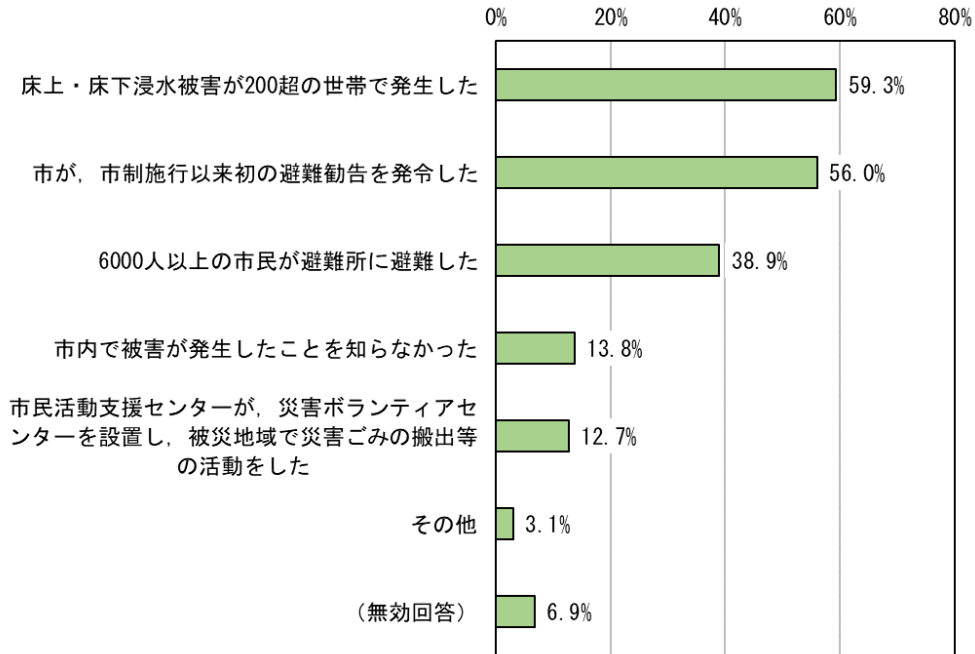
回答割合が2番目に高い：



問16) あなたは、令和元年台風第19号による市内の被災状況等を知っていますか。

<全体 (n=1,367) >

○「床上・床下浸水被害が200超の世帯で発生した」が59.3%と最も高く、次いで「市が、市制施行以来初の避難勧告を発令した」の56.0%、「6000人以上の市民が避難所に避難した」の38.9%の順となっています。



<年齢層別>

○市内の被災状況では、おおむね全ての年齢層で「床上・床下浸水被害が200超の世帯で発生した」が最も高く、次いで「市が、市制施行以来初の避難勧告を発令した」となっている一方で、20歳～39歳では「市が、市制施行以来初の避難勧告を発令した」が最も高く、次いで「床上・床下浸水被害が200超の世帯で発生した」の順となっています。

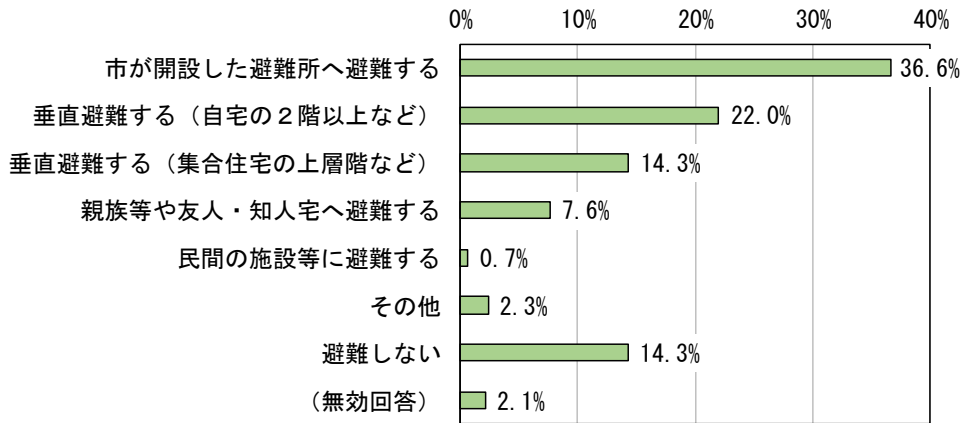
選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,367	22	92	174	245	241	95	100	198	182
床上・床下浸水被害が200超の世帯で発生した	811	15	41	90	161	161	60	61	109	107
市が、市制施行以来初の避難勧告を発令した	766	11	47	91	149	157	53	52	107	91
6000人以上の市民が避難所に避難した	532	6	30	57	112	121	25	31	70	74
市内で被害が発生したことを知らなかった	188	2	19	22	20	26	9	18	32	34
市民活動支援センターが、災害ボランティアセンターを設置し、被災地域で災害ごみの搬出等の活動をした	174	2	7	15	26	41	11	9	29	30
その他	43	0	2	6	8	5	5	2	13	1
(無効回答)	94	4	6	9	9	8	3	10	20	24
	6.9%	18.2%	6.5%	5.2%	3.7%	3.3%	3.2%	10.0%	10.1%	13.2%

回答割合が最も高い: (上段: 実数(人), 下段: 構成比)
 回答割合が2番目に高い:

問17) あなたは、今後、令和元年台風第19号のような災害の発生が予想されたとき、どのように行動することを考えていますか。

<全体 (n=1,367)>

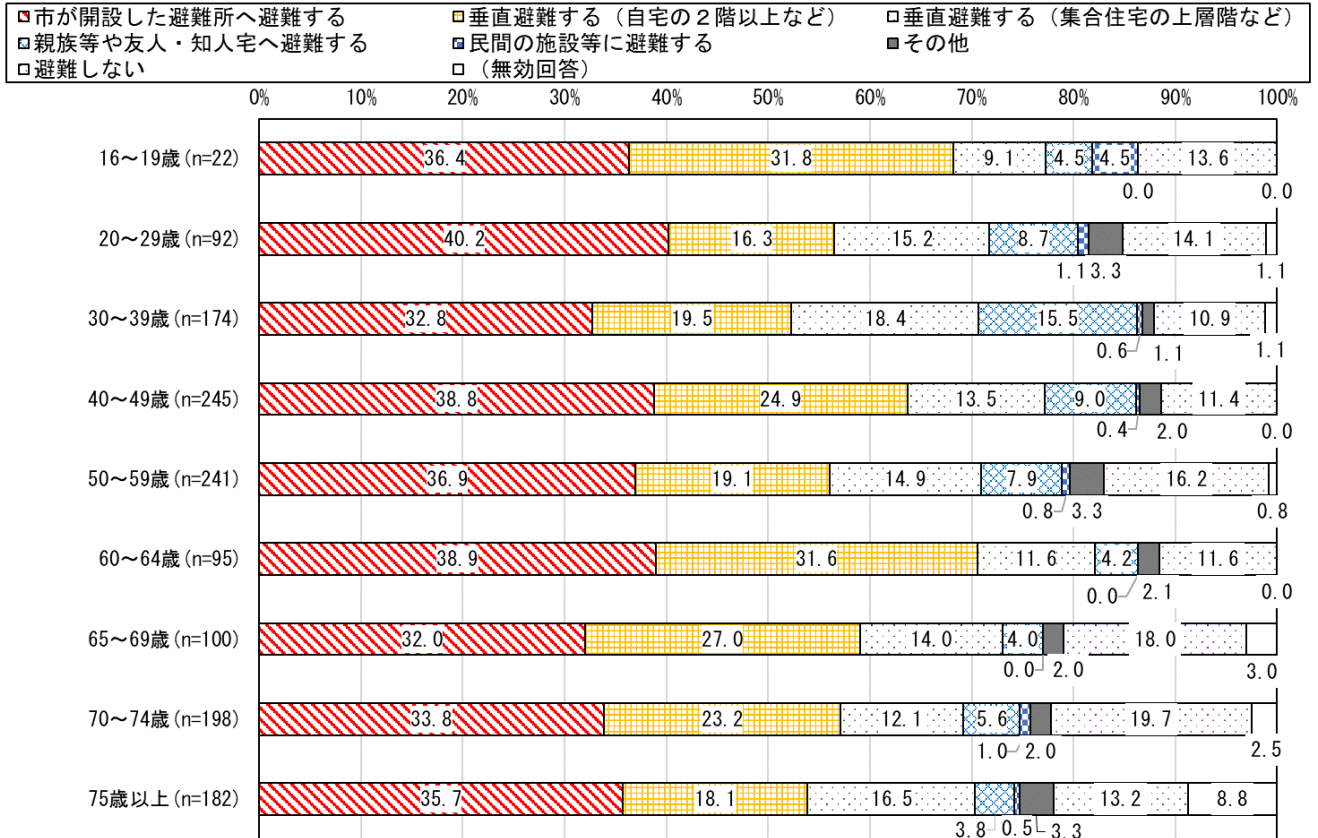
○「市が開設した避難所へ避難する」36.6%で最も高く、次いで「垂直避難する（自宅の2階以上など）」(22.0%)、「垂直避難する（集合住宅の上層階など）」(14.3%)の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層においても「市が開設した避難所へ避難する」が最も高く、次いで「垂直避難する（自宅の2階以上など）」の順となっています。

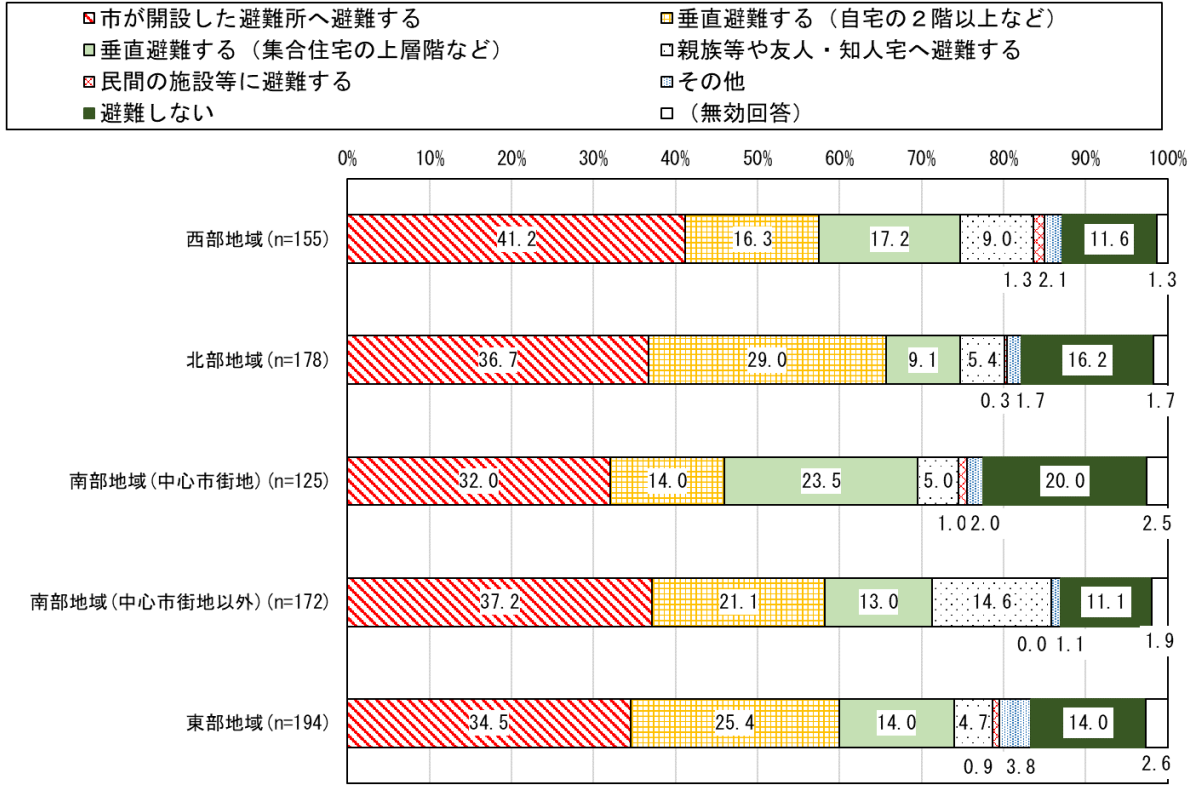
○「避難しない」が最も高い年齢層は「70～74歳」が19.7%で、次いで「65～69歳」が18.0%となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

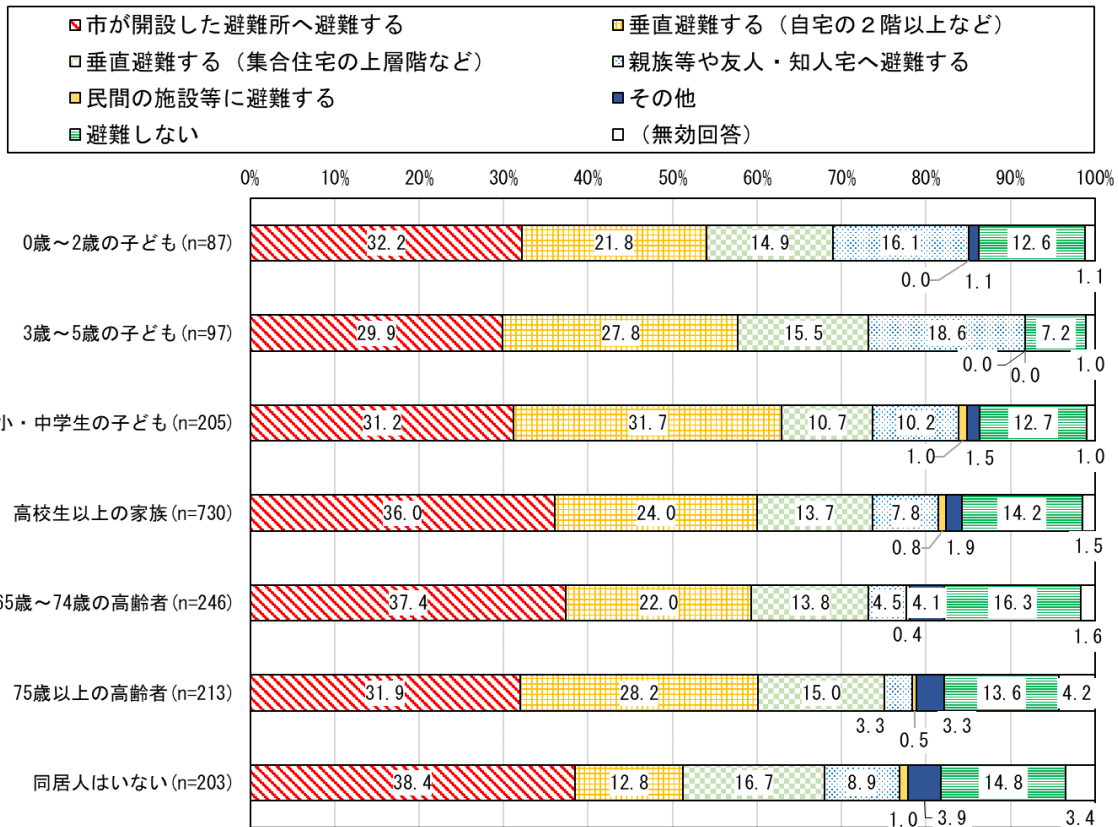
<地域別>

○いずれの地域も「市が開設した避難所へ避難する」が最も高くなっています。



<家族構成別>

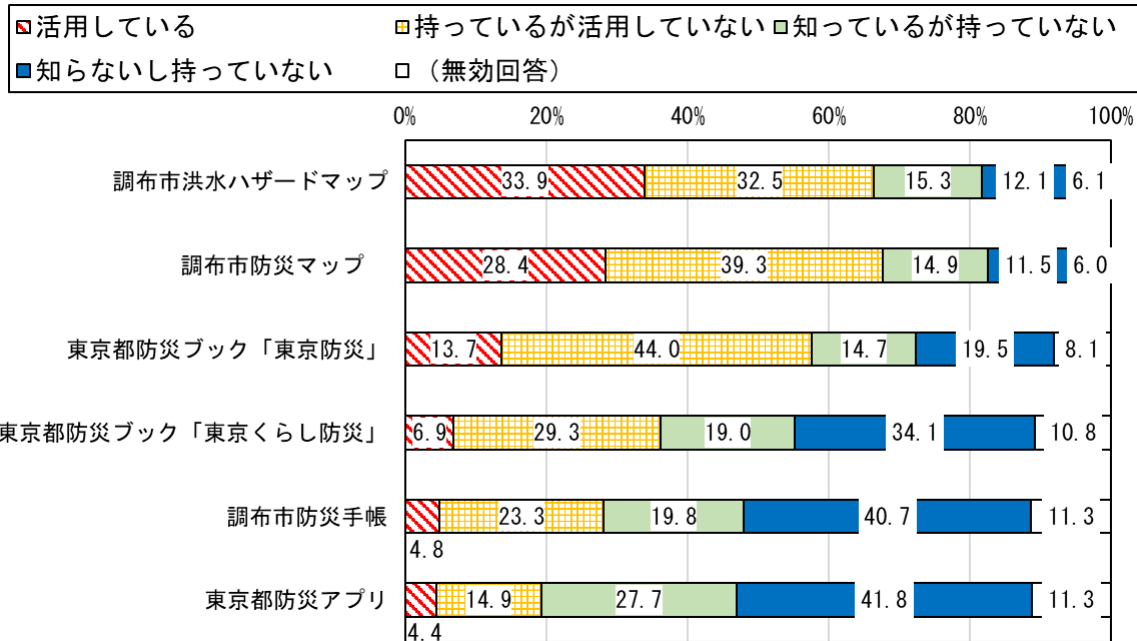
○いずれの家族構成においても、「市が開設した避難所へ避難する」がおおむね 30%を上回っています。
 ○「3歳～5歳の子ども」に限り、「市が開設した避難所へ避難する」が 30%を下回っています。また、「小・中学生の子ども」に限り、「垂直避難する(自宅の2階など)」が 30%を上回っています。



問 18) あなたは、洪水ハザードマップなど、防災・減災のための地図や冊子などを活用していますか。

<全体 (n=1,367) >

○活用している地図や冊子などでは、「調布市洪水ハザードマップ」が33.9%で最も高く、次いで「調布市防災マップ」の28.4%の順となっています。

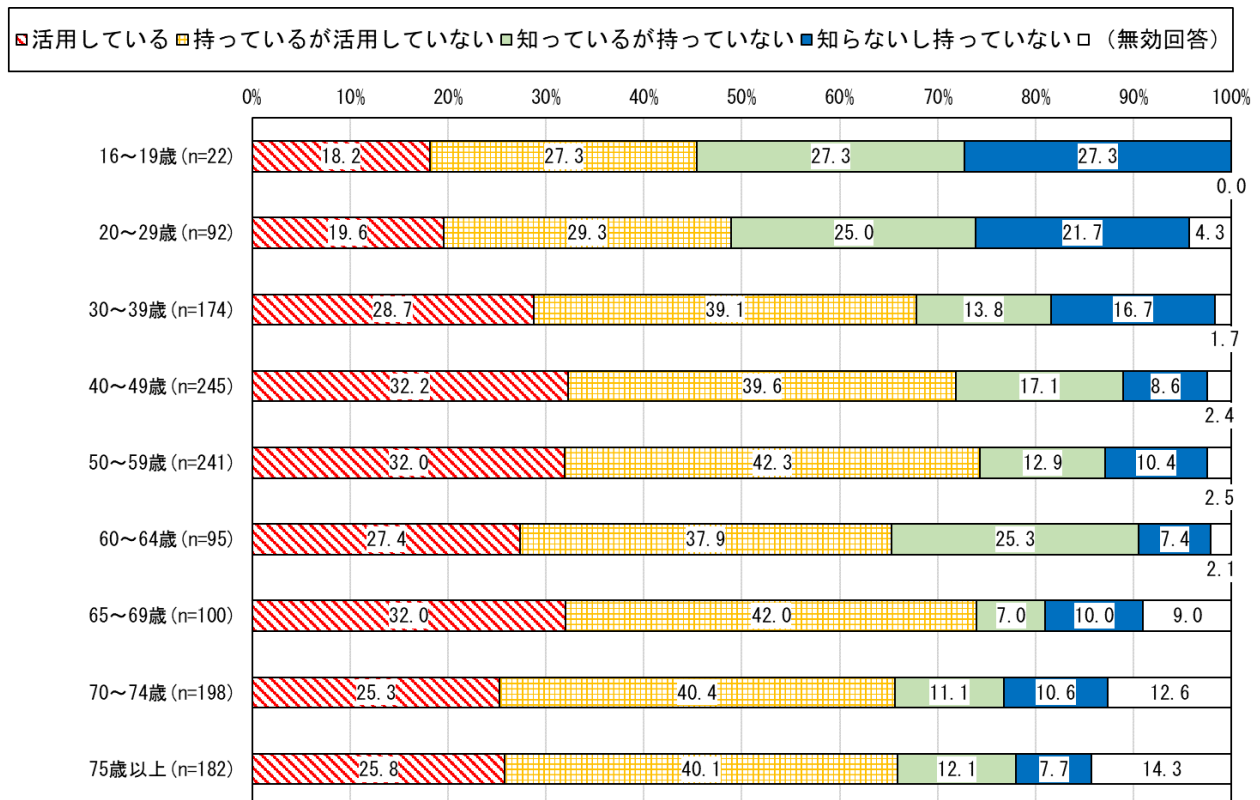


<年齢層別>

○調布市防災マップは、いずれの年齢層も「持っているが活用していない」が最も高くなっています。

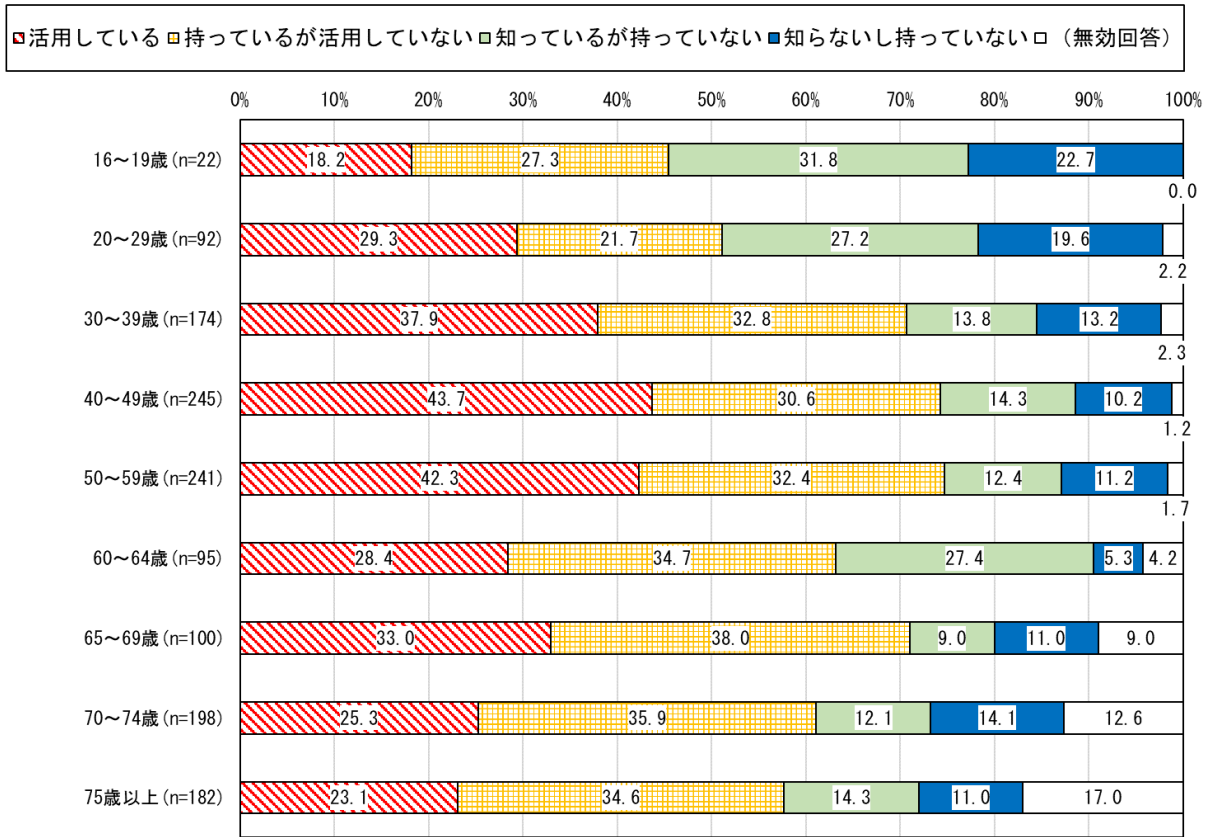
洪水ハザードマップについても、より適切で迅速な避難行動を促していくため、マップの活用についての啓発に継続的に努めていく必要があります。

ア 調布市防災マップ

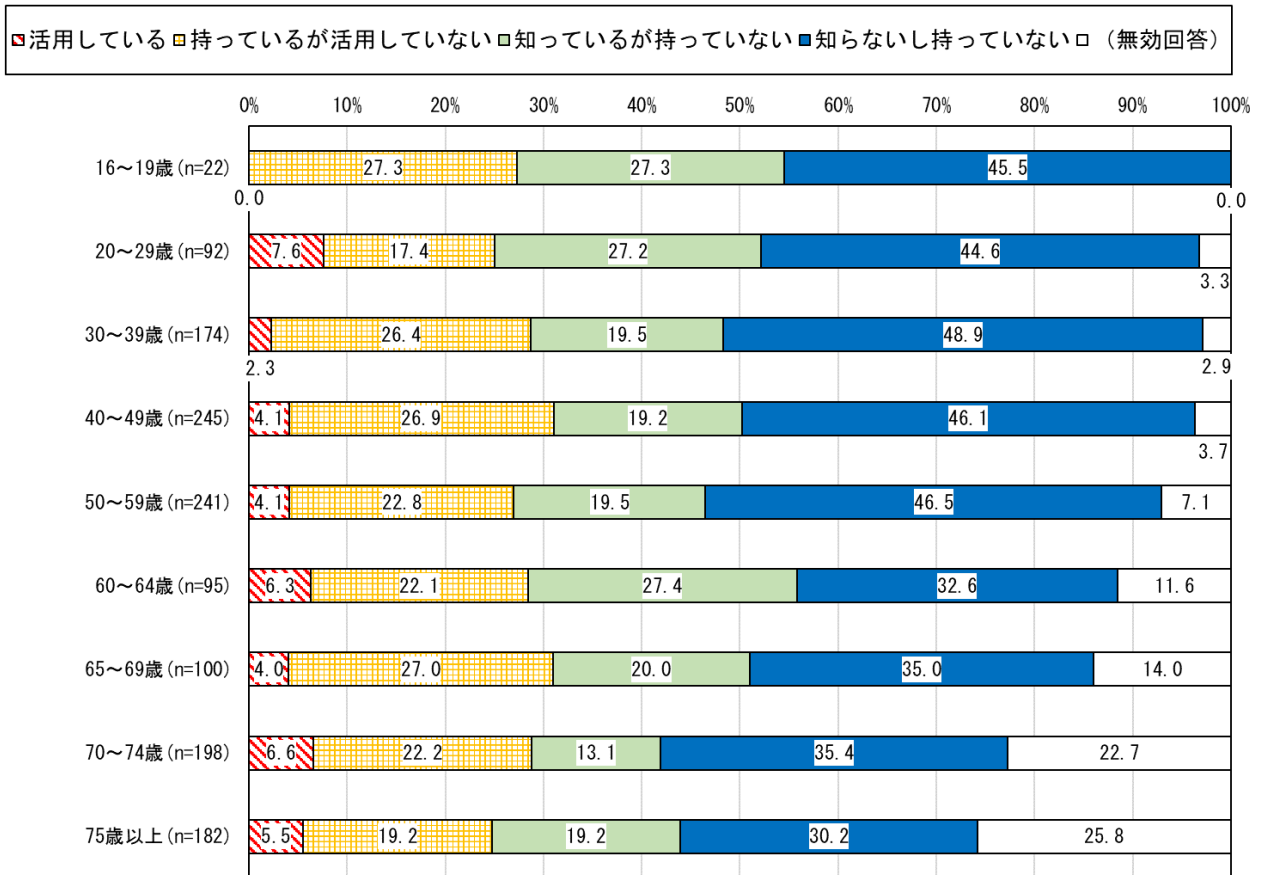


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

イ 調布市洪水ハザードマップ

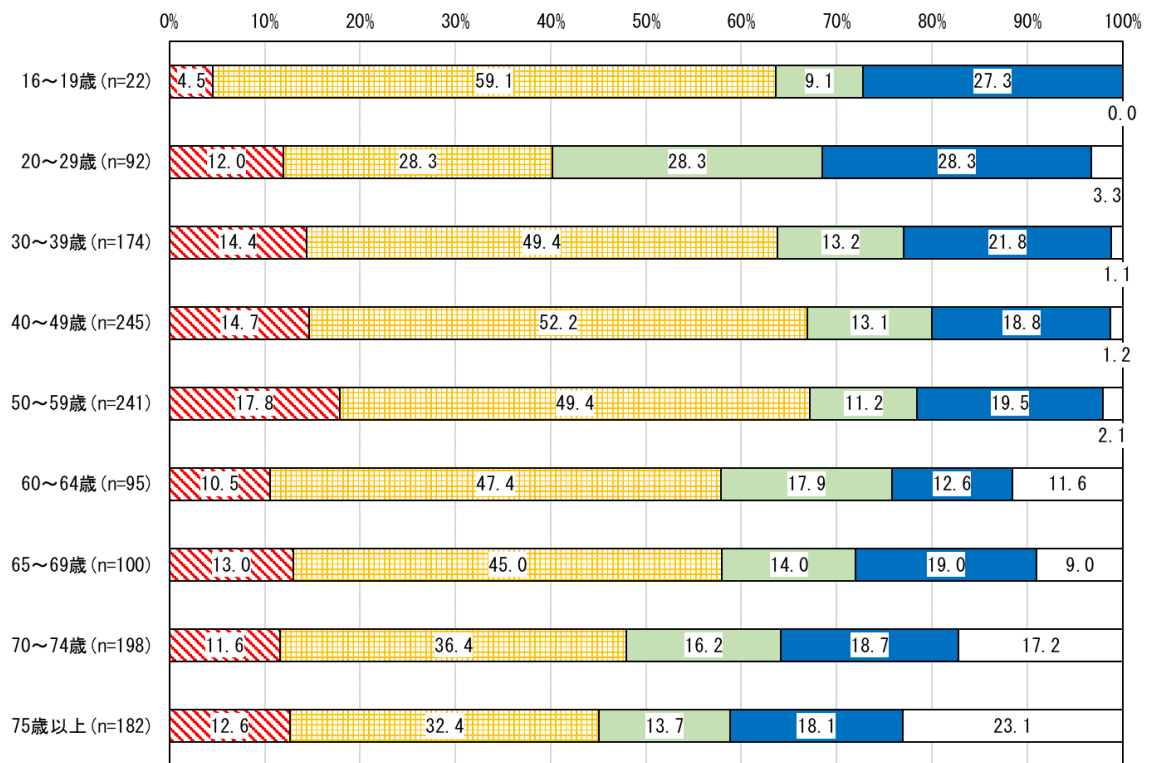


ウ 調布市防災手帳



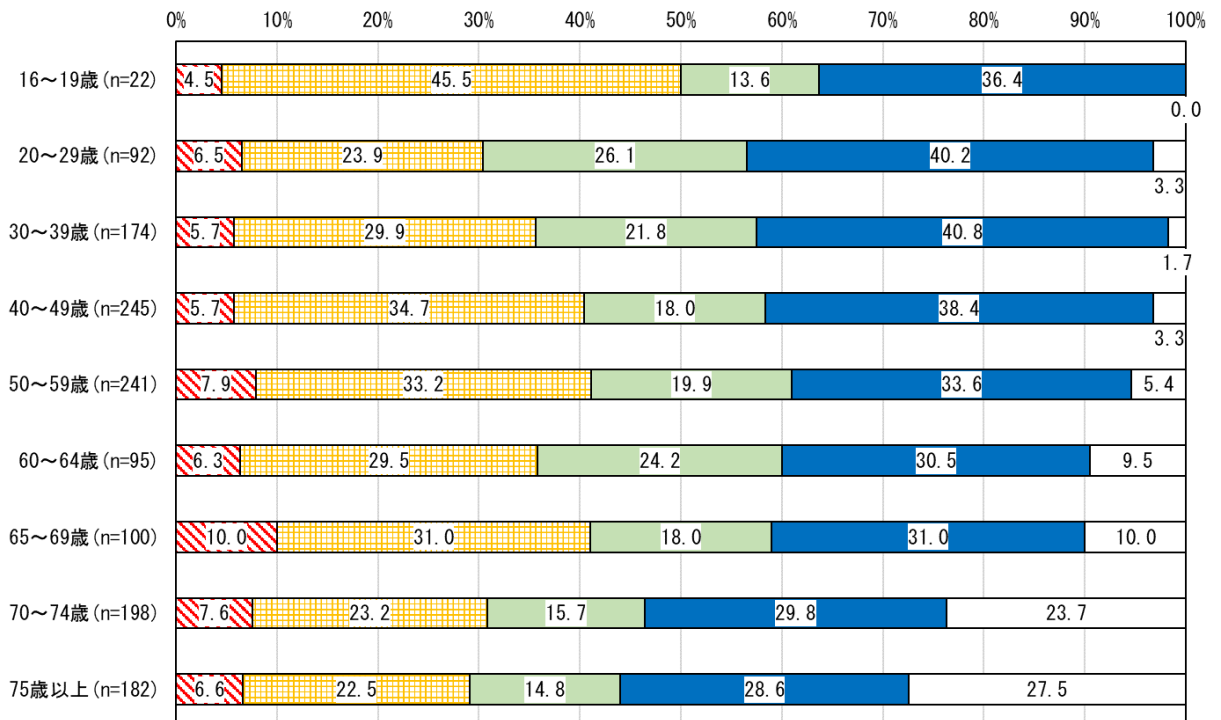
エ 東京都防災ブック「東京防災」

■活用している □持っているが活用していない □知っているが持っていない ■知らないし持っていない □（無効回答）



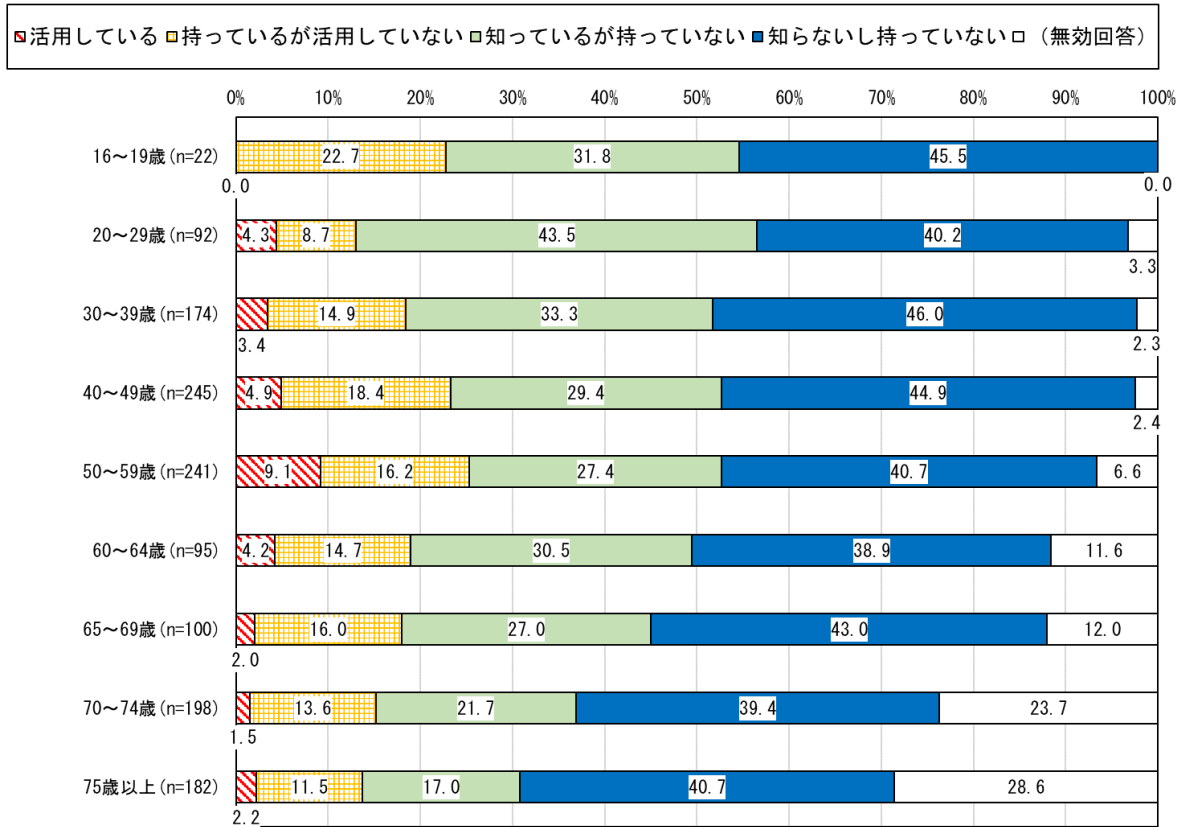
オ 東京都防災ブック「暮らし防災」

■活用している □持っているが活用していない □知っているが持っていない ■知らないし持っていない □（無効回答）



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

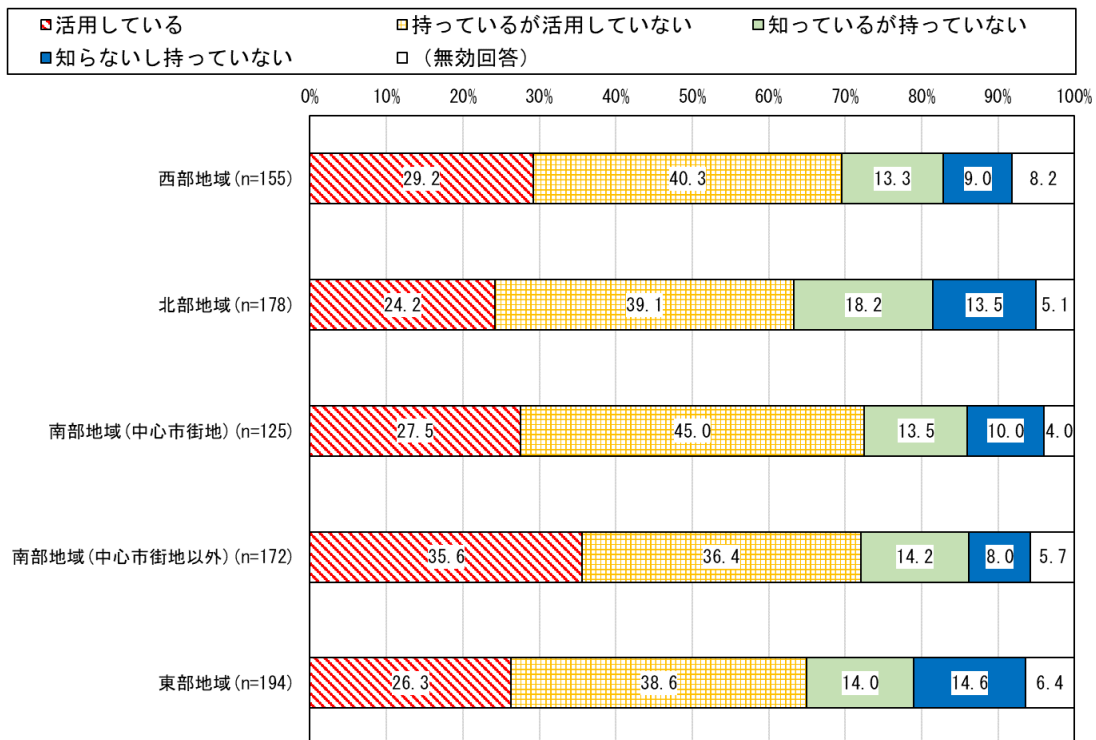
カ 東京都防災アプリ



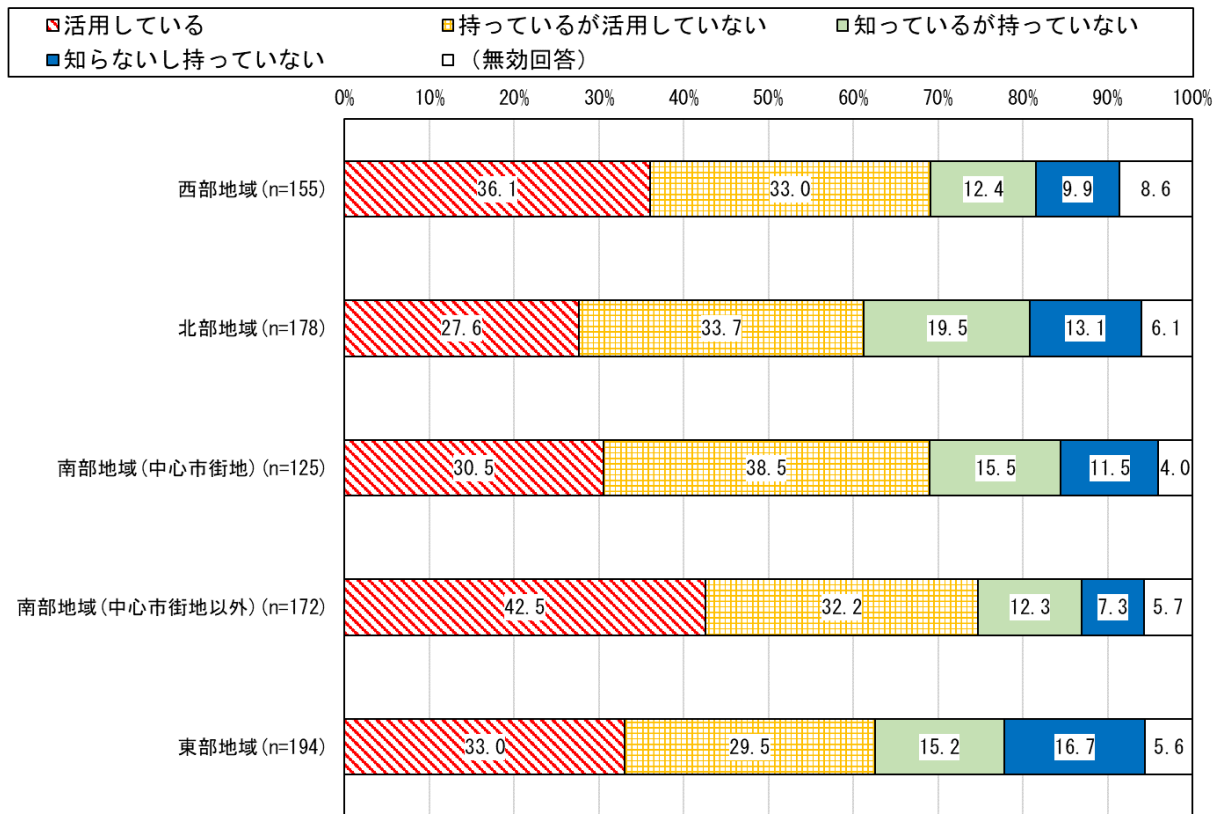
<地域別>

○「調布市防災マップ」はいずれの地域も「持っているが活用していない」が最も高くなっています。また、「調布市防災ハザードマップ」は「南部地域（中心市街地以外）」では「活用している」が42.5%で最も高くなっており、次いで、「西部地域」と「東部地域」でそれぞれ36.1%、33.0%となっています。

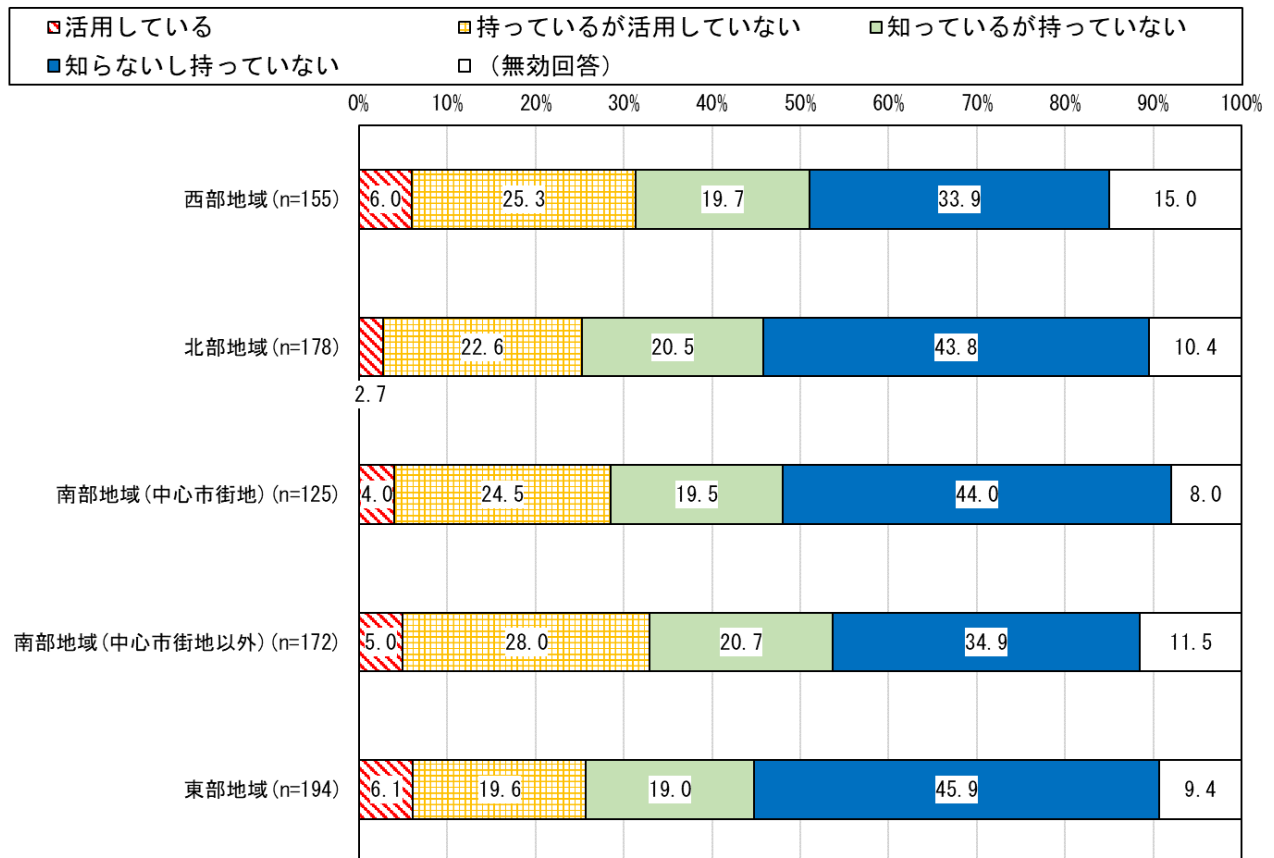
ア 調布市防災マップ



イ 調布市防災ハザードマップ

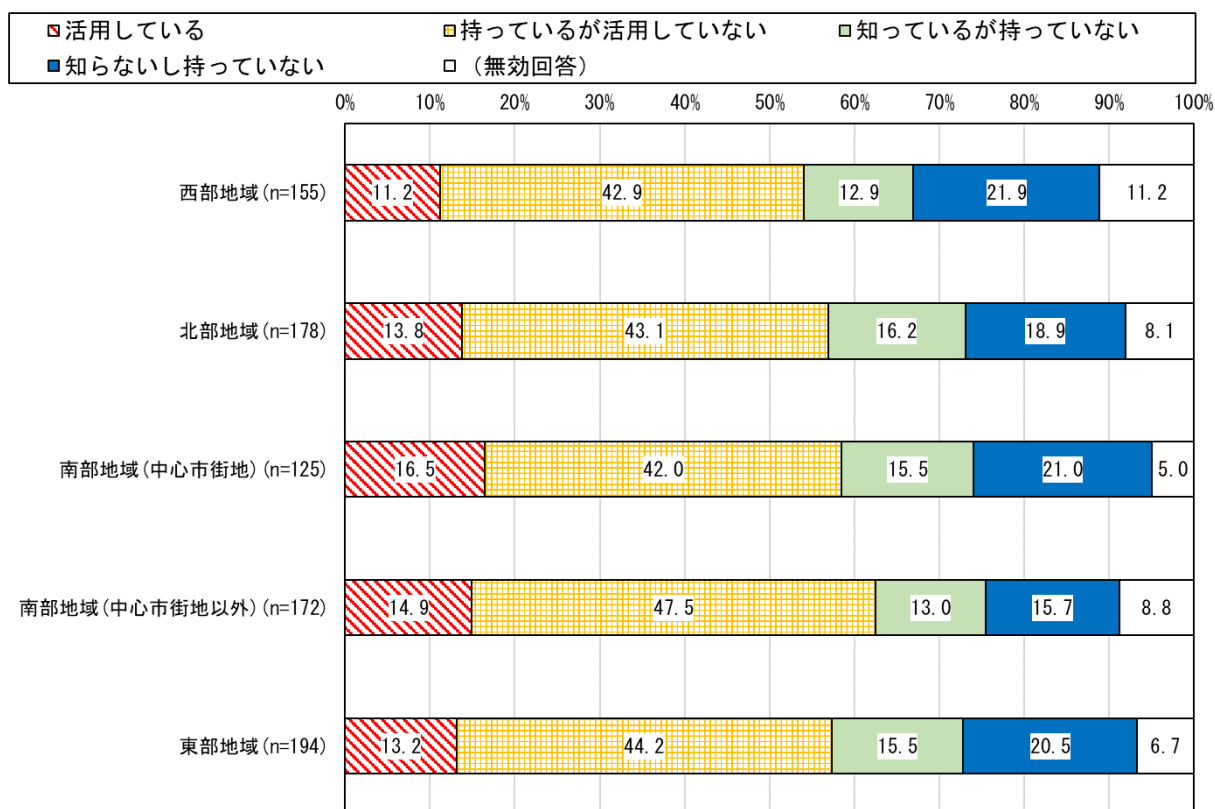


ウ 調布市防災手帳

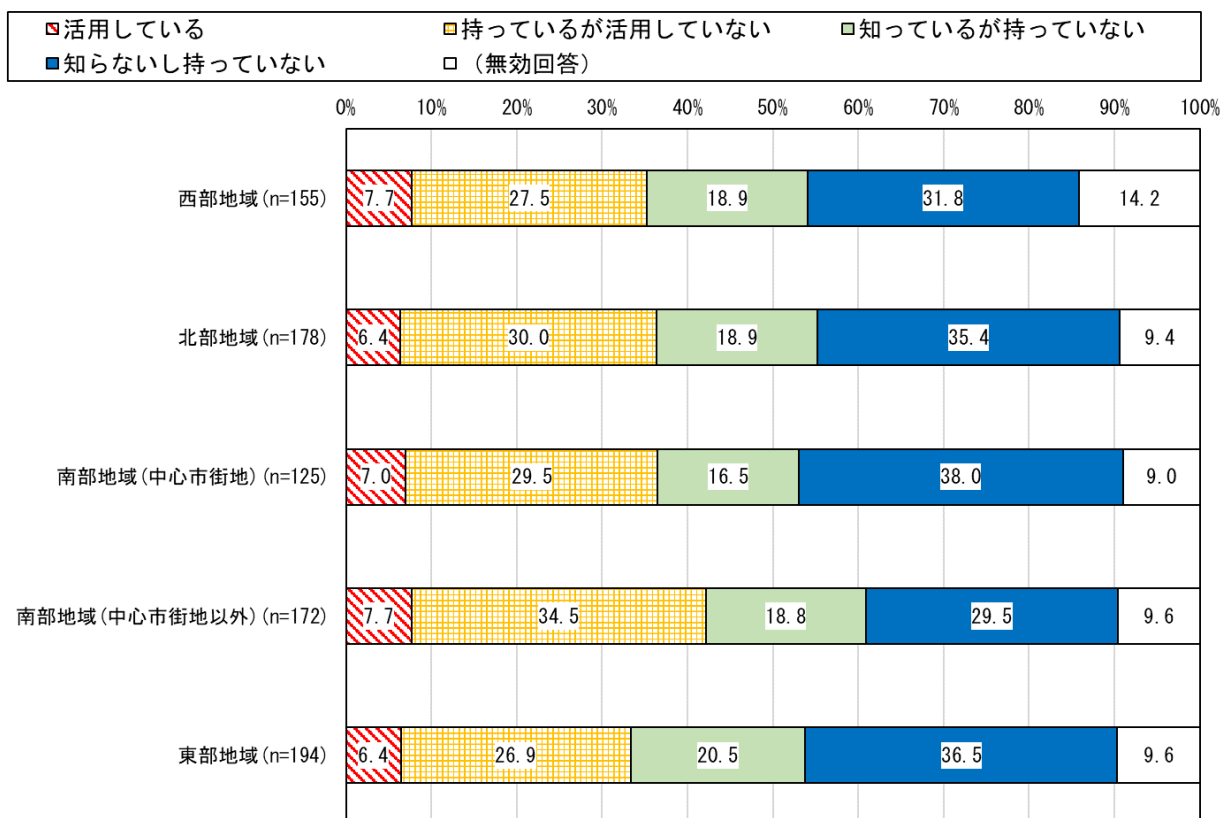


第3章 調査結果＜日ごろの意識や行動＞

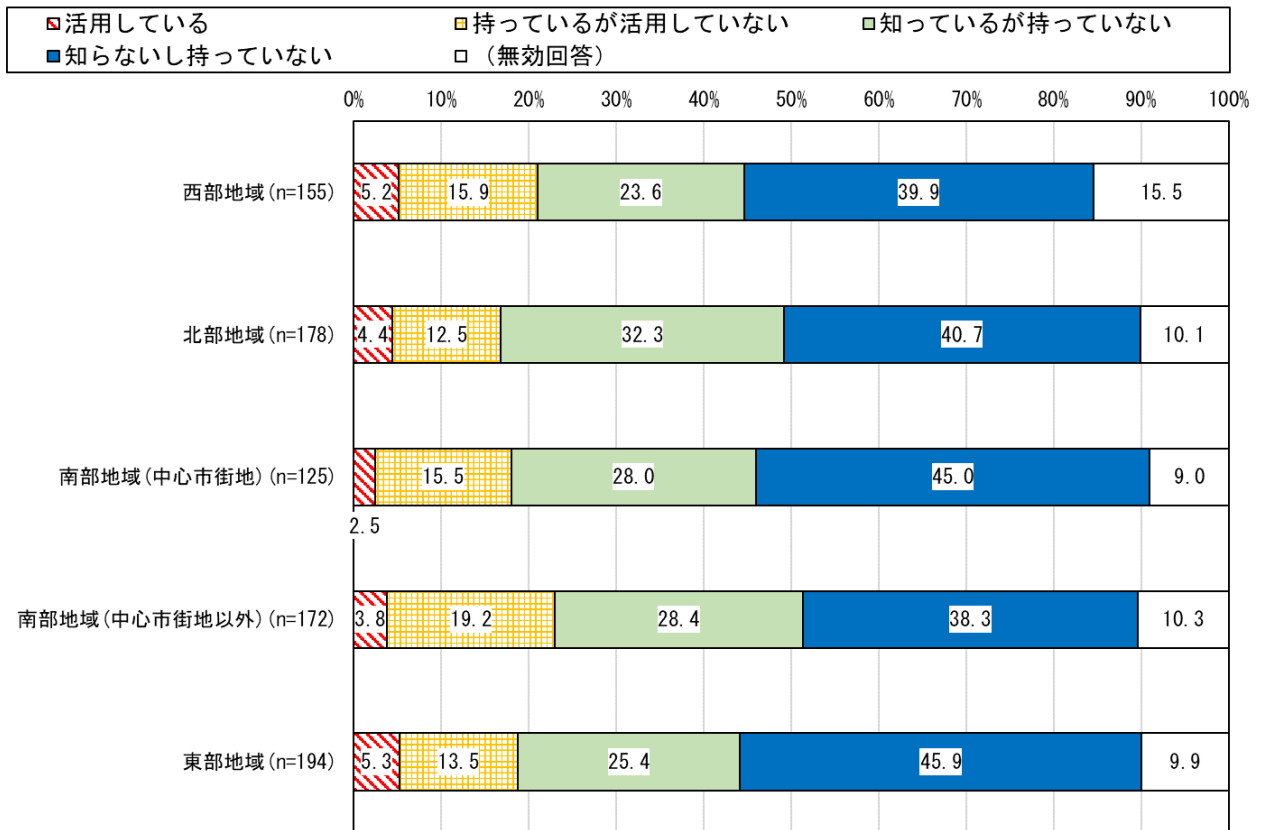
エ 東京都防災ブック「東京防災」



オ 東京都防災ブック「東京暮らし防災」



カ 東京都防災アプリ

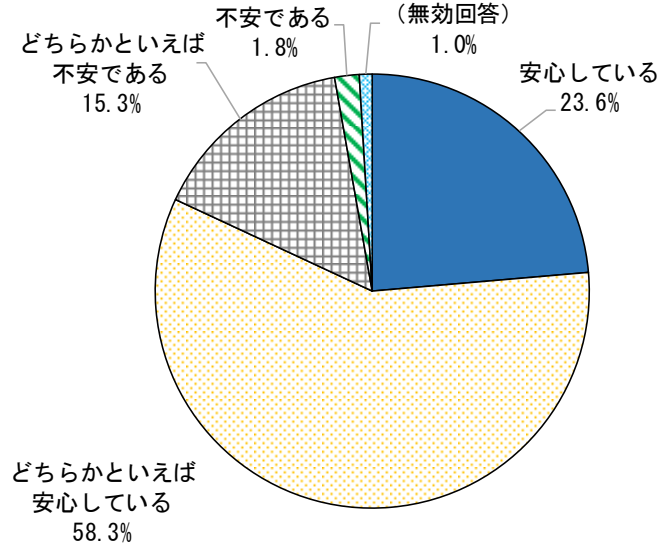


【防犯対策について】

問19) あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせると感じていますか。

<全体 (n=1,367) >

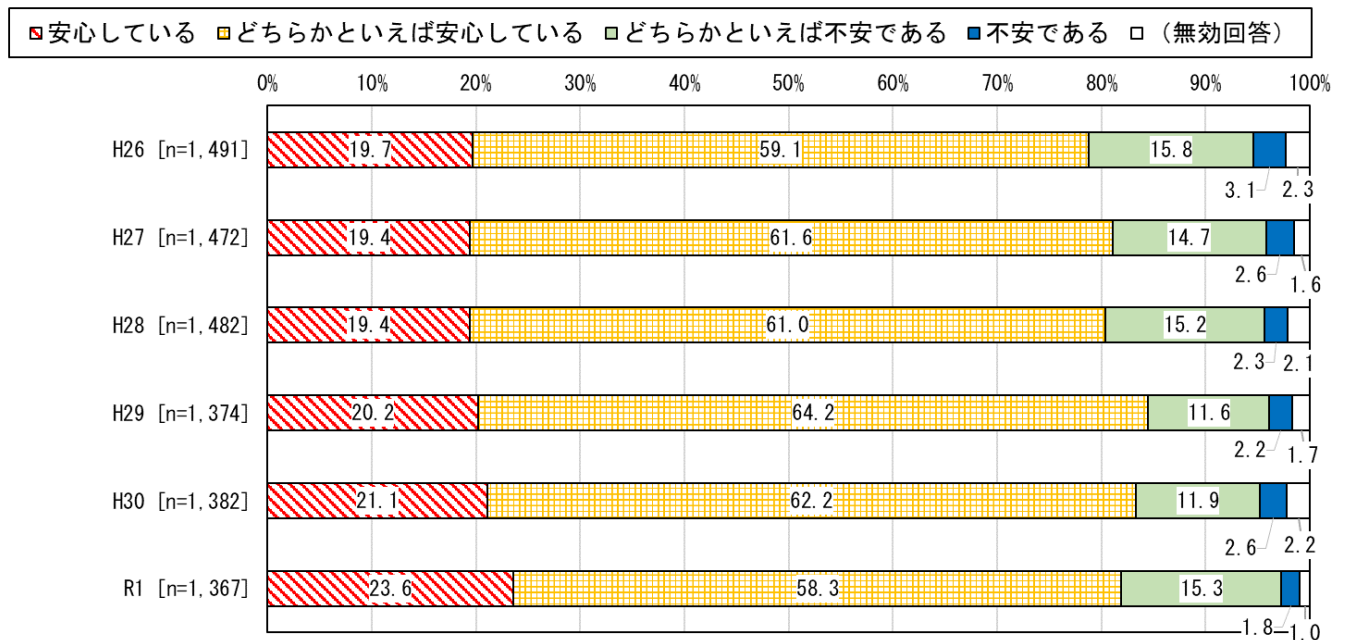
○「安心して暮らしている」は23.6%、「どちらかといえば安心して暮らしている」は58.3%であり、合計81.9%を占めています。



<経年比較>

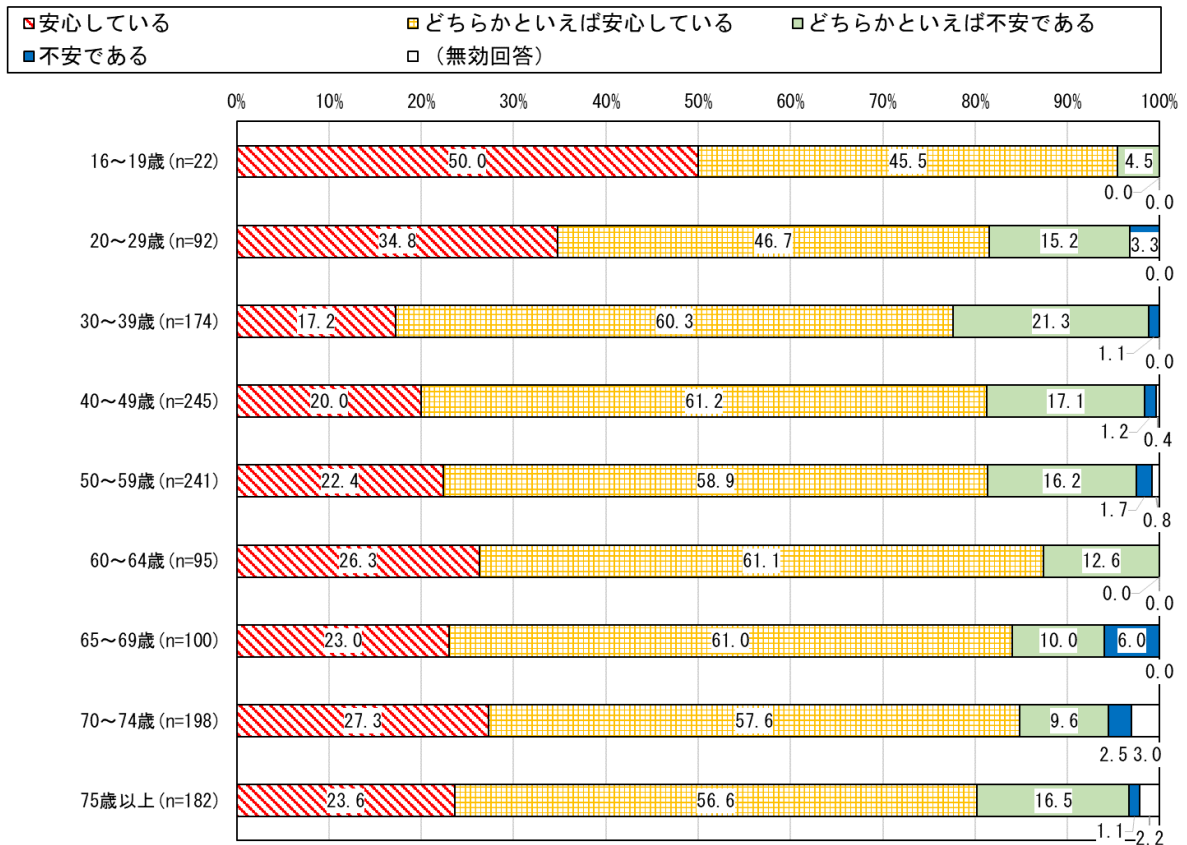
○「安心して暮らしている」「どちらかといえば安心して暮らしている」の合計(81.9%)は、平成30年度(83.3%)に比べ1.4ポイント減少しています。

○一方、「不安である」「どちらかといえば不安である」の合計(17.1%)は、平成30年度(14.5%)に比べ2.6ポイント増加しています。



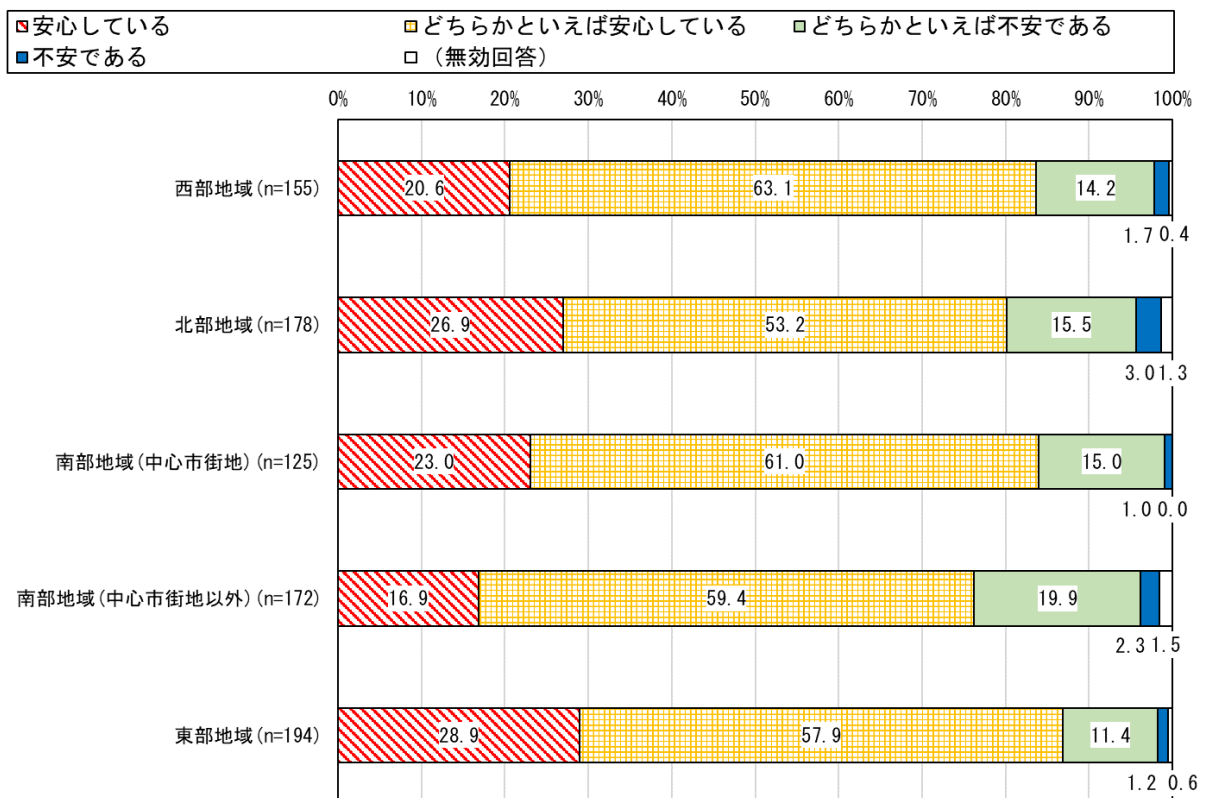
<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が75%以上を占めています。



<地域別>

○いずれの地域でも、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が70%以上を占めています。

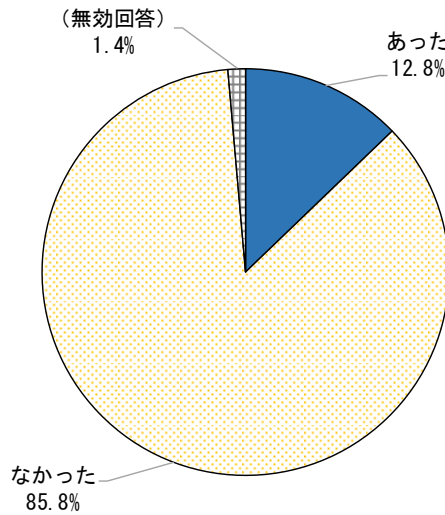


【各種相談について】

問20) あなたは、この1年間に日常生活の中で、身に覚えのない請求や、しつこい勧誘など、消費生活に関するトラブルに巻き込まれそうになった経験がありますか。

<全体 (n=1,367) >

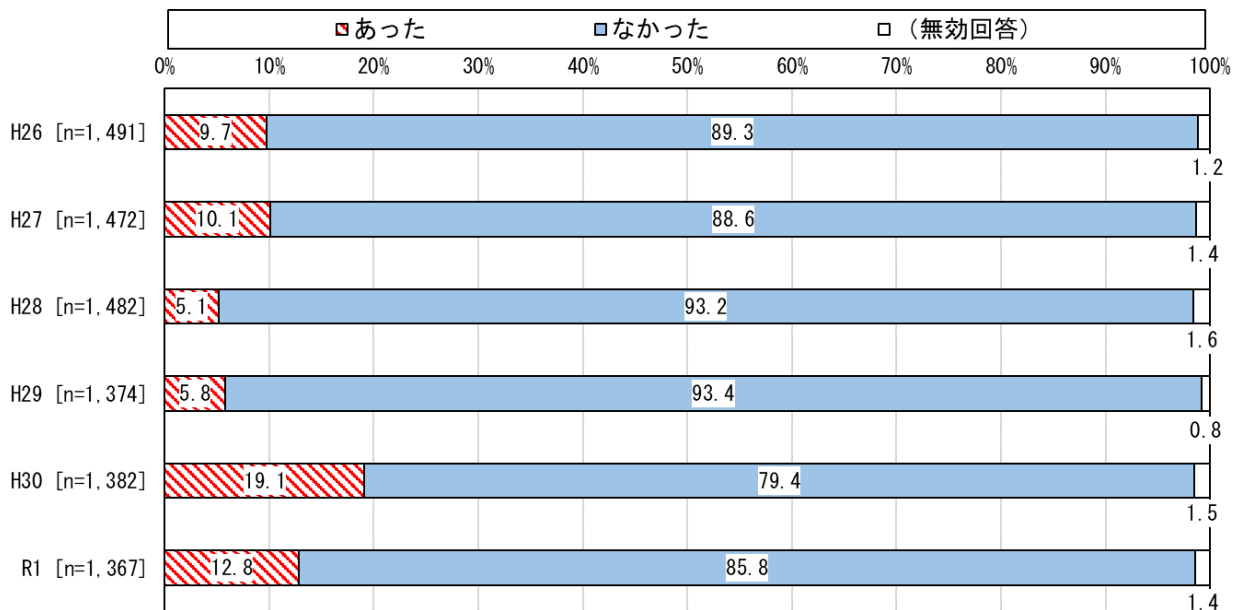
○消費生活上のトラブルに巻き込まれそうになった経験が「あった」は12.8%、「なかった」は85.8%となっています。



<経年比較>

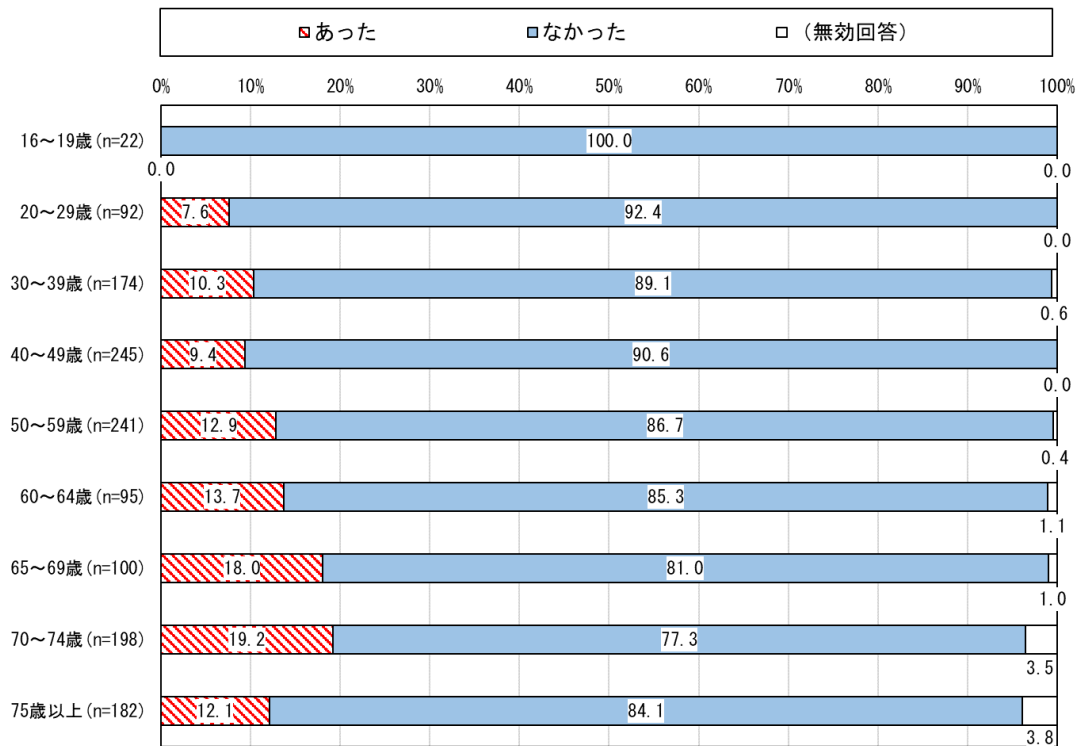
○消費生活上のトラブルに「あった」は、平成30年度に最も高い値(19.1%)となりましたが、令和元年度は、それに比べ6.3ポイント減少しています。

○一方、「なかった」は平成30年度(79.4%)に比べ、6.4ポイント増加しています。



<年齢層別>

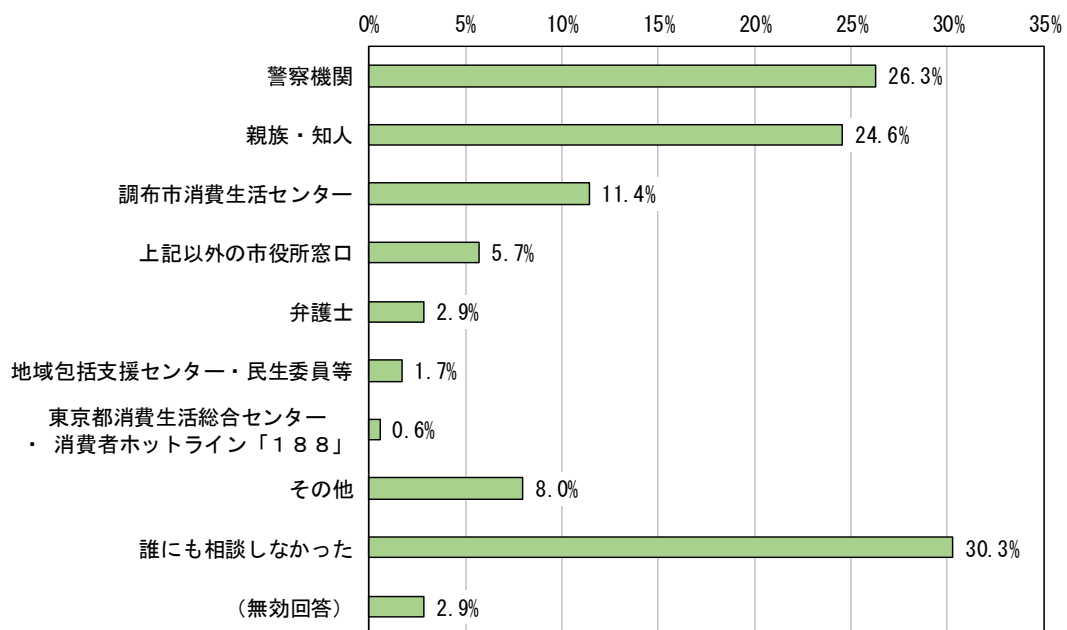
○年齢を重ねるごとに消費生活上のトラブルに「あった」が高くなる傾向にあります。



問 20-1) トラブルに巻き込まれそうになった際、どちらかへ相談しましたか。

<全体 (n=1,367)>

○「警察機関」が26.3%で最も高く、次いで「親族・知人」の24.6%の順となっています。また、「誰にも相談しなかった」は30.3%となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○いずれの年齢層においても、おおむね「警察機関」，「親族・知人」への相談が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	175 100.0%	0 100.0%	7 100.0%	18 100.0%	23 100.0%	31 100.0%	13 100.0%	18 100.0%	38 100.0%	22 100.0%
警察機関	46 26.3%	0 0.0%	2 28.6%	2 11.1%	5 21.7%	8 25.8%	3 23.1%	2 11.1%	14 36.8%	8 36.4%
親族・知人	43 24.6%	0 0.0%	2 28.6%	6 33.3%	5 21.7%	7 22.6%	4 30.8%	5 27.8%	8 21.1%	4 18.2%
調布市消費生活センター	20 11.4%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	2 8.7%	1 3.2%	4 30.8%	2 11.1%	7 18.4%	3 13.6%
上記以外の市役所窓口	10 5.7%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 4.3%	1 3.2%	0 0.0%	2 11.1%	3 7.9%	2 9.1%
弁護士	5 2.9%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	1 7.7%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%
地域包括支援センター・民生委員等	3 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	2 9.1%
東京都消費生活総合センター・ 消費者ホットライン「188」	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%
その他	14 1.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	3 1.2%	2 0.8%	2 2.1%	2 2.0%	1 0.5%	3 1.6%
誰にも相談しなかった	53 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	11 6.3%	11 4.5%	13 5.4%	2 2.1%	5 5.0%	7 3.5%	3 1.6%
(無効回答)	5 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	2 1.1%

回答割合が最も高い： (警察機関) 回答割合が2番目に高い： (親族・知人)

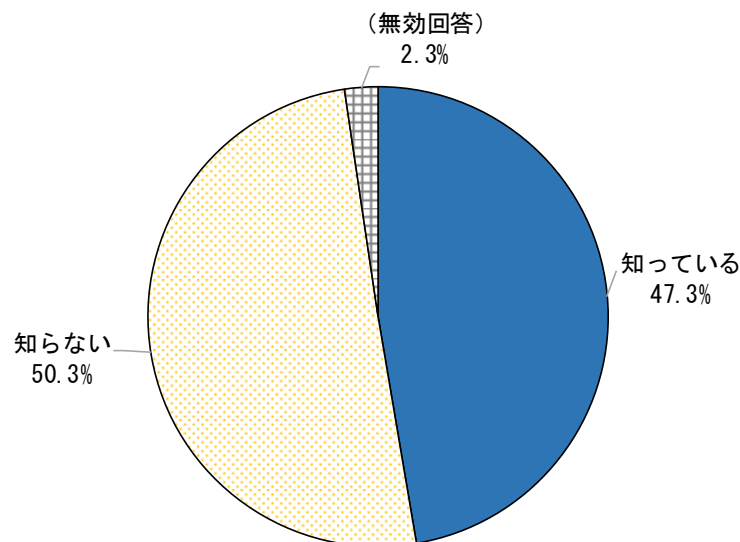
(上段：実数(人)，下段：構成比)

問21) あなたは、児童虐待やDV(ドメスティックバイオレンス)に関する次の相談窓口を知っていますか。

<全体 (n=1,367) >

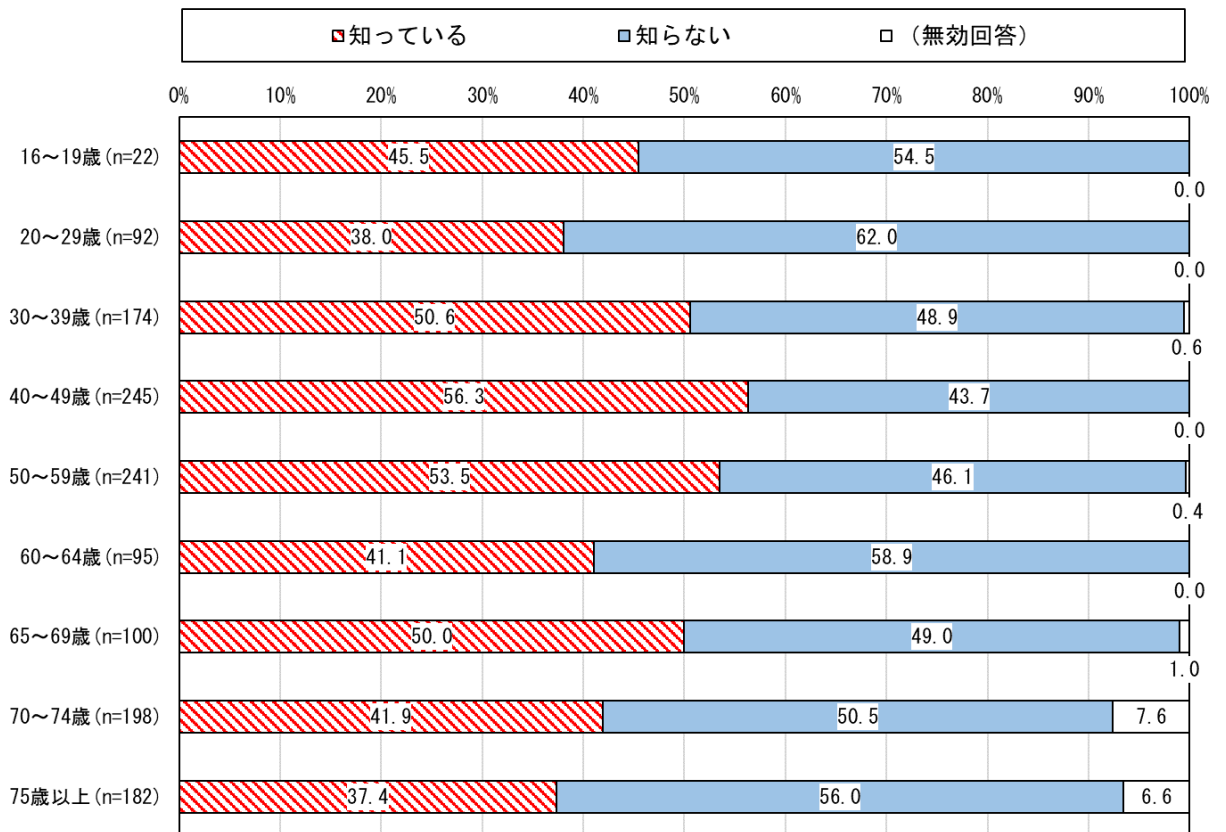
ア 児童虐待に関する相談

○「知っている」は47.3%，「知らない」は50.3%となっており，認知度はきつ抗しています。



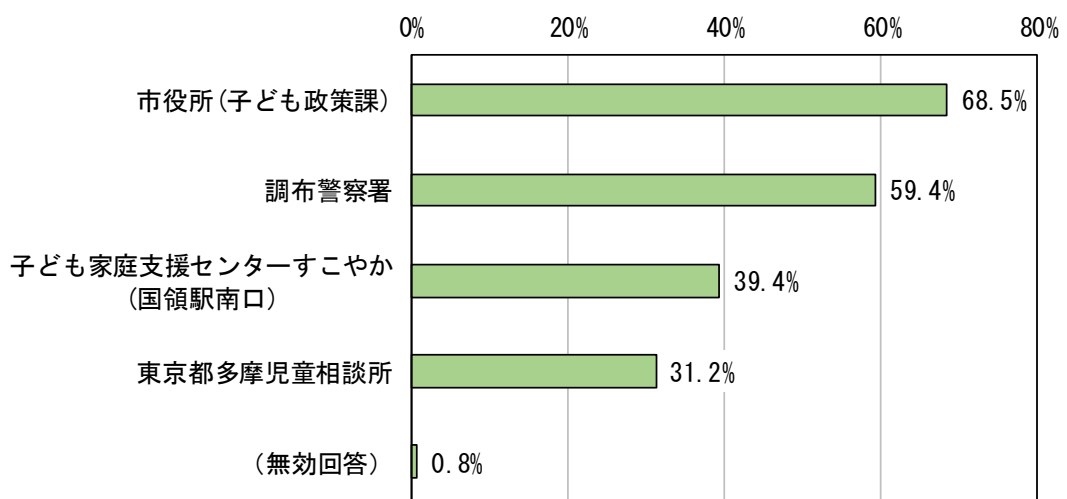
<年齢層別>

○30～59歳と65～69歳では「知っている」が50%を上回っています。特に40～49歳で最も高くなっています。



<相談窓口 (n=647) >

○「市役所 (子ども政策課)」が68.5%で最も高く、次いで調布警察署の59.4%、子ども家庭支援センターすこやか (国領駅南口) の39.4%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢別相談窓口>

○いずれの年齢層も「市役所（子ども政策課）」と「調布警察署」が高くなっています。

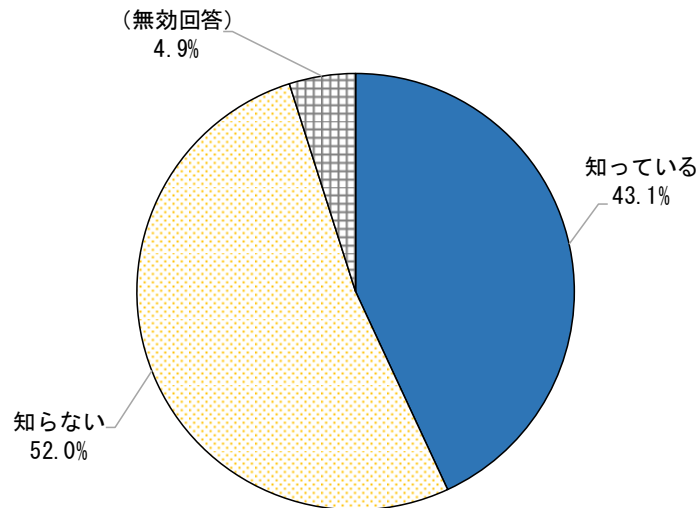
選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	647	10	35	88	138	129	39	50	83	68
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市役所(子ども政策課)	443	9	23	67	85	87	25	34	63	47
	68.5%	90.0%	65.7%	76.1%	61.6%	67.4%	64.1%	68.0%	75.9%	69.1%
調布警察署	384	2	19	55	81	80	25	35	44	41
	59.4%	20.0%	54.3%	62.5%	58.7%	62.0%	64.1%	70.0%	53.0%	60.3%
子ども家庭支援センターすこやか(国領駅南口)	255	2	14	41	69	48	7	14	31	26
	39.4%	20.0%	40.0%	46.6%	50.0%	37.2%	17.9%	28.0%	37.3%	38.2%
東京都多摩児童相談所	202	1	10	31	43	47	11	15	21	19
	31.2%	10.0%	28.6%	35.2%	31.2%	36.4%	28.2%	30.0%	25.3%	27.9%
(無効回答)	5	0	1	0	1	1	0	1	0	1
	0.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.7%	0.8%	0.0%	2.0%	0.0%	1.5%

(上段：実数(人)、下段：構成比)
 回答割合が最も高い： 回答割合が2番目に高い：

イ DV(ドメスティックバイオレンス)に関する相談

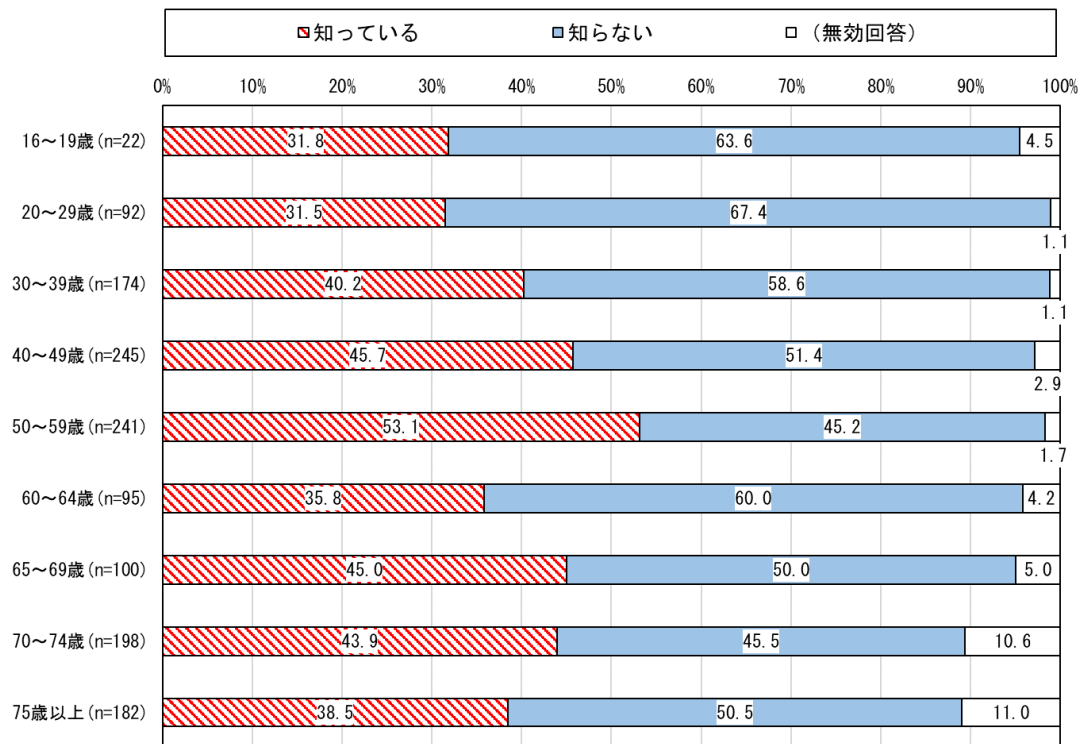
<全体(n=1,367)>

○「知っている」は43.1%、「知らない」は52.0%となっており、後者が前者を8.9ポイント上回っています。



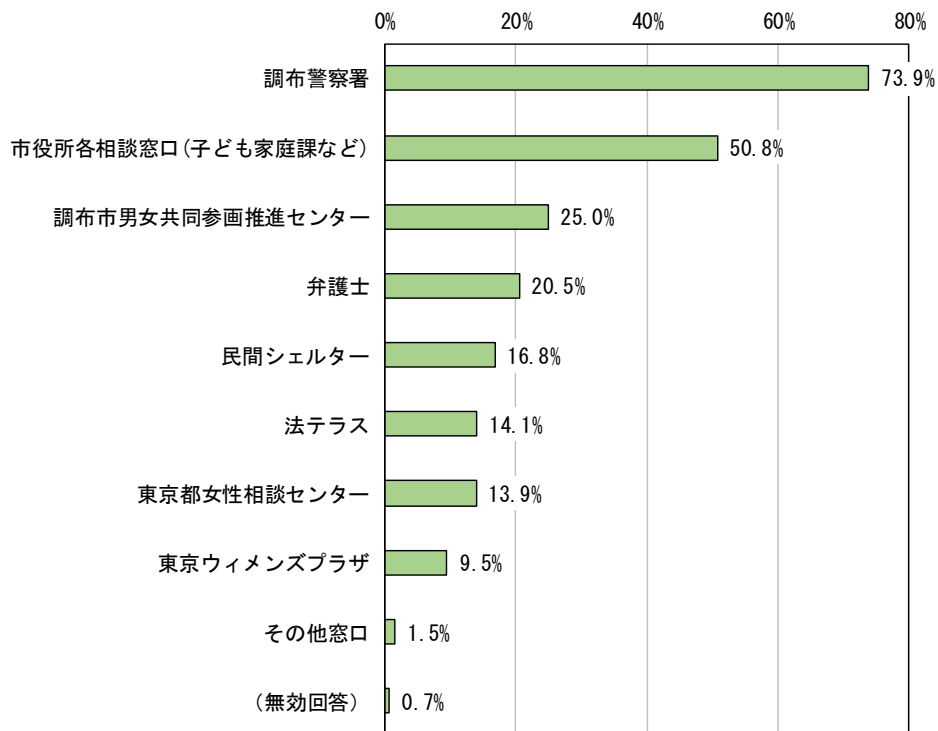
<年齢層別>

○50～59歳では「知っている」(53.1%)が「知らない」(45.2%)を上回っています。



<相談窓口 (n=589) >

○「調布警察署」が73.9%で最も高く、次いで「市役所各相談窓口(子ども家庭課など)」の50.8%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別相談窓口>

○16～19歳では「市役所各相談窓口（子ども家庭課など）」、他の年齢層ではいずれも「調布警察署」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	589	7	29	70	112	128	34	45	87	70
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
調布警察署	435	1	19	54	88	94	28	37	56	52
	73.9%	14.3%	65.5%	77.1%	78.6%	73.4%	82.4%	82.2%	64.4%	74.3%
市役所各相談窓口(子ども家庭課など)	299	4	15	35	50	65	15	28	46	40
	50.8%	57.1%	51.7%	50.0%	44.6%	50.8%	44.1%	62.2%	52.9%	57.1%
調布市男女共同参画推進センター	147	1	8	13	29	34	4	7	22	26
	25.0%	14.3%	27.6%	18.6%	25.9%	26.6%	11.8%	15.6%	25.3%	37.1%
弁護士	121	0	8	16	28	30	5	6	12	14
	20.5%	0.0%	27.6%	22.9%	25.0%	23.4%	14.7%	13.3%	13.8%	20.0%
民間シェルター	99	1	6	16	22	30	2	6	9	6
	16.8%	14.3%	20.7%	22.9%	19.6%	23.4%	5.9%	13.3%	10.3%	8.6%
法テラス	83	1	5	14	19	22	4	5	7	4
	14.1%	14.3%	17.2%	20.0%	17.0%	17.2%	11.8%	11.1%	8.0%	5.7%
東京都女性相談センター	82	0	4	14	15	19	3	5	12	9
	13.9%	0.0%	13.8%	20.0%	13.4%	14.8%	8.8%	11.1%	13.8%	12.9%
東京ウィメンズプラザ	56	0	1	5	18	21	3	2	3	3
	9.5%	0.0%	3.4%	7.1%	16.1%	16.4%	8.8%	4.4%	3.4%	4.3%
その他窓口	9	0	0	0	2	4	0	0	2	1
	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.7%	0.0%	0.0%	1.0%	0.5%
(無効回答)	4	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	1.0%	0.0%	1.1%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

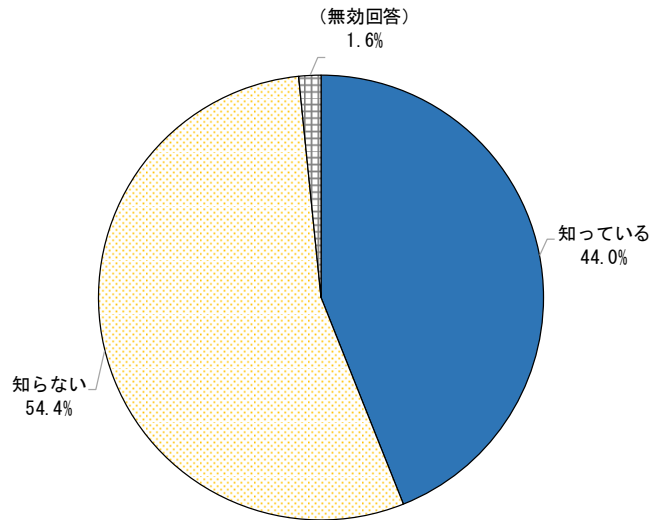
【地域福祉・高齢者施策・障害者施策について】

問 22) あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。

地域包括支援センター

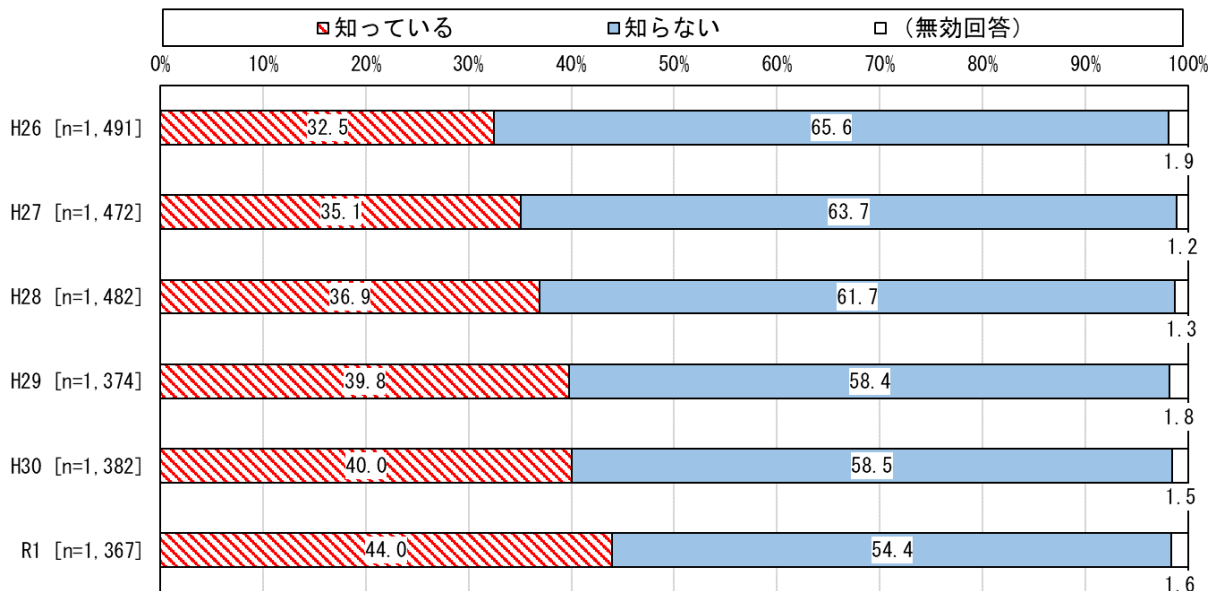
<全体 (n=1,367) >

○「知っている」は44.0%、「知らない」は54.4%であり、後者が前者を10.4ポイント上回っています。



<経年比較>

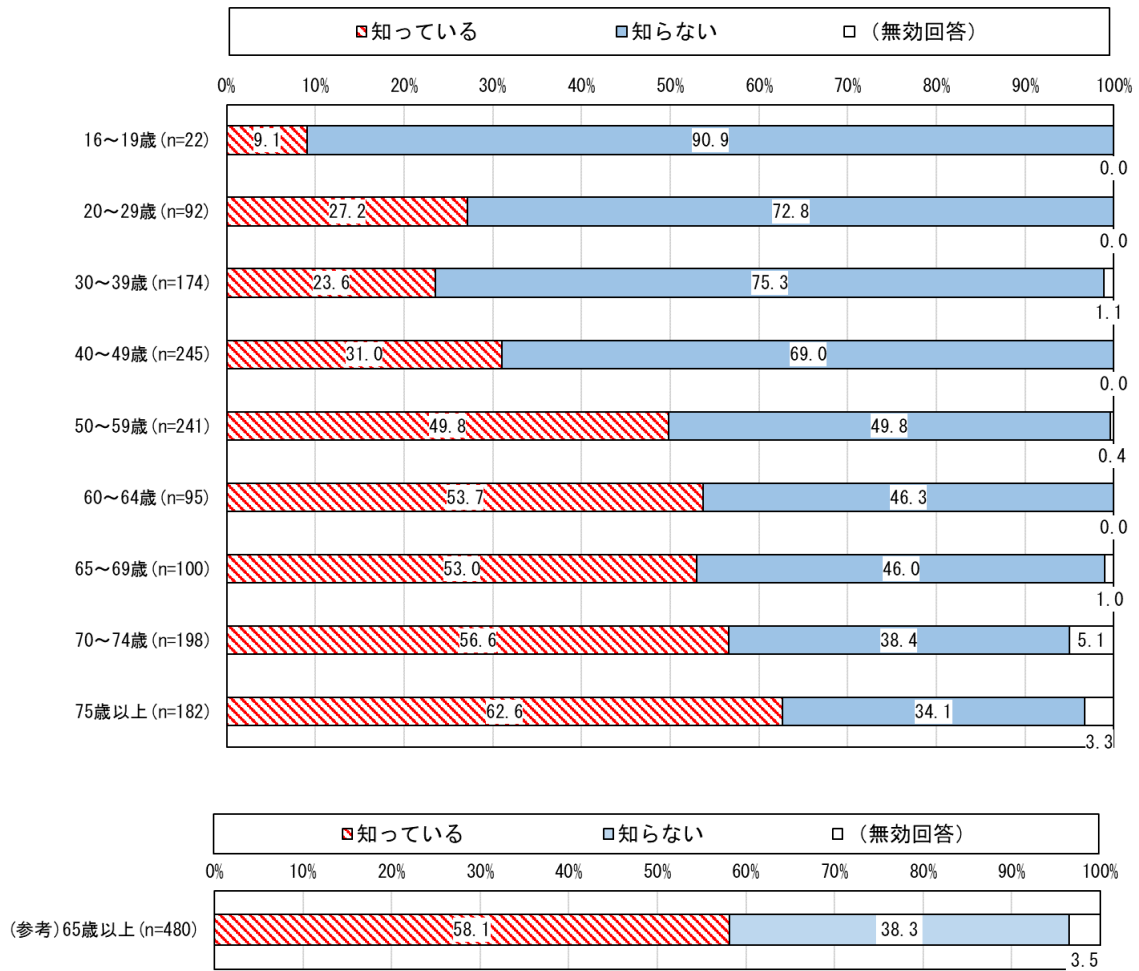
○「知っている」(44.0%)は、平成26年度以降、一貫して増加傾向で推移しており、令和元年度は平成30年度(40.0%)に比べ4.0ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

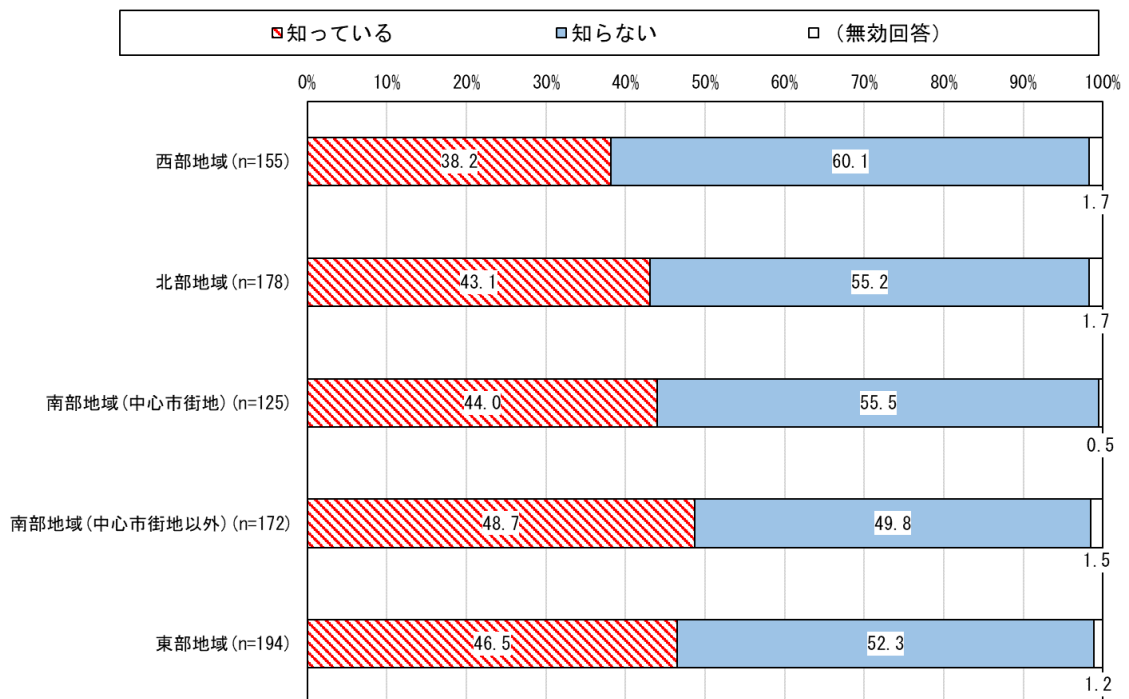
<年齢層別>

○「知っている」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、60歳以上では半数を超えています。



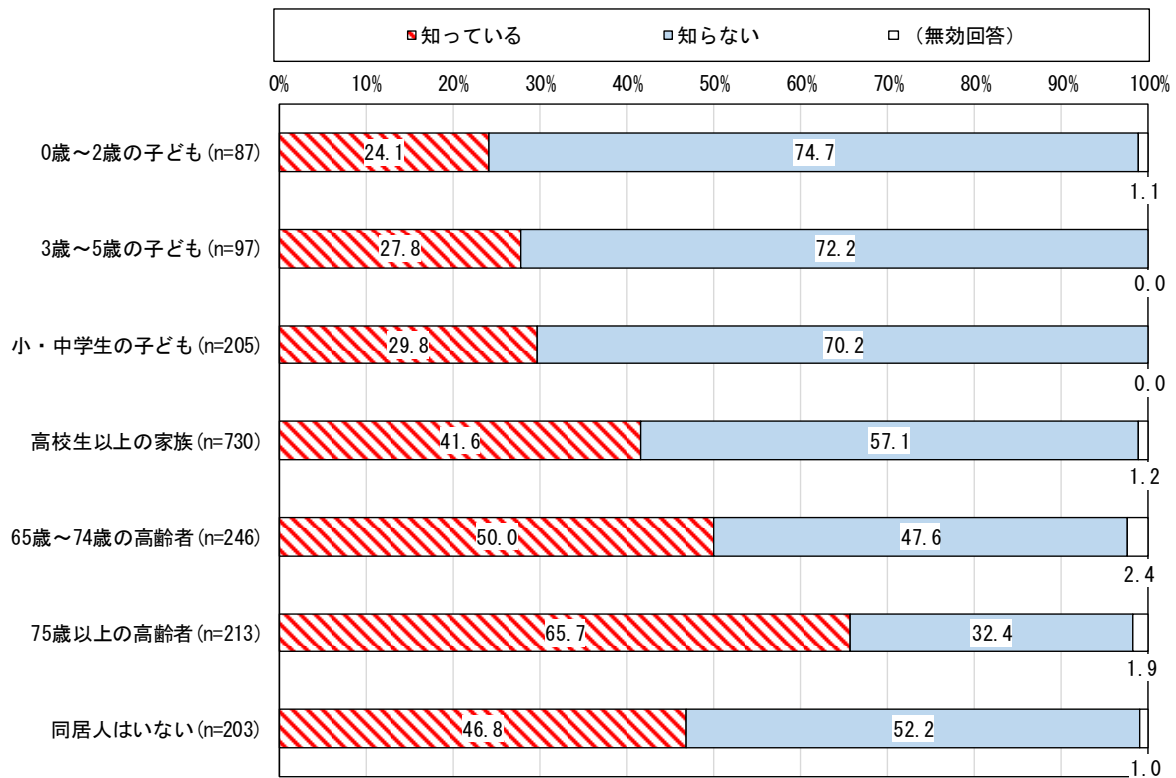
<地域別>

○いずれの地域でも「知っている」は40%前後となっており、「知らない」を下回っています。



<家族構成別>

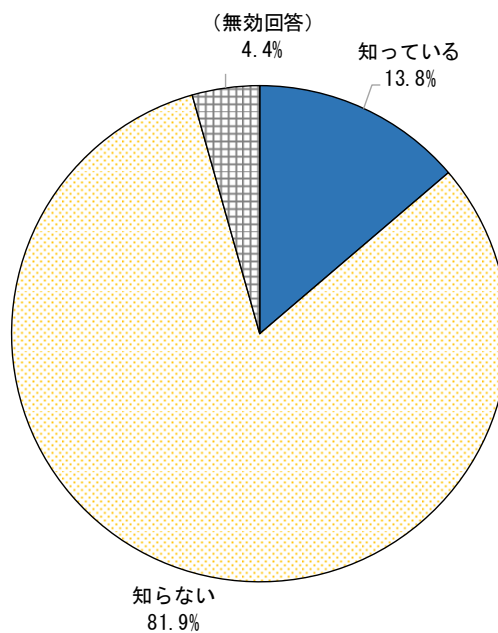
○65歳以上の同居人がいる方の「知っている」は、「65歳～74歳の高齢者」で50.0%、「75歳以上の高齢者」で65.7%に上っています。



地域福祉コーディネーター

<全体 (n=1,367)>

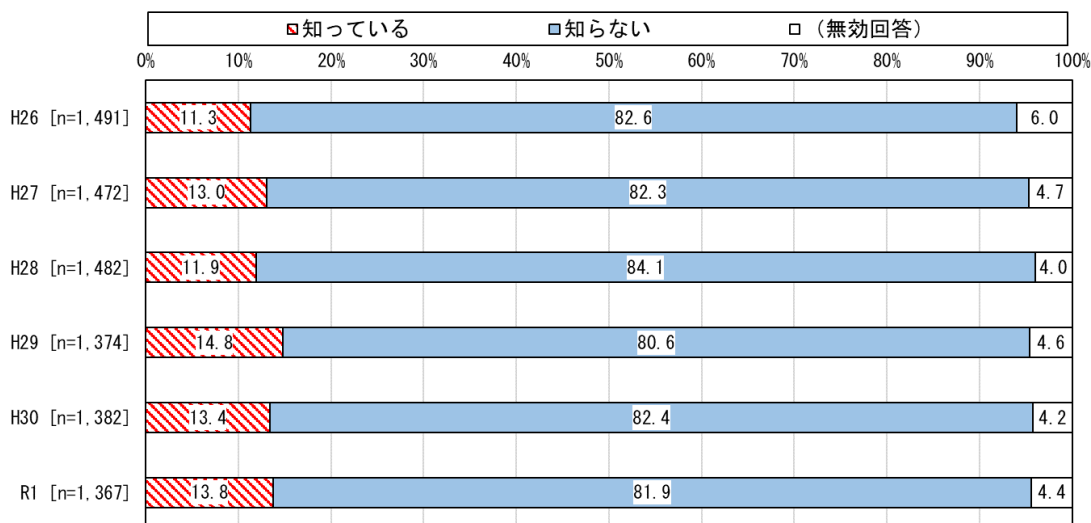
○「知っている」は13.8%であり、「知らない」の81.9%を大きく下回っています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

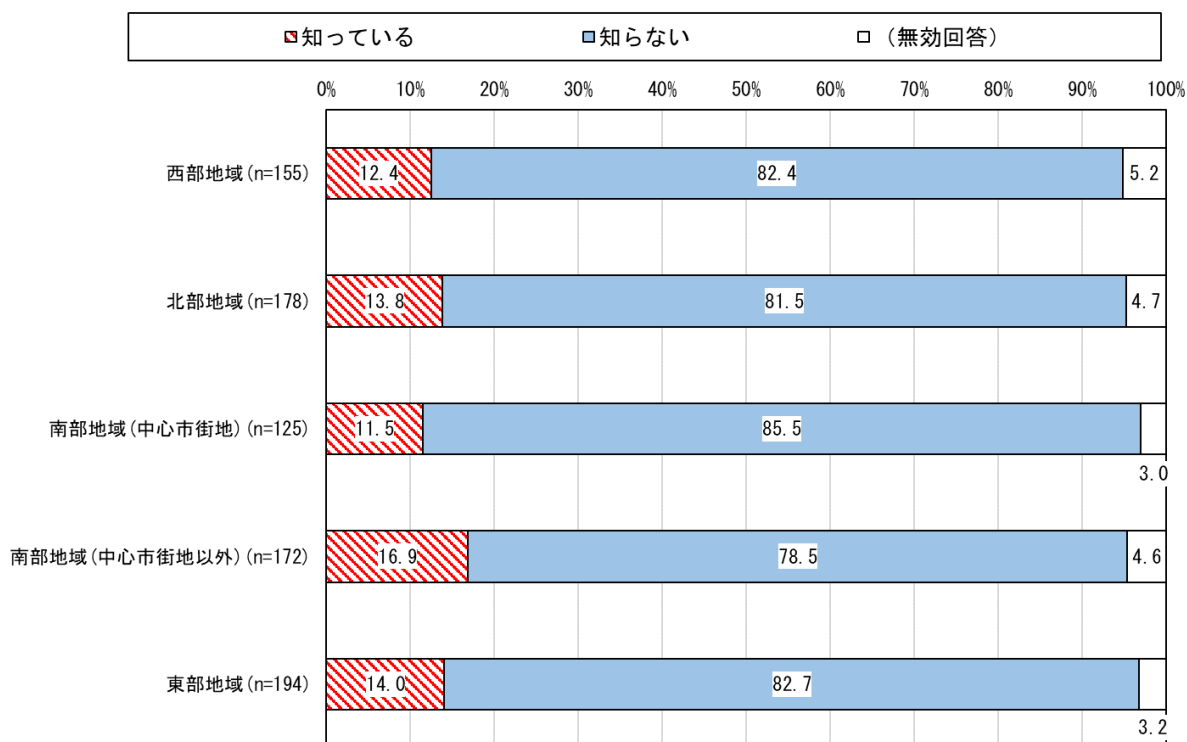
<経年比較>

○「知っている」は、平成26年度の11.3%から増減を繰り返しながら推移し、令和元年度では13.8%となっています。



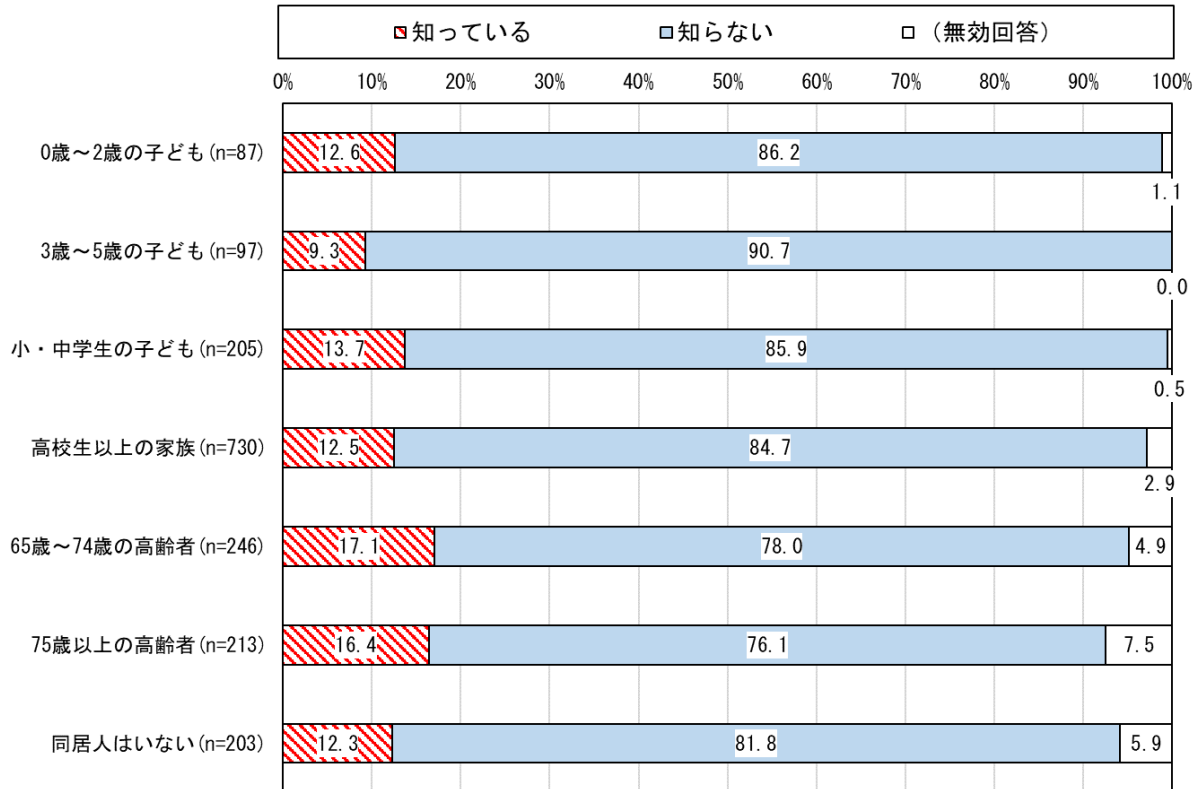
<地域別>

○いずれの地域でも「知っている」は10%台にとどまっており、「知らない」がおおむね80%台に上っています。



<家族構成別>

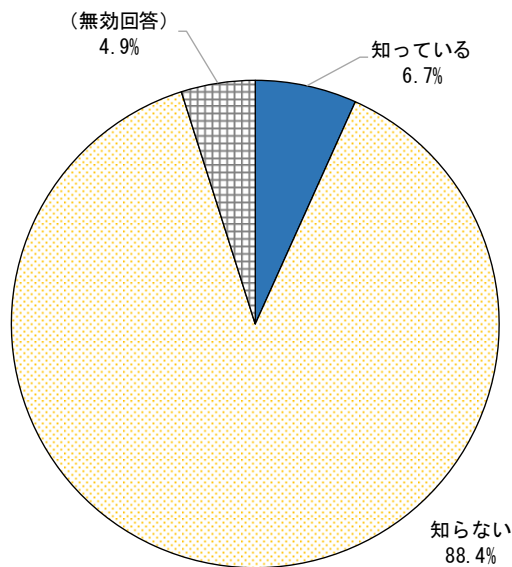
○いずれの家族構成においても、「知っている」は2割を下回っています。



地域支え合い推進員

<全体 (n=1,367)>

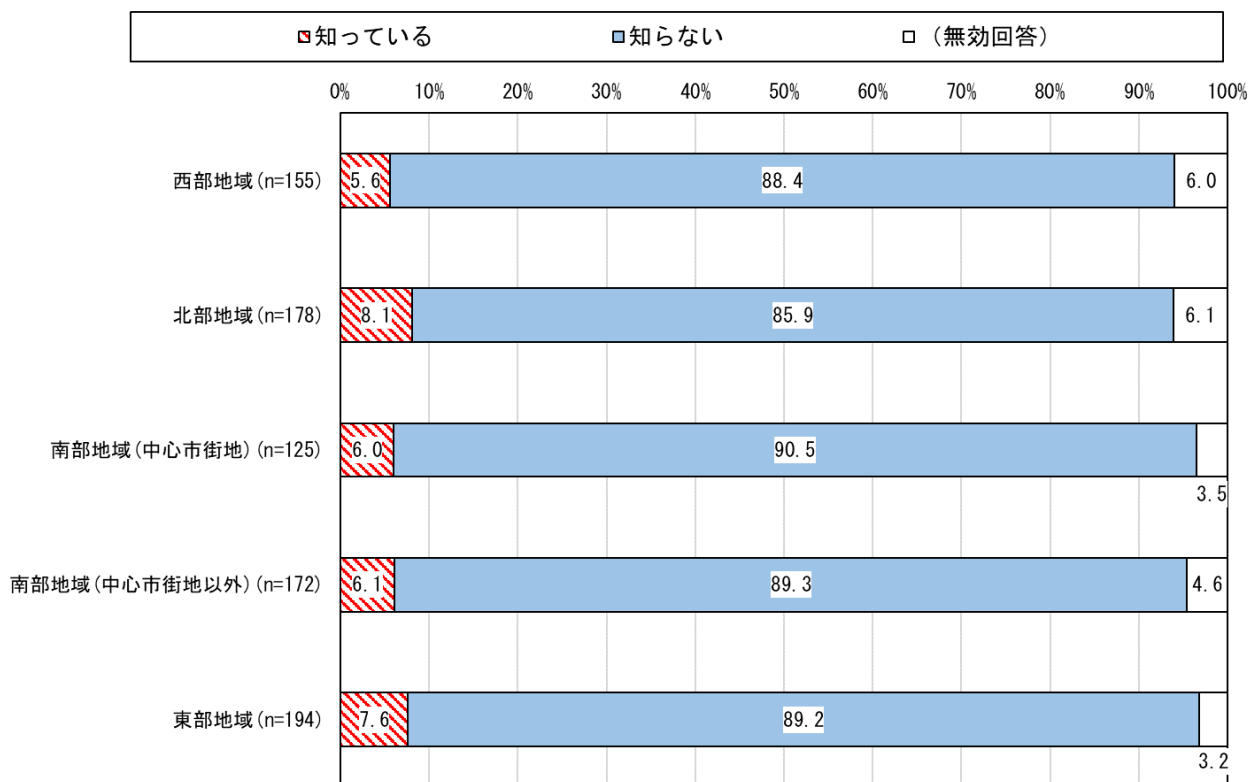
○「知っている」は6.7%、「知らない」は88.4%であり、後者が前者を大きく上回っています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

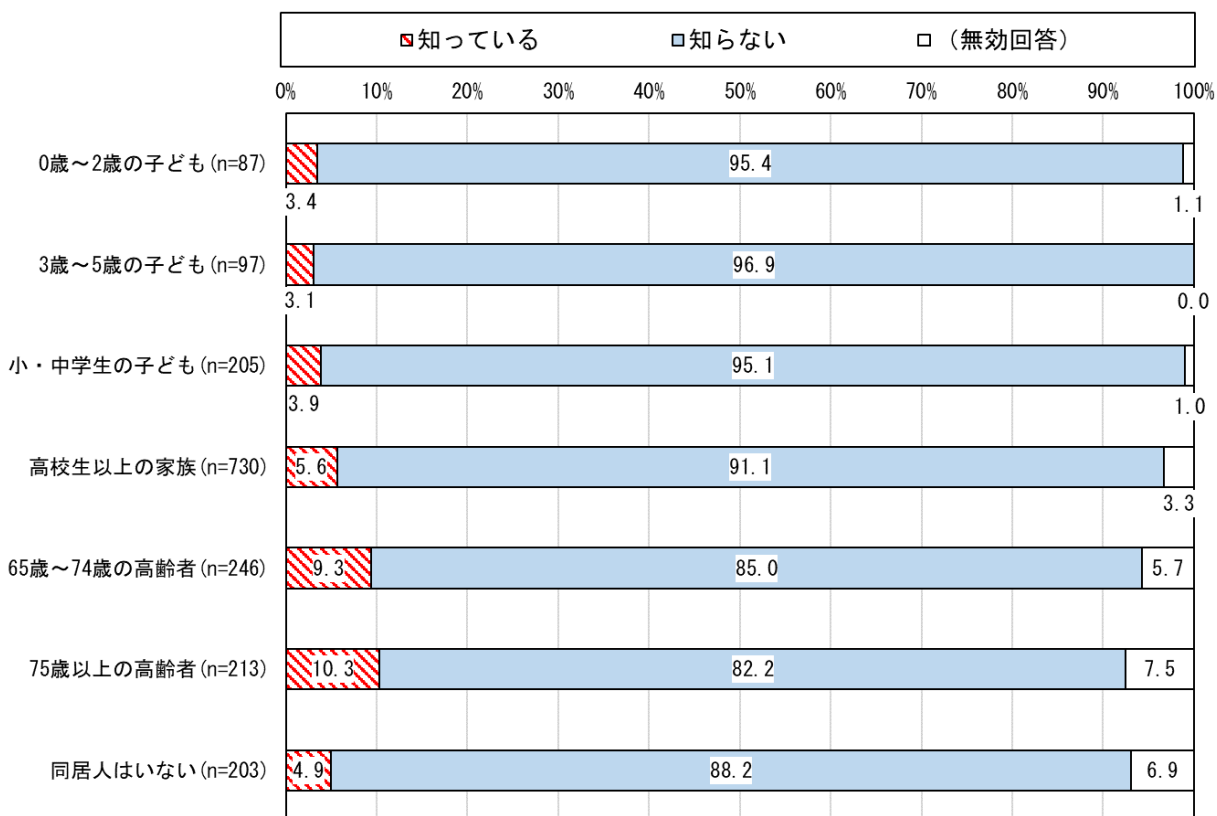
<地域別>

○いずれの地域でも「知っている」は10%未満であり、「知らない」が90%前後に上っています。



<家族構成別>

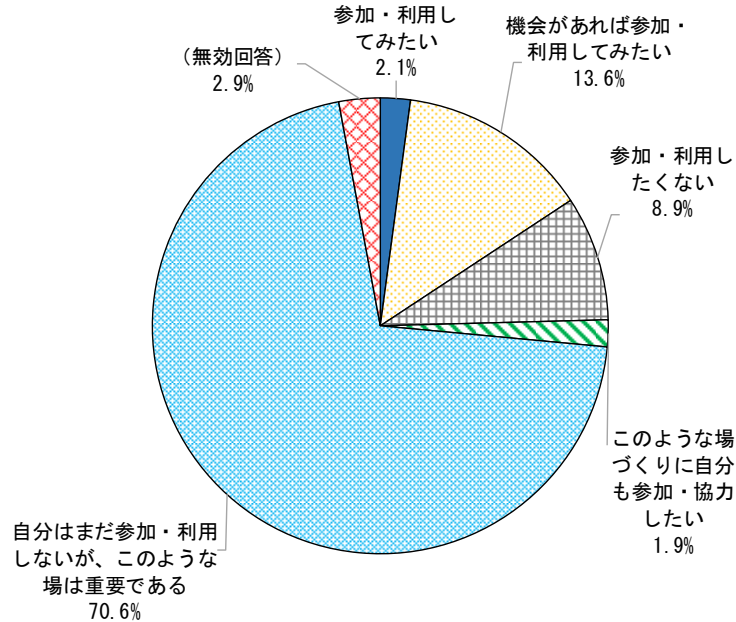
○「75歳以上の高齢者」を除く全ての家族構成において、「知っている」は10%を下回っています。



問23) あなたは、地域における交流の場（ひだまりサロンなど）についてどのように感じますか。

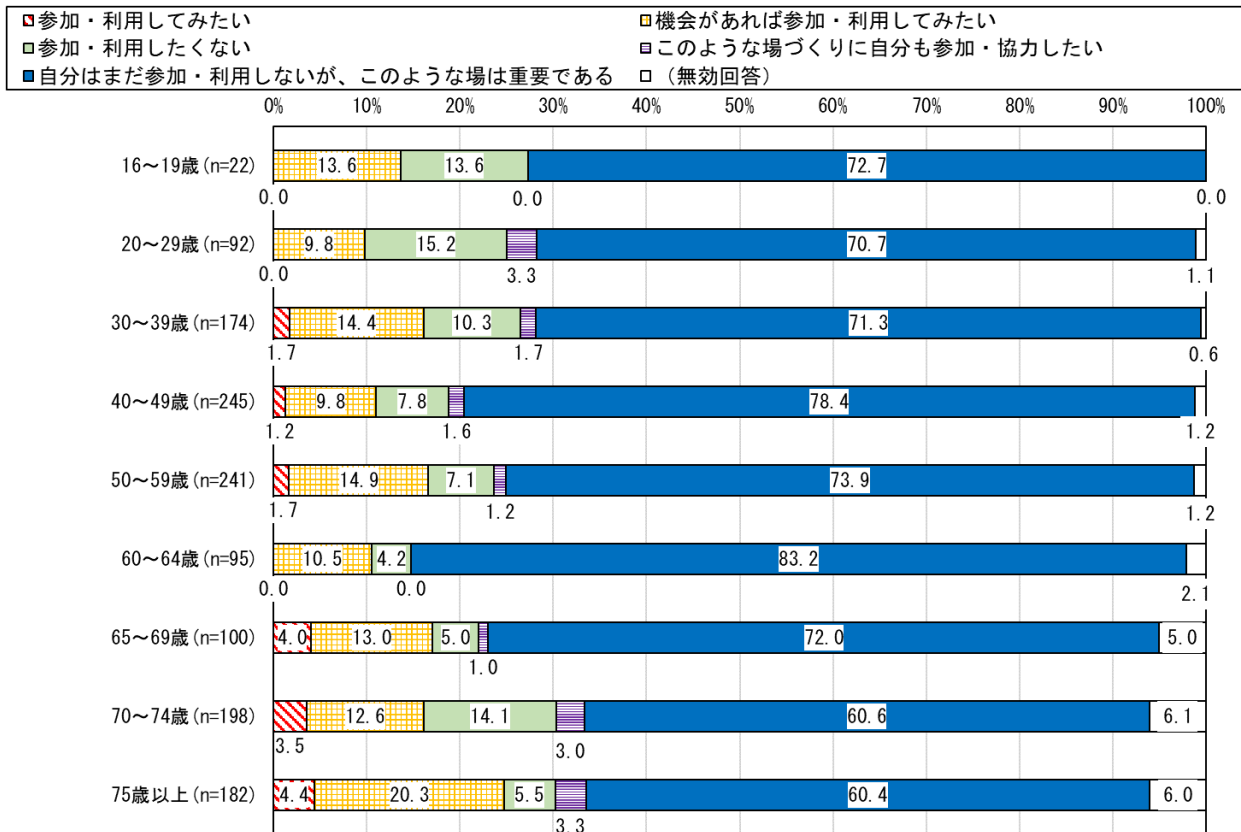
<全体 (n=1,367)>

○「自分はまだ参加・利用しないが、このような場は重要である」が70.6%で最も高く、次いで「機会があれば参加・利用してみたい」の13.6%の順となっています。



<年齢層別>

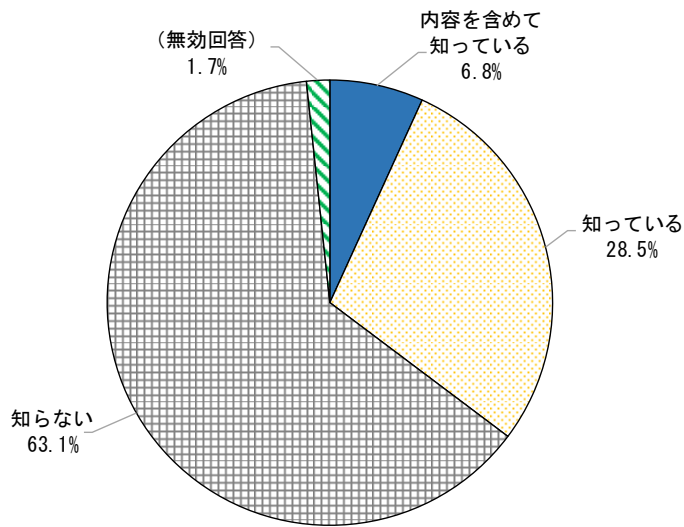
○「参加・利用してみたい」と「機会があれば参加・利用してみたい」の合計は、75歳以上が24.7%で最も高く、次いで50～59歳の16.6%となっています。



問24) あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。

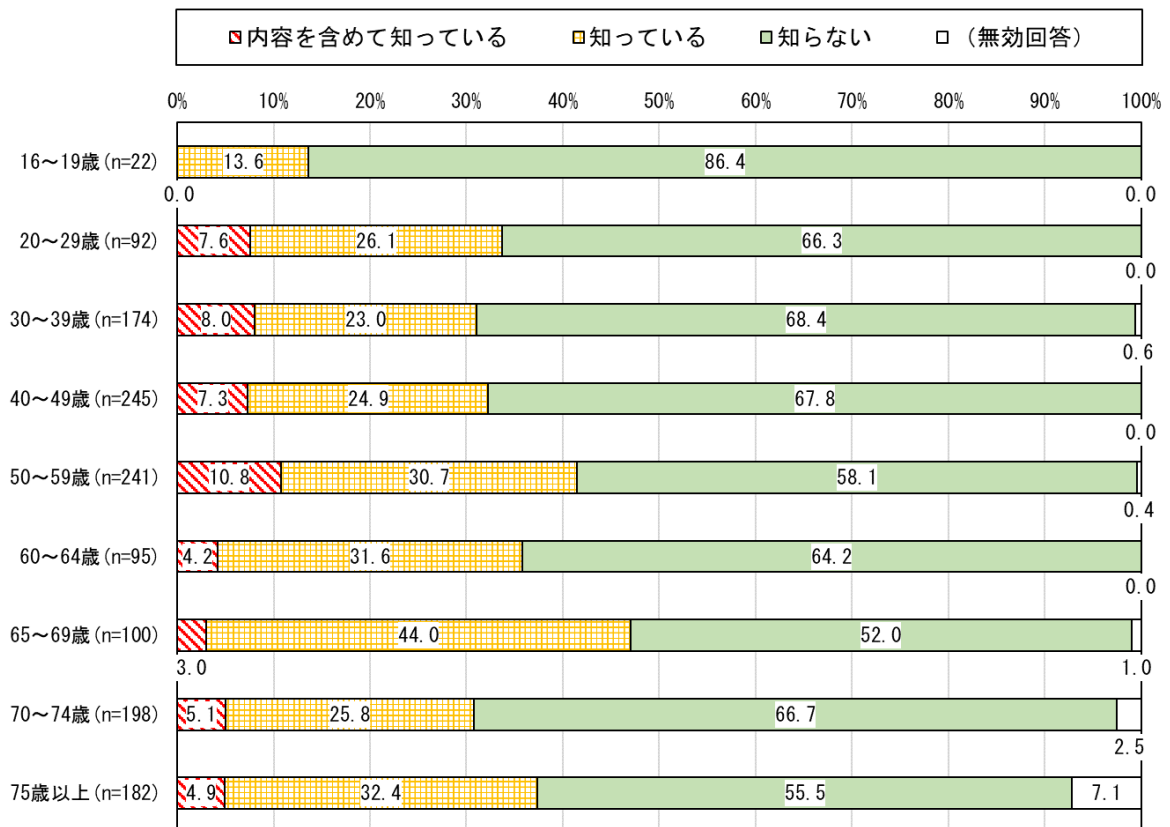
<全体 (n=1,367)>

○「内容を含めて知っている」は6.8%、「知っている」は28.5%であり、合計で35.3%となっています。



<年齢層別>

○65～69歳が、「内容を含めて知っている」、「知っている」の合計が47.0%で最も高く、次いで50～59歳の41.5%、75歳以上の37.3%の順となっています。



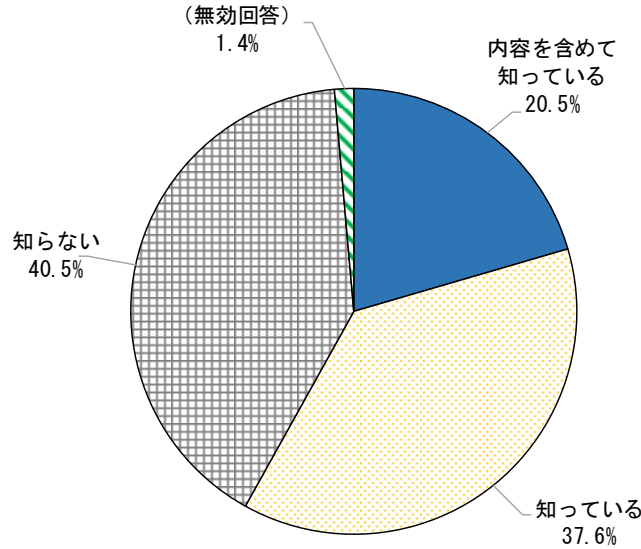
<ヘルプカード>



問25) あなたは、「ヘルプカード」を知っていますか。

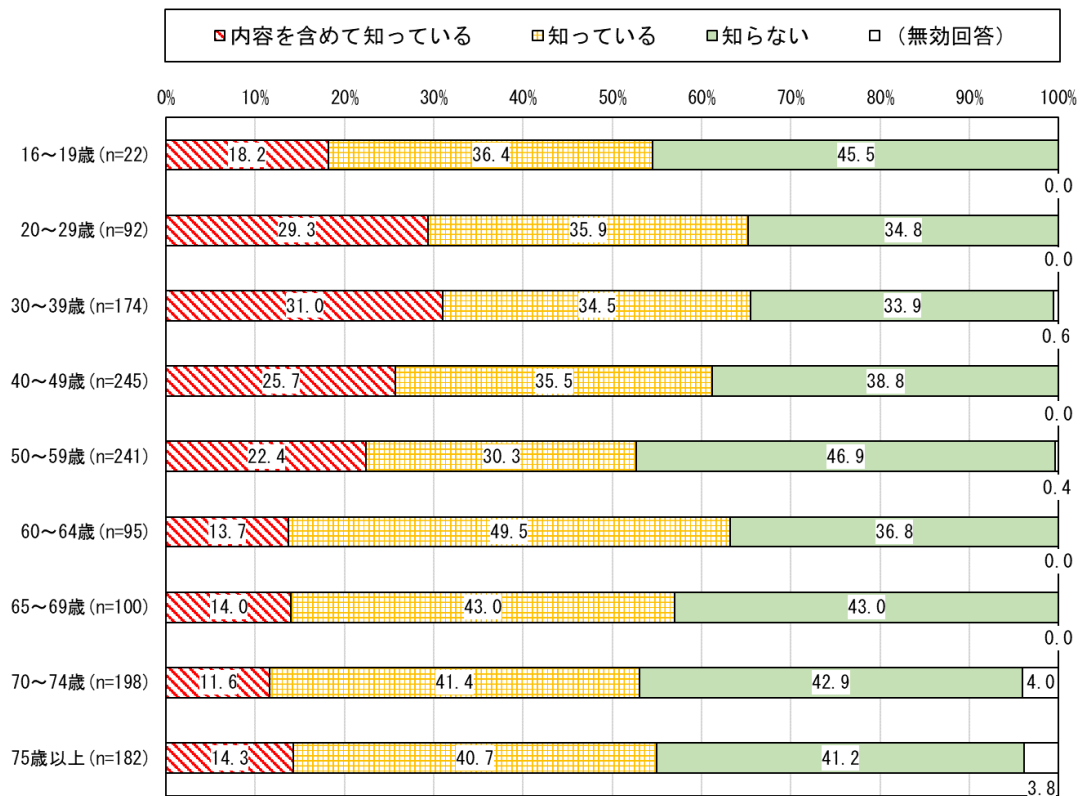
<全体 (n=1,367)>

○「内容を含めて知っている」は20.5%、「知っている」は37.6%であり、合計で58.1%となっています。



<年齢層別>

○30～39歳が、「内容を含めて知っている」、「知っている」の合計が65.5%最も高く、次いで20～29歳の65.2%、60～64歳の63.2%の順となっています。



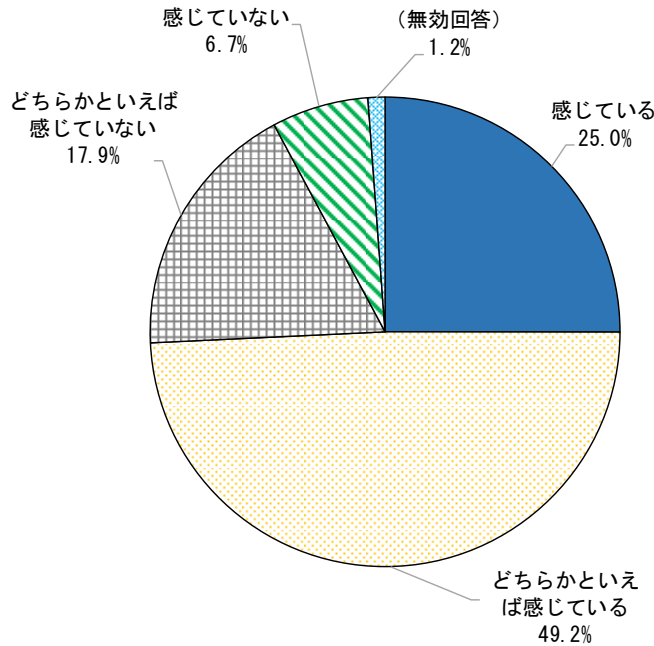
【健康づくりについて】

問 26) あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。

<全体 (n=1,367) >

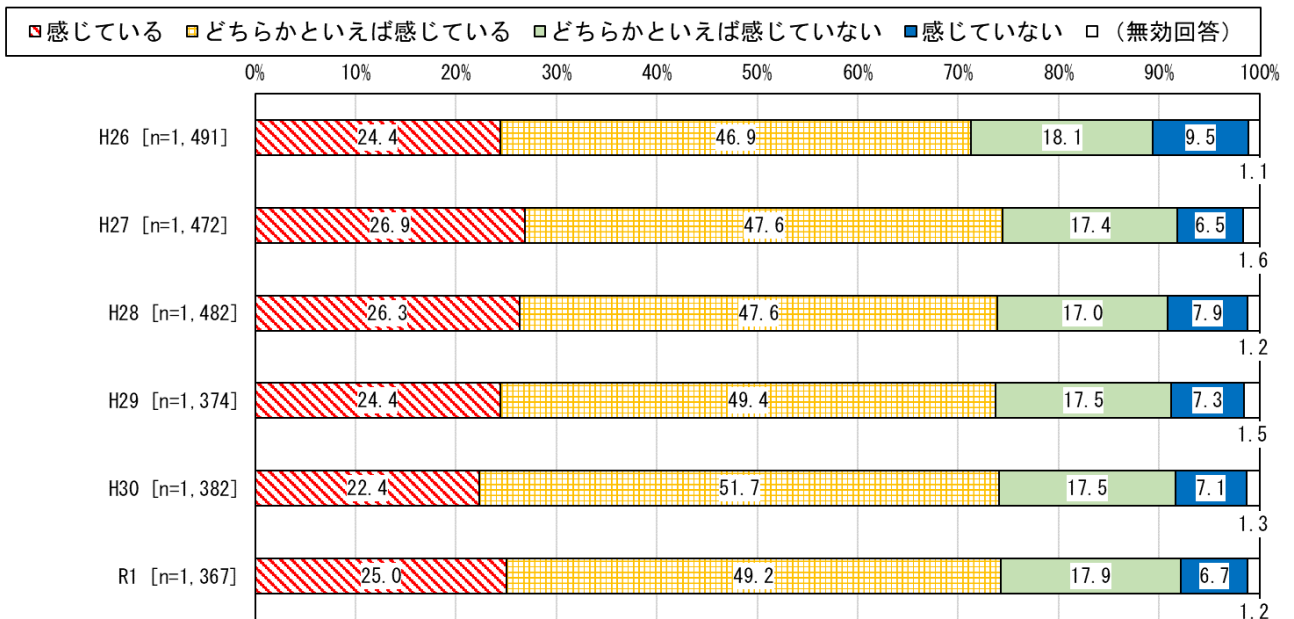
○心身ともに健康だと「感じている」は 25.0%、「どちらかといえば感じている」は 49.2%であり、合計で 74.2%を占めています。

○一方、「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計は 24.6%となっています。



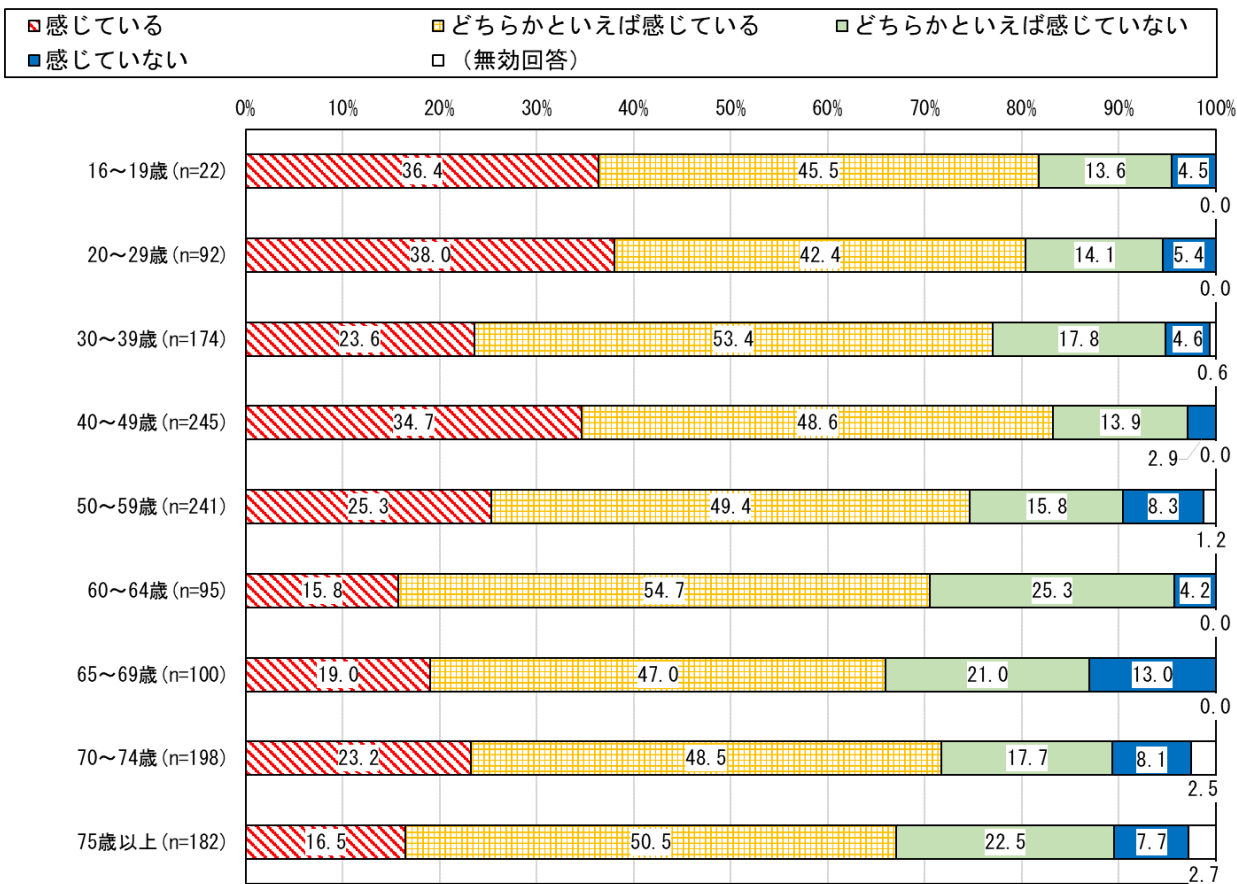
<経年比較>

○過去の推移を見ると、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、おおむね横ばい傾向で推移しています。



<年齢層別>

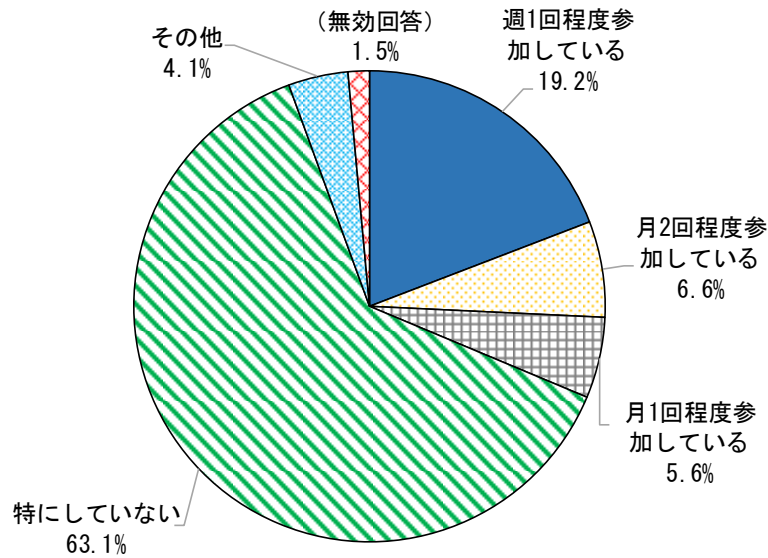
○「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、64歳以下と70～74歳では70%を上回っている一方、65～69歳と75歳以上では60%台となっています。



問 27) あなたは、健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。

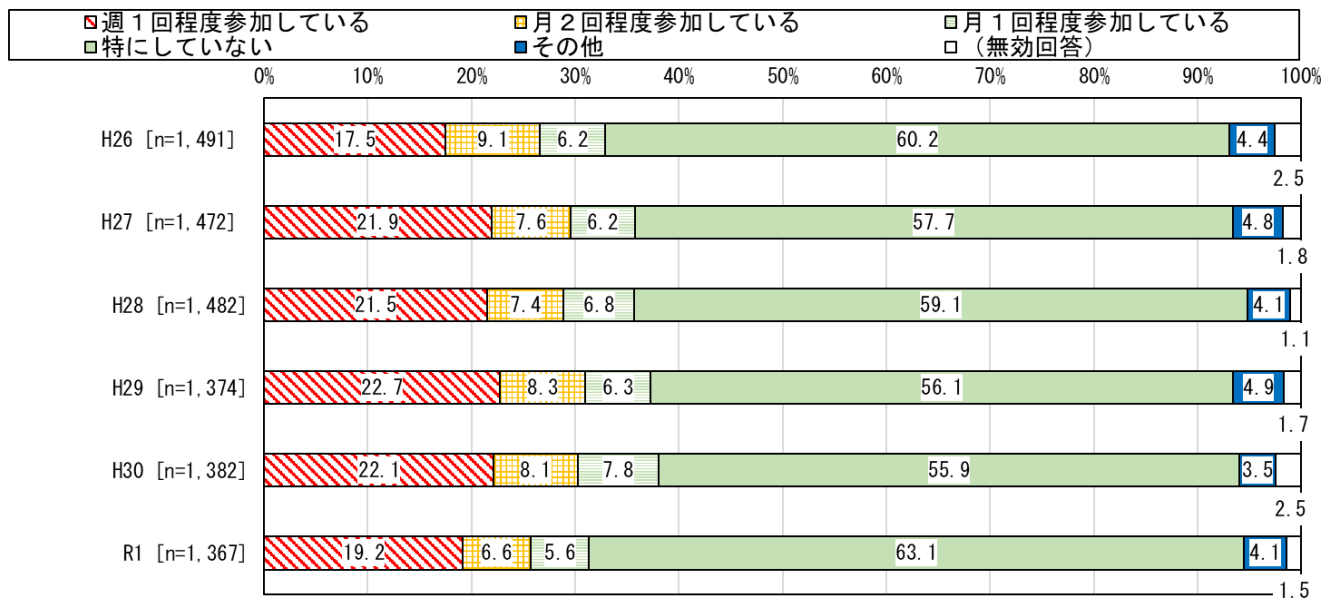
<全体 (n=1,367) >

- 「週1回程度参加している」が19.2%、「月2回程度参加している」が6.6%、「月1回程度参加している」が5.6%であり、これらの合計が31.4%を占めています。
- 「特にしていない」は63.1%となっています。



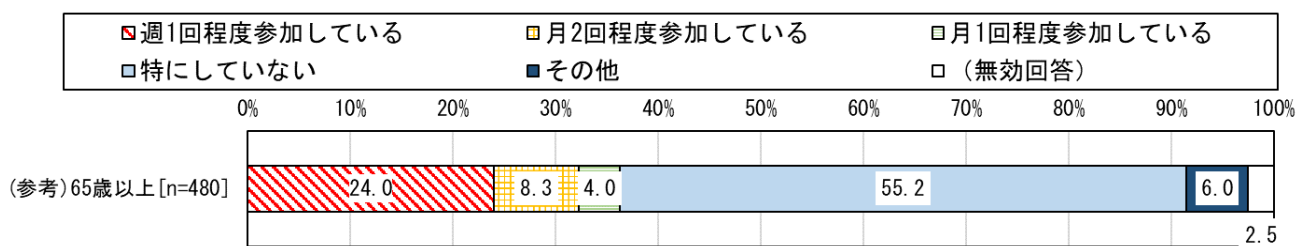
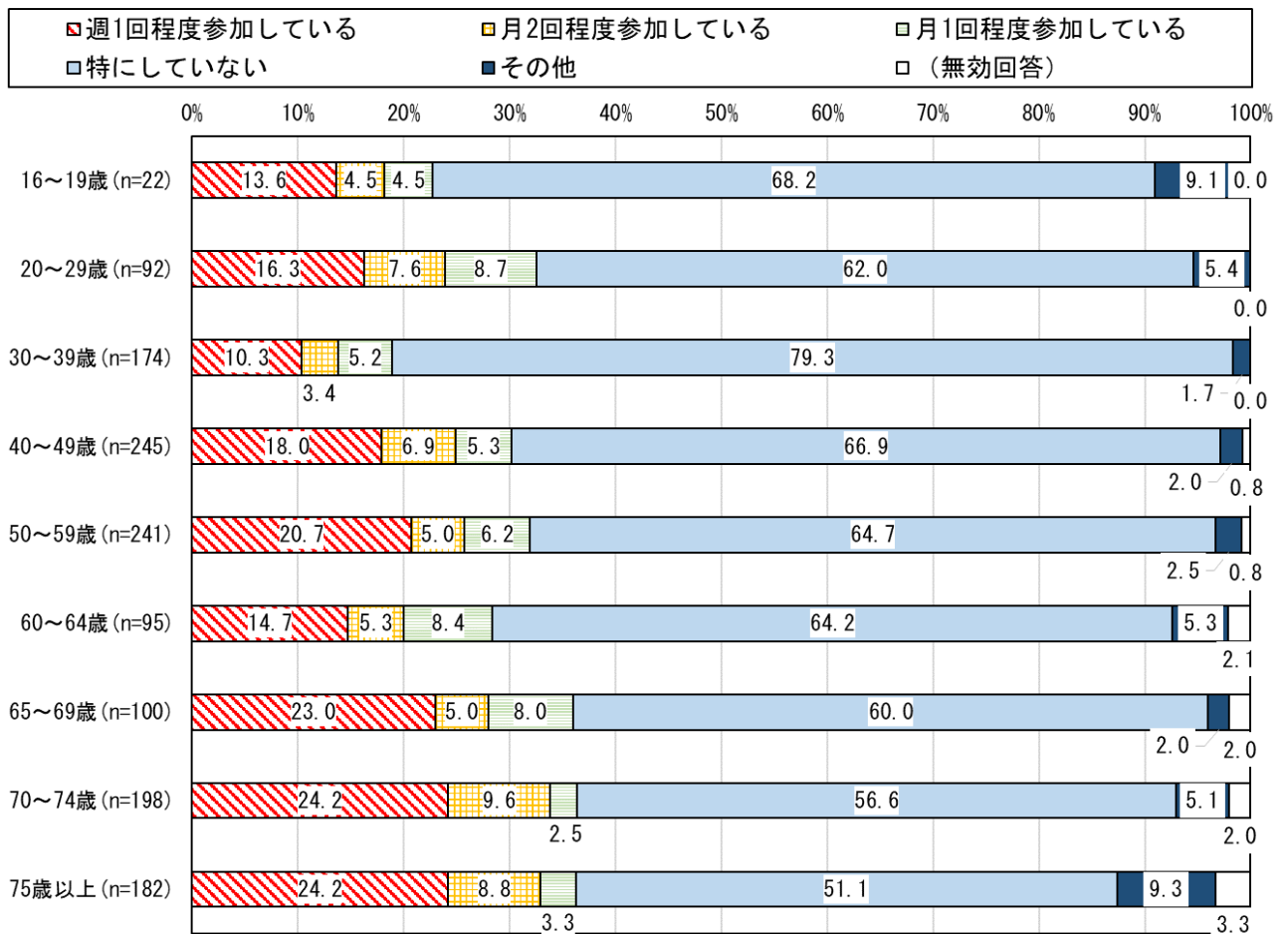
<経年比較>

- 「参加している」の合計 (31.4%) は、平成30年度 (38.0%) と比べ6.6ポイント減少しています。
- 一方、「特にしていない」(63.1%) は、平成30年度 (55.9%) と比べ7.2ポイント増加しています。



<年齢層別>

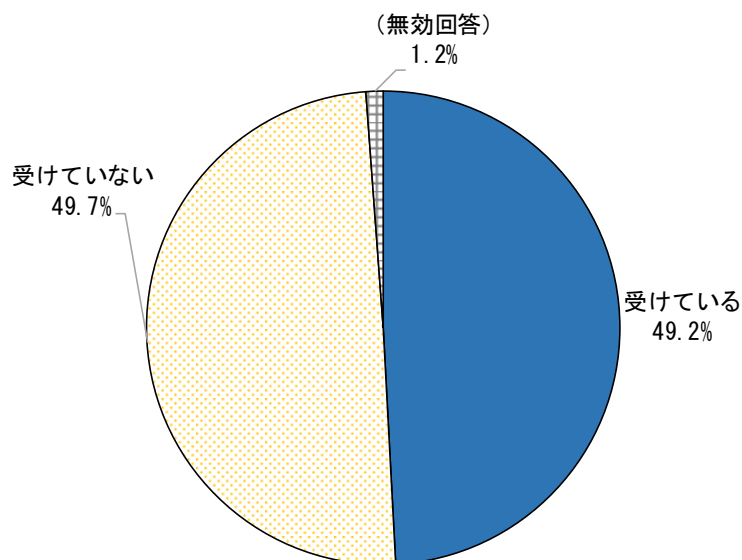
- 「週1回程度参加している」「月2回程度参加している」「月1回程度参加している」の合計は、16～19歳、30～39歳では20%程度、それ以外の年齢層では30%前後となっています。
- 「特にしていない」は、いずれの年齢層も半数を超えています。



問28) あなたは、定期的ながん検診を受けていますか。

<全体 (n=1,367) >

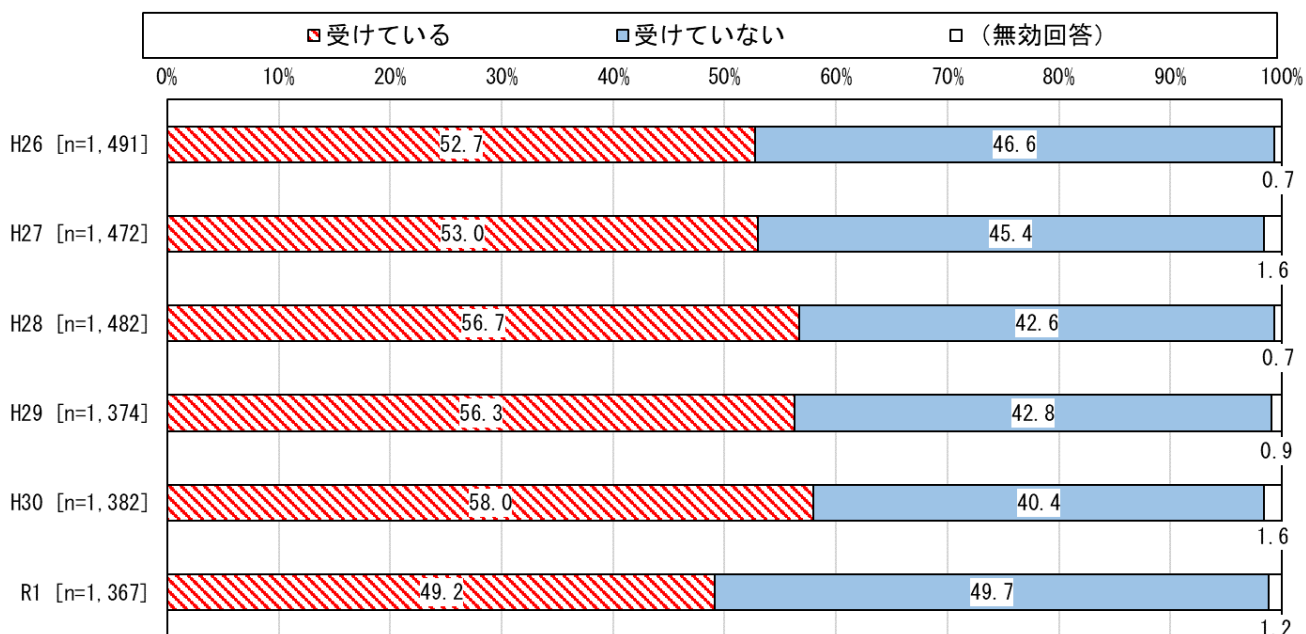
○「受けている」は49.2%、「受けていない」は49.7%であり、ほぼ同数となっています。



<経年比較>

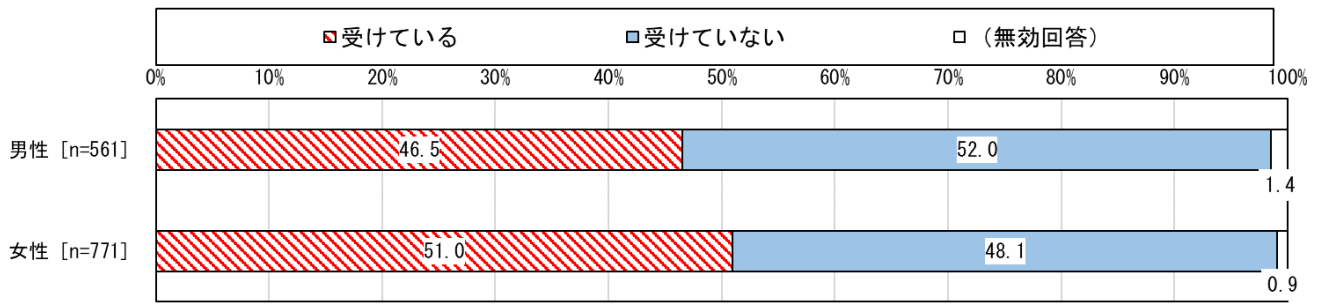
○「受けている」は、平成26年度から平成30年度まで増加傾向にありましたが、令和元年度では前年度に比べて8.8ポイント減少しています。

○一方、「受けていない」は、過去5年間でおおむね減少傾向にありましたが、令和元年度では前年度に比べて9.3ポイント増加しています。



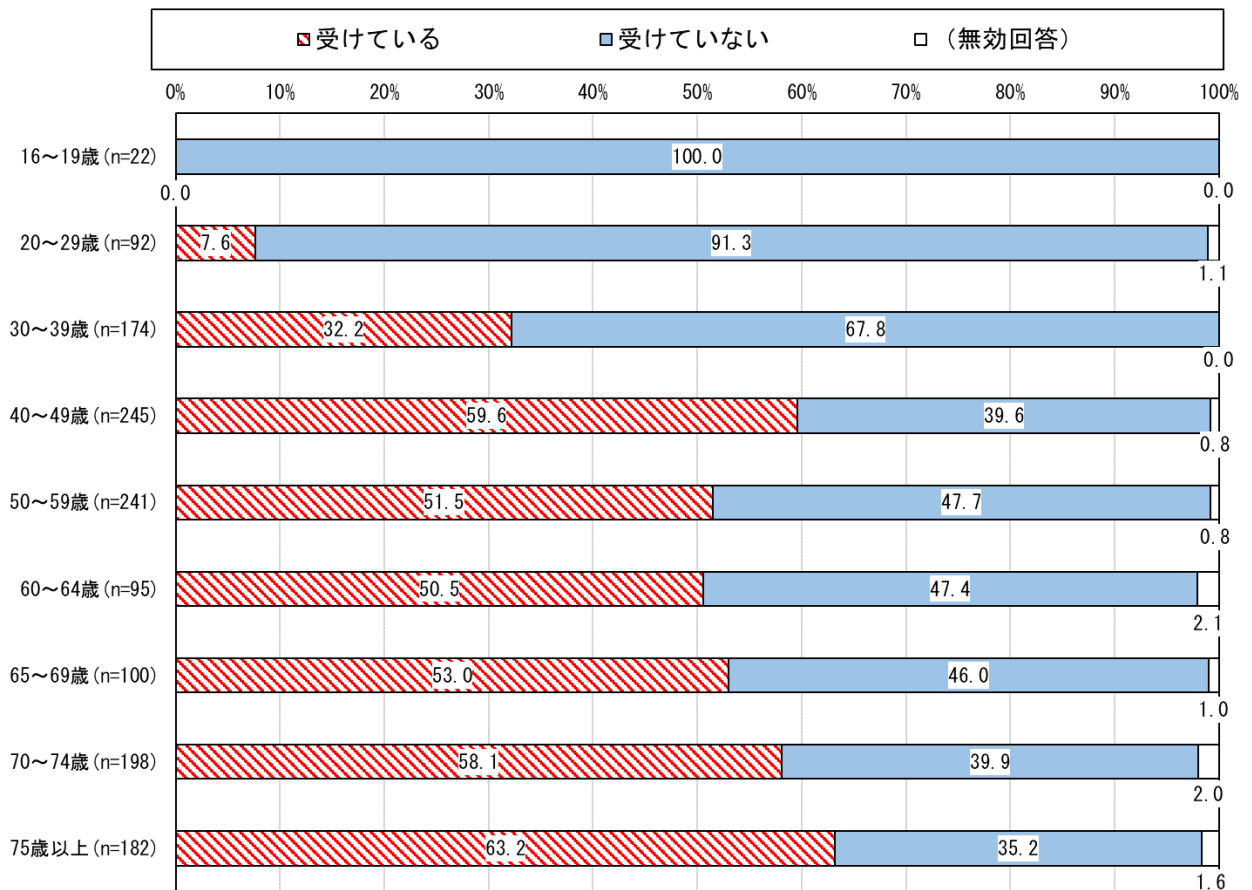
<性別>

○「受けている」は男性が46.5%で半数を下回っている一方、女性は51.0%となっています。



<年齢層別>

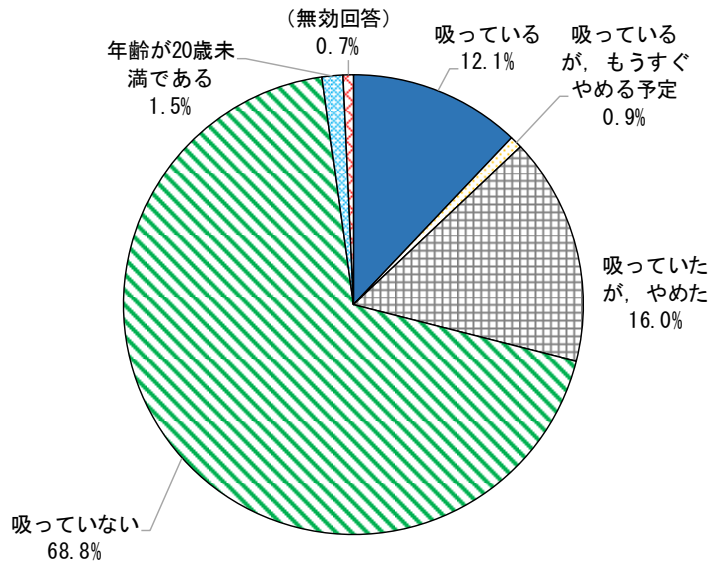
○「受けている」は、おおむね年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、40歳以上ではいずれの年齢層でも半数を超えています。



問 29) あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ、葉巻）を吸いますか。（ここでは、受動喫煙（他の方の喫煙によりたばこの煙を吸ってしまうこと）は含みません。）

<全体 (n=1,367) >

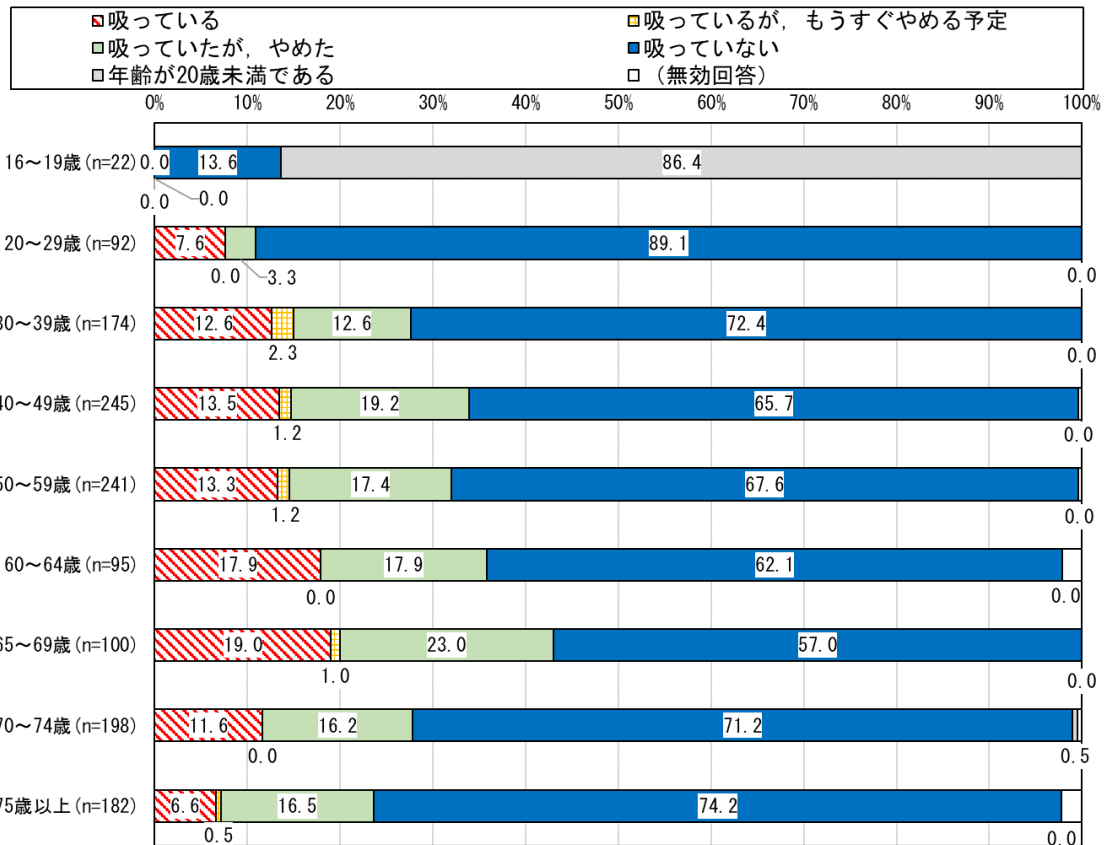
○「吸っている」と「吸っているが、もうすぐやめる予定」の合計が13.0%、「吸っていない」が68.8%となっています。



<年齢層別>

○「吸っている」と「吸っているが、もうすぐやめる予定」の合計は、65～69歳が20.0%で最も高く、次いで60～64歳の17.9%の順となっています。

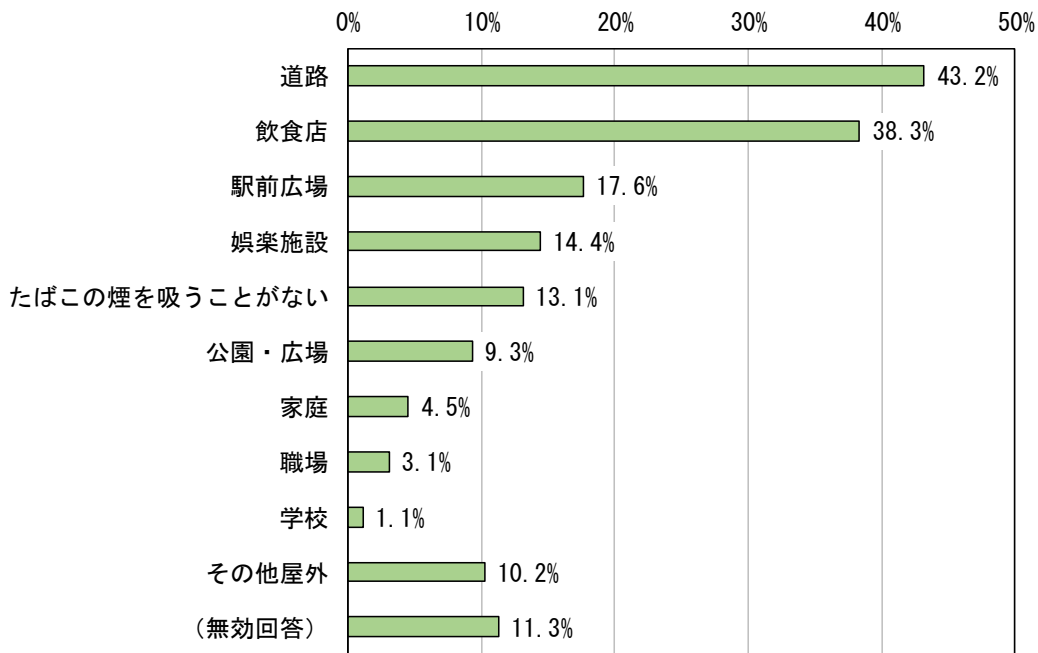
○20～29歳では「吸っていない」が89.1%で、他の年齢層に比べて最も高くなっています。



問30) あなたは、市内のどの場所でたばこの煙が気になりますか。

<全体 (n=1,367)>

○「道路」が43.2%で最も高く、次いで「飲食店」の38.3%の順になっています。



<年齢層別>

○65～74歳では、「飲食店」、その他の年齢層では「道路」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,367	22	92	174	245	241	95	100	198	182
道路	590	11	36	90	116	107	51	33	66	72
飲食店	524	6	30	66	93	100	39	44	75	63
駅前広場	241	6	20	31	44	50	11	12	26	37
娯楽施設	197	3	12	25	31	40	17	18	30	20
たばこの煙を吸うことがない	179	3	17	9	26	23	10	8	47	35
公園・広場	127	0	7	22	20	16	12	6	18	24
家庭	62	1	3	6	10	7	8	10	9	5
職場	42	0	1	6	9	9	5	4	6	2
学校	15	1	0	1	2	3	2	2	3	1
その他屋外	140	1	2	19	24	28	11	9	18	26
(無効回答)	154	1	12	21	34	20	10	17	21	15

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<利用駅別>

〇おおむねいずれの駅も「道路」、つつじヶ丘駅では「飲食店」が最も高くなっています。

選択肢	合計	飛田給駅	西調布駅	調布駅	京王多摩川駅	布田駅	国領駅	柴崎駅	つつじヶ丘駅	仙川駅
全体	1,367	32	86	474	72	36	142	77	199	164
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
道路	590	15	36	204	33	17	64	38	81	74
	43.2%	46.9%	41.9%	43.0%	45.8%	47.2%	45.1%	49.4%	40.7%	45.1%
飲食店	524	10	34	183	17	15	56	33	82	69
	38.3%	31.3%	39.5%	38.6%	23.6%	41.7%	39.4%	42.9%	41.2%	42.1%
駅前広場	241	6	10	90	12	7	24	15	28	35
	17.6%	18.8%	11.6%	19.0%	16.7%	19.4%	16.9%	19.5%	14.1%	21.3%
娯楽施設	197	7	19	60	8	4	22	18	28	21
	14.4%	21.9%	22.1%	12.7%	11.1%	11.1%	15.5%	23.4%	14.1%	12.8%
たばこの煙を吸うことがない	179	2	15	71	12	5	19	5	23	17
	13.1%	6.3%	17.4%	15.0%	16.7%	13.9%	13.4%	6.5%	11.6%	10.4%
公園・広場	127	2	1	44	8	3	16	7	18	24
	9.3%	6.3%	1.2%	9.3%	11.1%	8.3%	11.3%	9.1%	9.0%	14.6%
家庭	62	2	3	22	2	2	5	1	13	5
	4.5%	6.3%	3.5%	4.6%	2.8%	5.6%	3.5%	1.3%	6.5%	3.0%
職場	42	0	6	16	2	1	2	2	6	5
	3.1%	0.0%	7.0%	3.4%	2.8%	2.8%	1.4%	2.6%	3.0%	3.0%
学校	15	0	0	4	1	1	2	0	5	1
	1.1%	0.0%	0.0%	0.8%	1.4%	2.8%	1.4%	0.0%	2.5%	0.6%
その他屋外	140	0	7	61	7	1	14	8	17	18
	10.2%	0.0%	8.1%	12.9%	9.7%	2.8%	9.9%	10.4%	8.5%	11.0%
(無効回答)	154	5	8	44	9	4	10	5	31	20
	11.3%	15.6%	9.3%	9.3%	12.5%	11.1%	7.0%	6.5%	15.6%	12.2%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

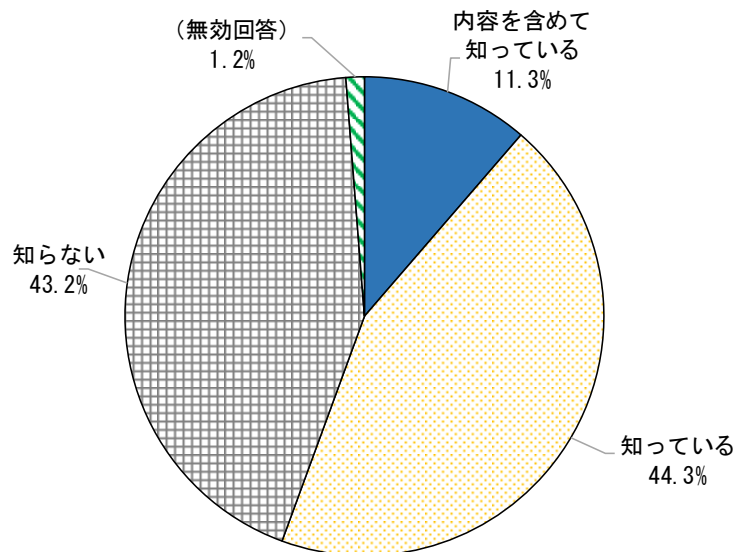
回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

問31) 調布市受動喫煙防止条例(平成31年3月公布，令和元年7月施行)を知っていますか。

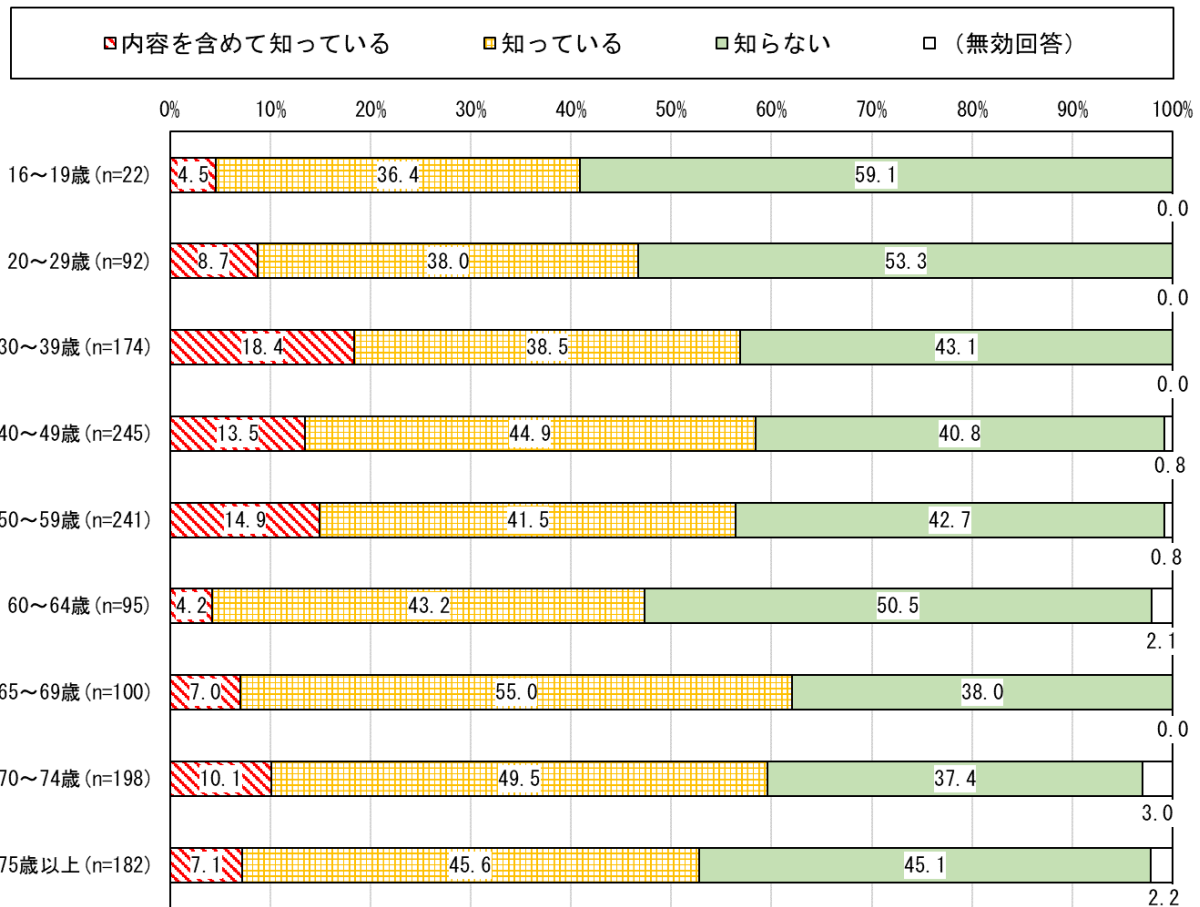
<全体(n=1,367)>

〇「内容を含めて知っている」と「知っている」の合計が55.6%となっています。



<年齢層別>

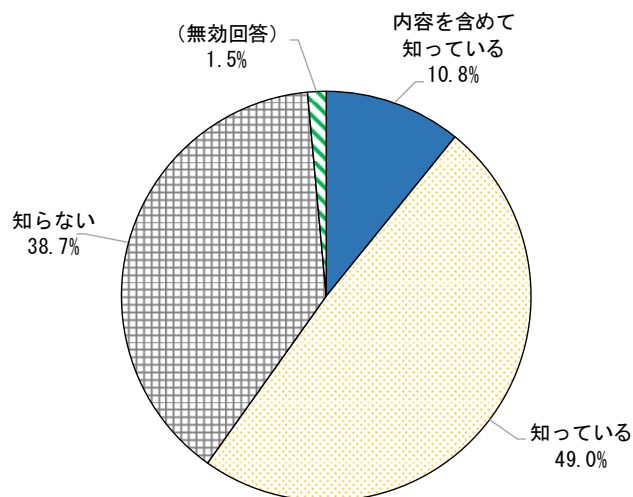
○「内容を含めて知っている」と「知っている」の合計は、65～69歳が62.0%で最も高く、次いで70～74歳の59.6%の順となっています。



問 32) 調布市内の各駅の駅前広場やその周辺の路上が、「路上喫煙禁止区域」に指定され、終日喫煙禁止であることを知っていますか。

<全体 (n=1,367) >

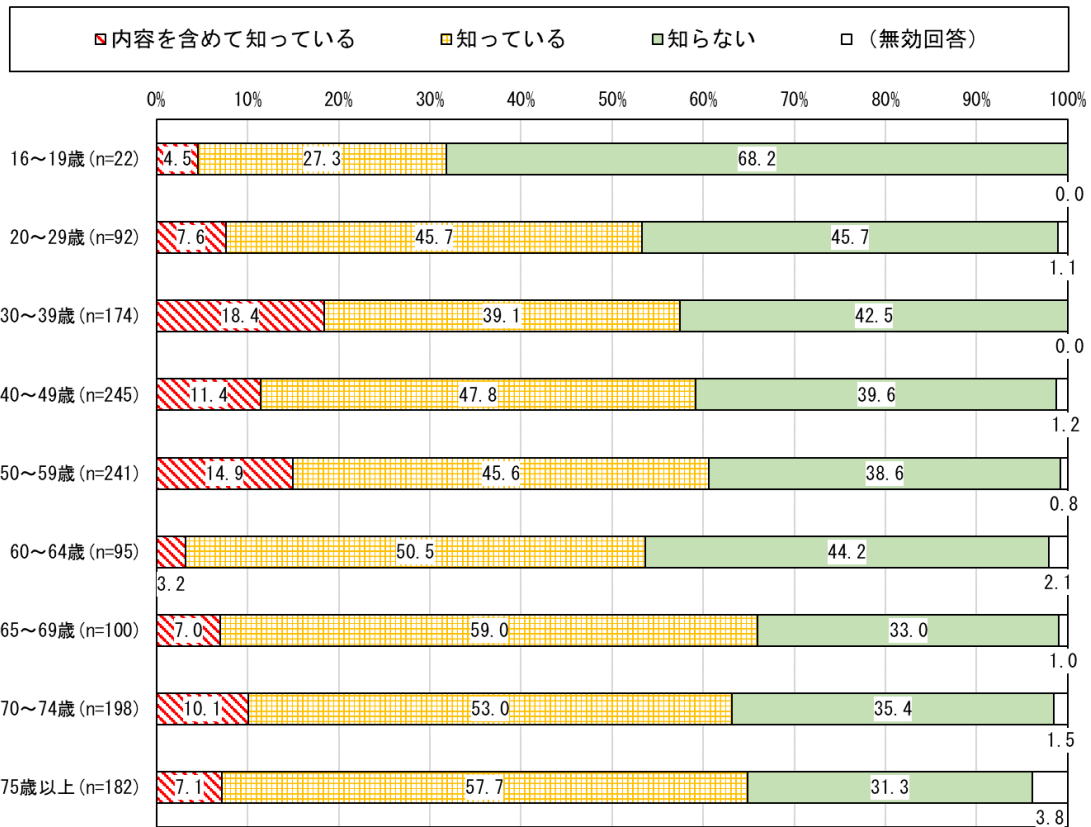
○「内容を含めて知っている」と「知っている」の合計が59.8%、また、「知らない」が38.7%となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

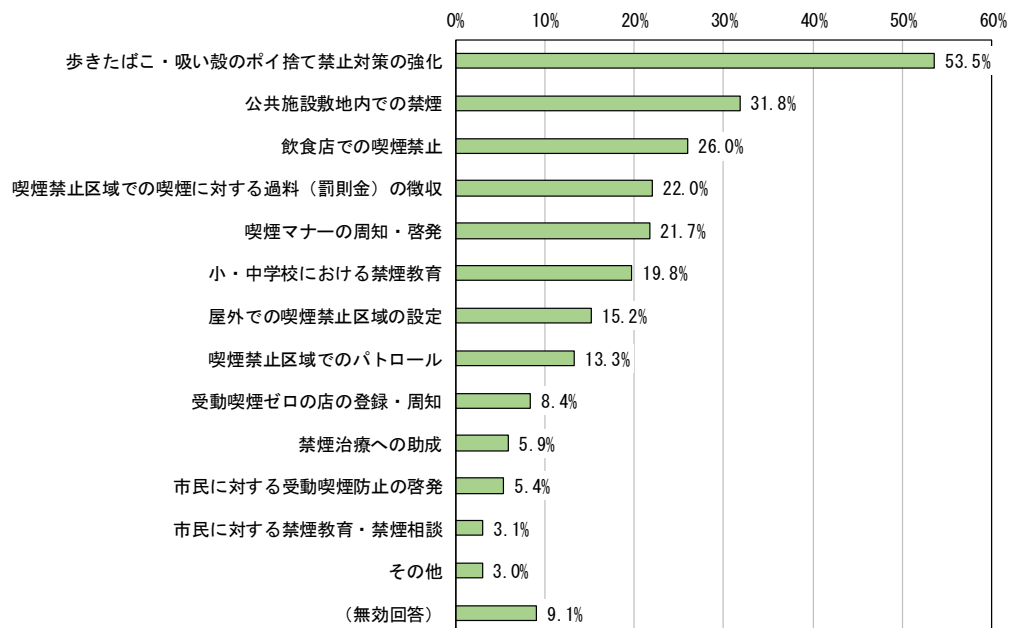
○「内容を含めて知っている」と「知っている」の合計は、16～19歳（31.8%）を除き、いずれの年齢層も50%を超えています。



問 33) あなたは、受動喫煙防止対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。

<全体 (n=1,367) >

○「歩きたばこ・吸い殻のポイ捨て禁止対策の強化」が53.5%で最も高く、次いで「公共施設敷地内での禁煙」の31.8%、「飲食店での喫煙禁止」の26.0%の順となっています。





<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「歩きたばこ・吸い殻のポイ捨て禁止対策の強化」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,367	22	92	174	245	241	95	100	198	182
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
歩きたばこ・吸い殻のポイ捨て禁止対策の強化	732	10	45	96	127	124	43	51	121	109
	53.5%	45.5%	48.9%	55.2%	51.8%	51.5%	45.3%	51.0%	61.1%	59.9%
公共施設敷地内での禁煙	435	7	22	35	64	70	35	36	81	79
	31.8%	31.8%	23.9%	20.1%	26.1%	29.0%	36.8%	36.0%	40.9%	43.4%
飲食店での喫煙禁止	355	4	17	25	55	74	26	27	48	73
	26.0%	18.2%	18.5%	14.4%	22.4%	30.7%	27.4%	27.0%	24.2%	40.1%
喫煙禁止区域での喫煙に対する過料(罰則金)の徴収	301	6	16	49	64	56	21	24	26	36
	22.0%	27.3%	17.4%	28.2%	26.1%	23.2%	22.1%	24.0%	13.1%	19.8%
喫煙マナーの周知・啓発	297	3	20	30	59	60	24	20	42	36
	21.7%	13.6%	21.7%	17.2%	24.1%	24.9%	25.3%	20.0%	21.2%	19.8%
小・中学校における禁煙教育	270	5	15	31	56	40	14	16	43	48
	19.8%	22.7%	16.3%	17.8%	22.9%	16.6%	14.7%	16.0%	21.7%	26.4%
屋外での喫煙禁止区域の設定	208	2	19	28	43	33	13	12	27	27
	15.2%	9.1%	20.7%	16.1%	17.6%	13.7%	13.7%	12.0%	13.6%	14.8%
喫煙禁止区域でのパトロール	182	3	12	35	47	33	11	12	13	13
	13.3%	13.6%	13.0%	20.1%	19.2%	13.7%	11.6%	12.0%	6.6%	7.1%
受動喫煙ゼロの店の登録・周知	115	1	10	13	19	23	11	7	20	11
	8.4%	4.5%	10.9%	7.5%	7.8%	9.5%	11.6%	7.0%	10.1%	6.0%
禁煙治療への助成	81	2	7	15	12	18	6	5	9	7
	5.9%	9.1%	7.6%	8.6%	4.9%	7.5%	6.3%	5.0%	4.5%	3.8%
市民に対する受動喫煙防止の啓発	74	1	5	8	15	10	7	7	10	10
	5.4%	4.5%	5.4%	4.6%	6.1%	4.1%	7.4%	7.0%	5.1%	5.5%
市民に対する禁煙教育・禁煙相談	42	0	5	4	4	10	7	1	3	6
	3.1%	0.0%	5.4%	2.3%	1.6%	4.1%	7.4%	1.0%	1.5%	3.3%
その他	41	0	6	9	8	6	2	2	5	3
	3.0%	0.0%	6.5%	5.2%	3.3%	2.5%	2.1%	2.0%	2.5%	1.6%
(無効回答)	124	4	10	18	19	22	10	8	18	12
	9.1%	18.2%	10.9%	10.3%	7.8%	9.1%	10.5%	8.0%	9.1%	6.6%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い： 


回答割合が2番目に高い： 


<利用駅別>

○いずれの駅も「歩きたばこ・吸い殻のポイ捨て禁止対策の強化」が最も高くなっています。

選択肢	合計	飛田給駅	西調布駅	調布駅	京王多摩川駅	布田駅	国領駅	柴崎駅	つつじヶ丘駅	仙川駅
全体	1,367	32	86	474	72	36	142	77	199	164
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
歩きたばこ・吸い殻のポイ捨て禁止対策の強化	732	22	46	247	38	29	81	42	102	86
	53.5%	68.8%	53.5%	52.1%	52.8%	80.6%	57.0%	54.5%	51.3%	52.4%
公共施設敷地内での禁煙	435	12	33	136	22	11	43	30	58	61
	31.8%	37.5%	38.4%	28.7%	30.6%	30.6%	30.3%	39.0%	29.1%	37.2%
飲食店での喫煙禁止	355	7	23	122	17	10	43	18	52	42
	26.0%	21.9%	26.7%	25.7%	23.6%	27.8%	30.3%	23.4%	26.1%	25.6%
喫煙禁止区域での喫煙に対する過料(罰則金)の徴収	301	10	20	99	18	10	33	20	40	37
	22.0%	31.3%	23.3%	20.9%	25.0%	27.8%	23.2%	26.0%	20.1%	22.6%
喫煙マナーの周知・啓発	297	7	21	99	15	10	35	14	51	31
	21.7%	21.9%	24.4%	20.9%	20.8%	27.8%	24.6%	18.2%	25.6%	18.9%
小・中学校における禁煙教育	270	4	12	92	8	5	24	22	48	30
	19.8%	12.5%	14.0%	19.4%	11.1%	13.9%	16.9%	28.6%	24.1%	18.3%
屋外での喫煙禁止区域の設定	208	5	17	62	14	5	17	16	31	27
	15.2%	15.6%	19.8%	13.1%	19.4%	13.9%	12.0%	20.8%	15.6%	16.5%
喫煙禁止区域でのパトロール	182	3	18	62	12	4	21	6	26	19
	13.3%	9.4%	20.9%	13.1%	16.7%	11.1%	14.8%	7.8%	13.1%	11.6%
受動喫煙ゼロの店の登録・周知	115	0	5	38	8	2	7	12	20	15
	8.4%	0.0%	5.8%	8.0%	11.1%	5.6%	4.9%	15.6%	10.1%	9.1%
禁煙治療への助成	81	1	1	34	5	4	9	2	10	13
	5.9%	3.1%	1.2%	7.2%	6.9%	11.1%	6.3%	2.6%	5.0%	7.9%
市民に対する受動喫煙防止の啓発	74	0	7	20	7	2	8	5	15	8
	5.4%	0.0%	8.1%	4.2%	9.7%	5.6%	5.6%	6.5%	7.5%	4.9%
市民に対する禁煙教育・禁煙相談	42	0	2	19	1	1	5	1	6	4
	3.1%	0.0%	2.3%	4.0%	1.4%	2.8%	3.5%	1.3%	3.0%	2.4%
その他	41	1	4	14	4	0	3	2	5	4
	3.0%	3.1%	4.7%	3.0%	5.6%	0.0%	2.1%	2.6%	2.5%	2.4%
(無効回答)	124	1	4	58	4	1	11	2	17	15
	9.1%	3.1%	4.7%	12.2%	5.6%	2.8%	7.7%	2.6%	8.5%	9.1%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い： 

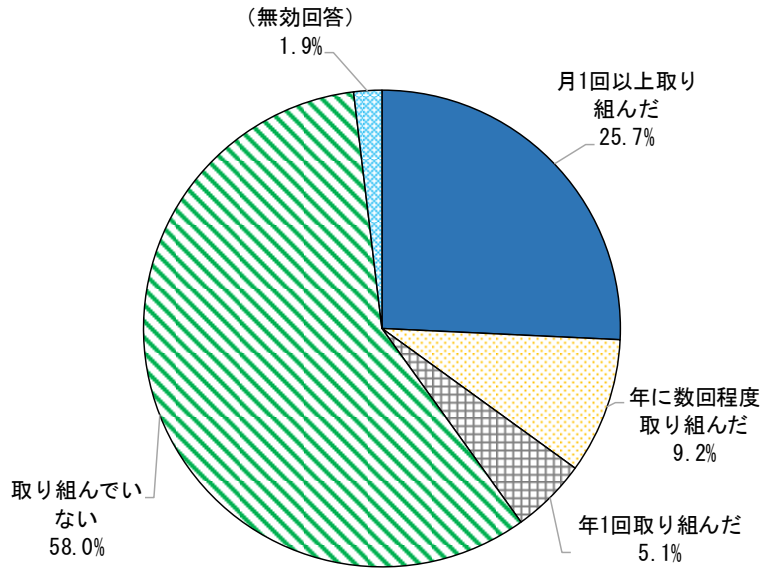
回答割合が2番目に高い： 

【生涯学習について】

問 34) あなたは、おおむね1年の間に、生涯学習に取り組んだことがありますか。

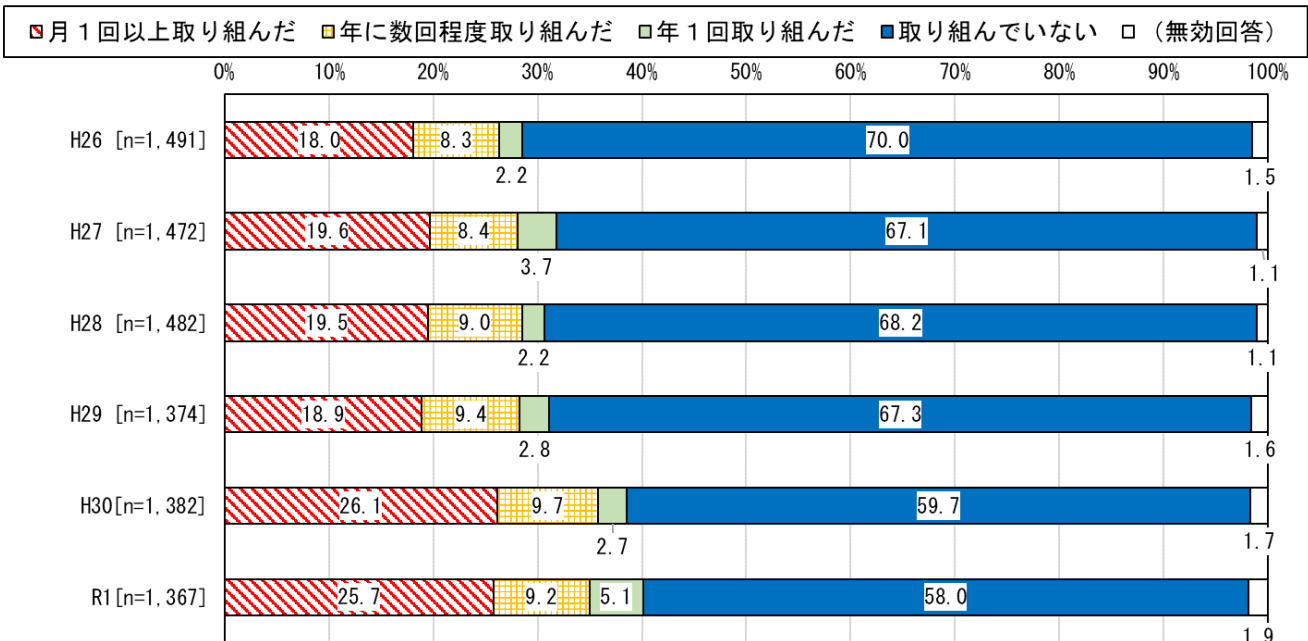
<全体 (n=1,367) >

- 「月1回以上取り組んだ」が 25.7%、「年に数回程度取り組んだ」が 9.2%、「年1回取り組んだ」が 5.1%であり、生涯学習に年1回以上取り組んだ人は合計で 40.0%となっています。
- 一方、「取り組んでいない」は 58.0%となっています。



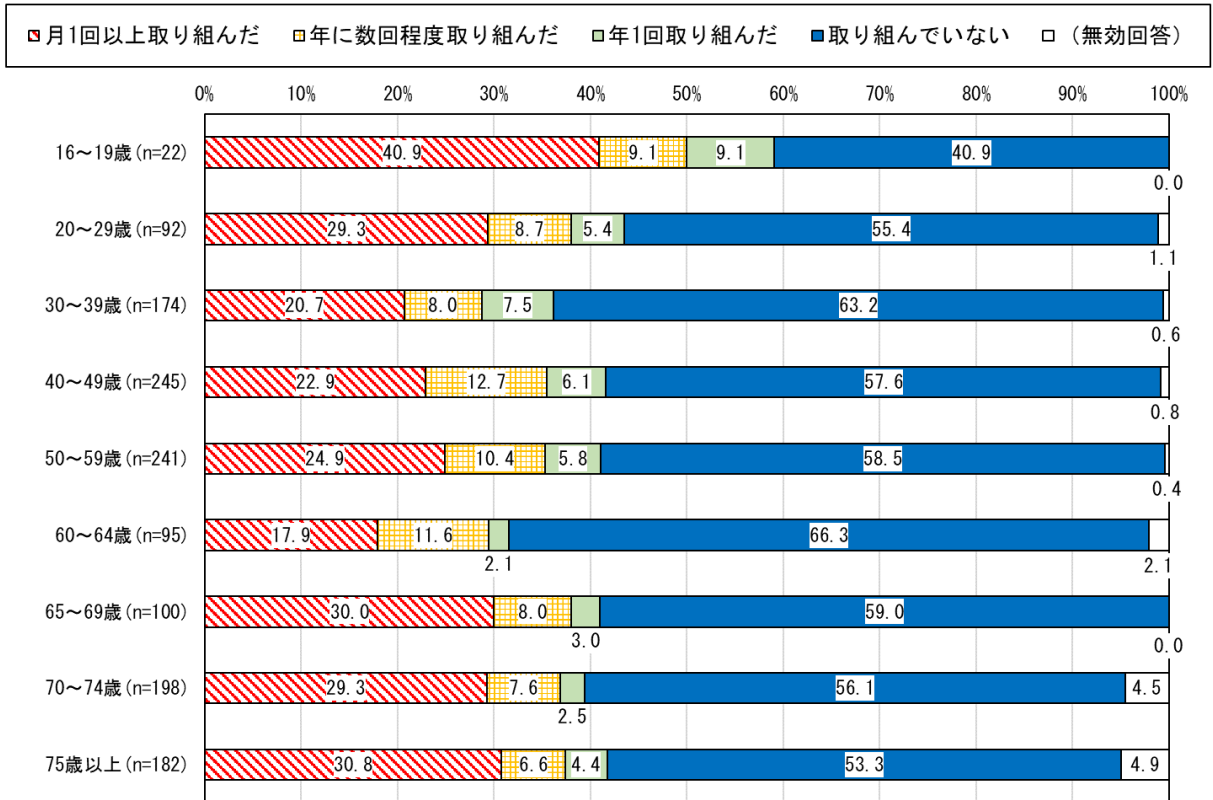
<経年比較>

- 「取り組んだ」の合計は、平成26年度に最も低い値(28.5%)となりましたが、それ以降おおむね増加傾向にあり、令和元年度は前年度(38.5%)に比べ1.5ポイント増加しています。
- 一方、「取り組んでいない」(58.0%)は、平成26年度以降おおむね減少傾向にあり、令和元年度は前年度(59.7%)に比べ1.7ポイント減少しています。



<年齢層別>

○16～19歳を除き、いずれの年齢層でも生涯学習に「年1回以上取り組んだ」は50%を下回っています。

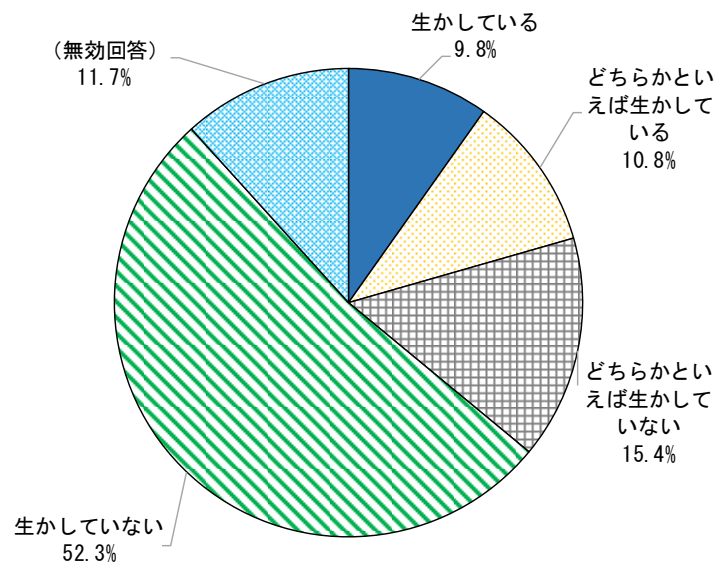


問 35) あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくりなど自分以外のために生かしていますか。

<全体 (n=1,367) >

○「生かしている」は9.8%、「どちらかといえば生かしている」は10.8%であり、合計で20.6%となっています。

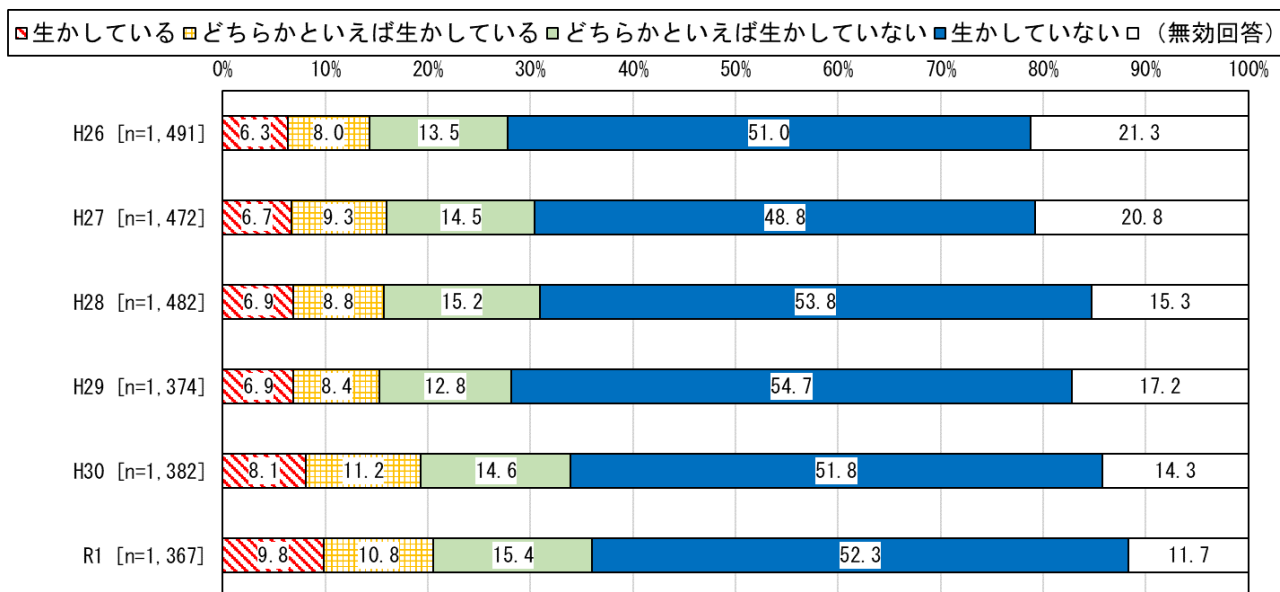
○一方、「生かしていない」は52.3%、「どちらかといえば生かしていない」は15.4%であり、合計で67.7%を占めています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

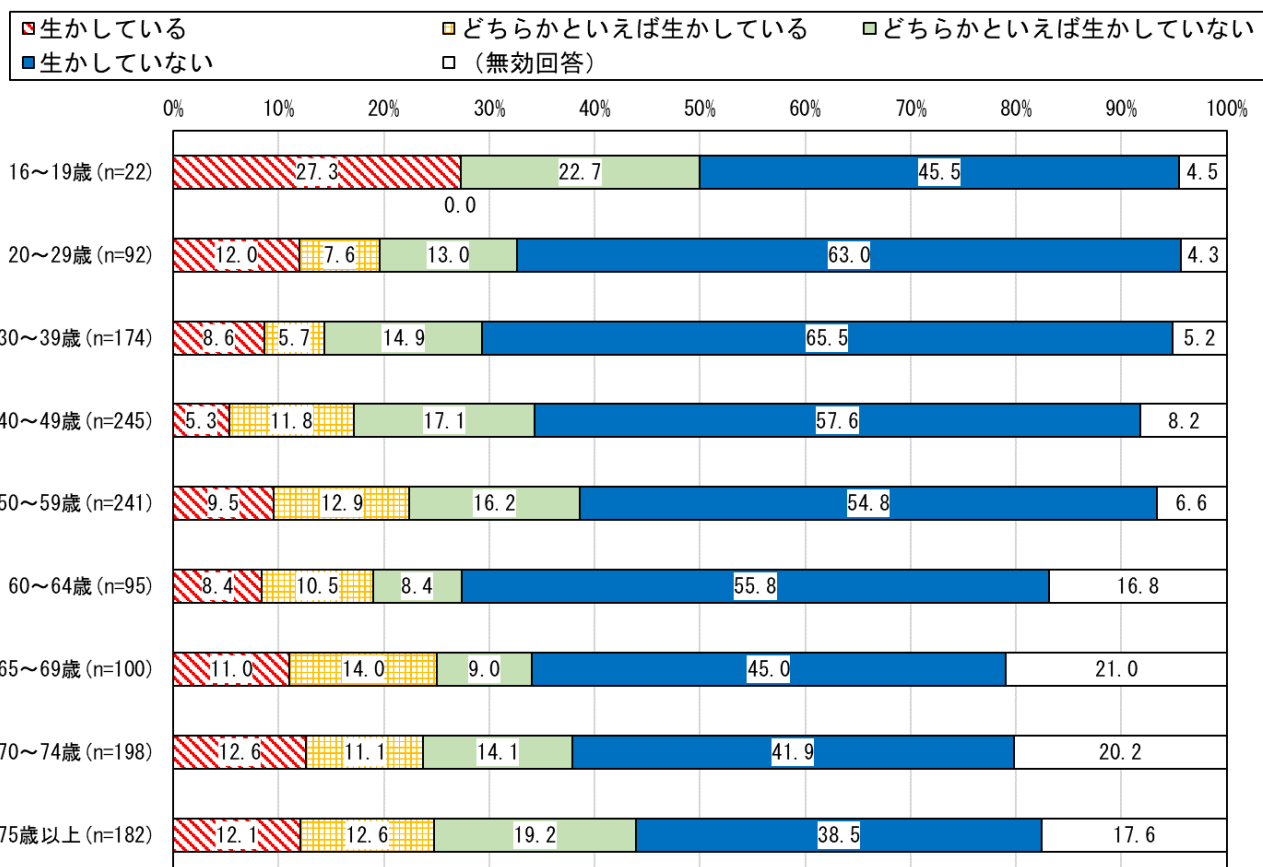
<経年比較>

○「生かしている」と「どちらかといえば生かしている」の合計は、令和元年度は前年度（19.3%）に比べて1.3ポイント増加しています。



<年齢層別>

○「生かしている」と「どちらかといえば生かしている」の合計は、30～39歳（14.3%）及び40～49歳（17.1%）で他の年齢層に比べて少なくなっています。

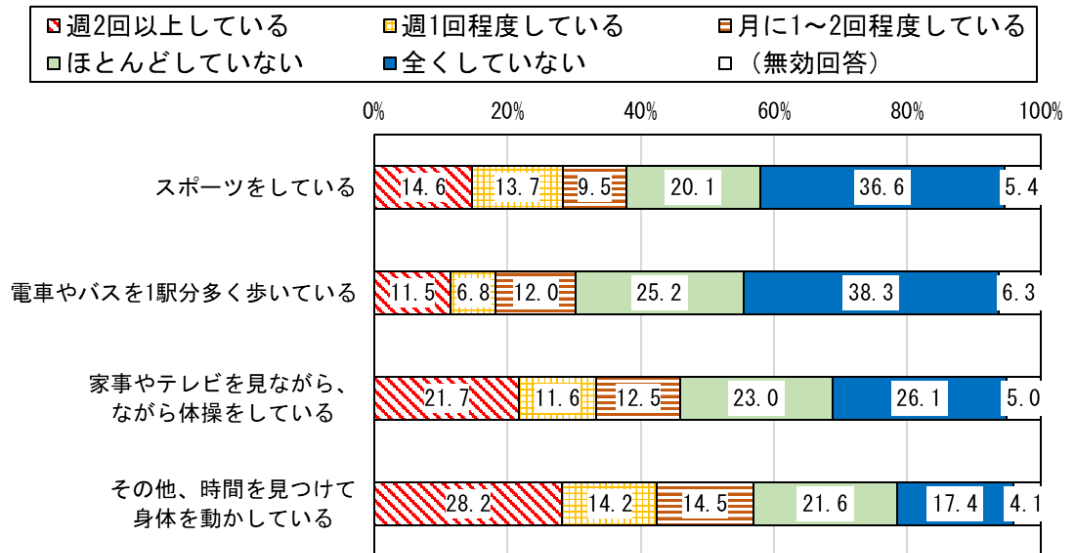


【スポーツ振興について】

問 36) あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。

<全体 (n=1,367) >

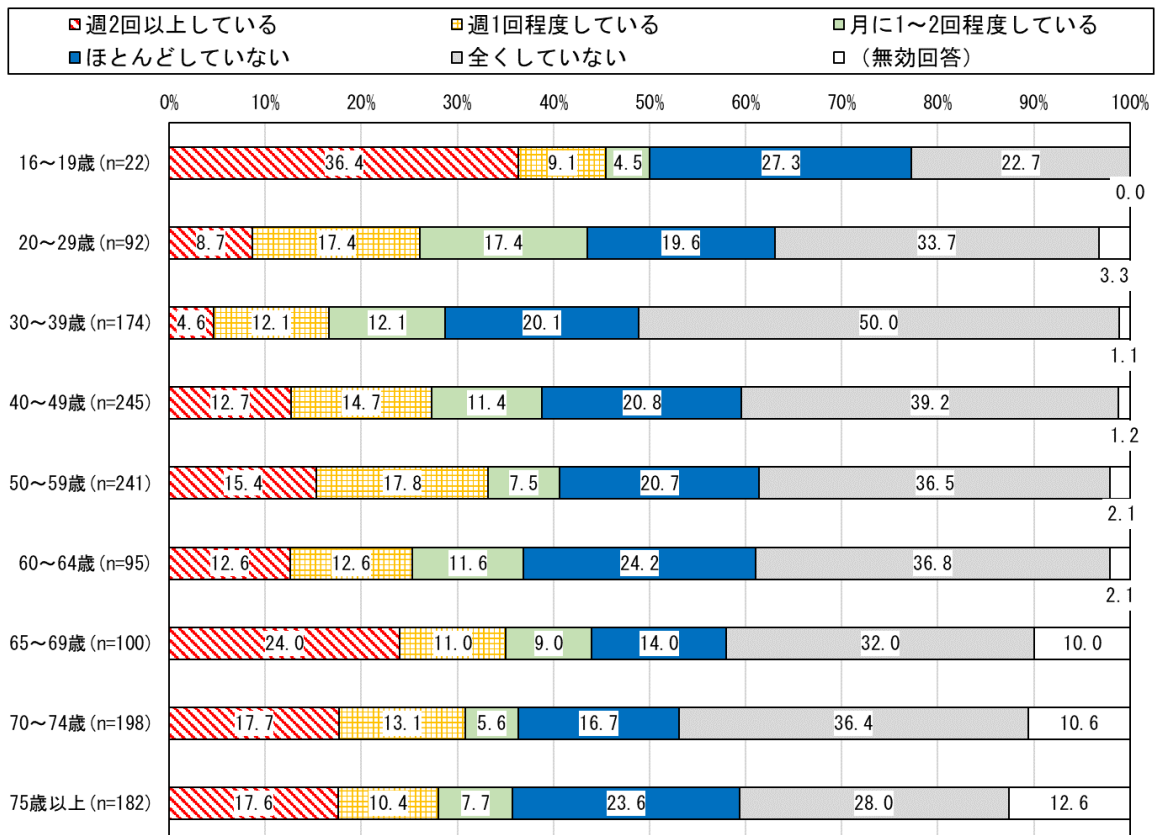
○「週2回以上している」と「週1回程度している」の合計は、「その他、時間を見つけて身体を動かしている」が42.4%と最も高く、次いで「家事やテレビを見ながら、ながら体操をしている」の33.3%の順となっています。



<年齢層別>

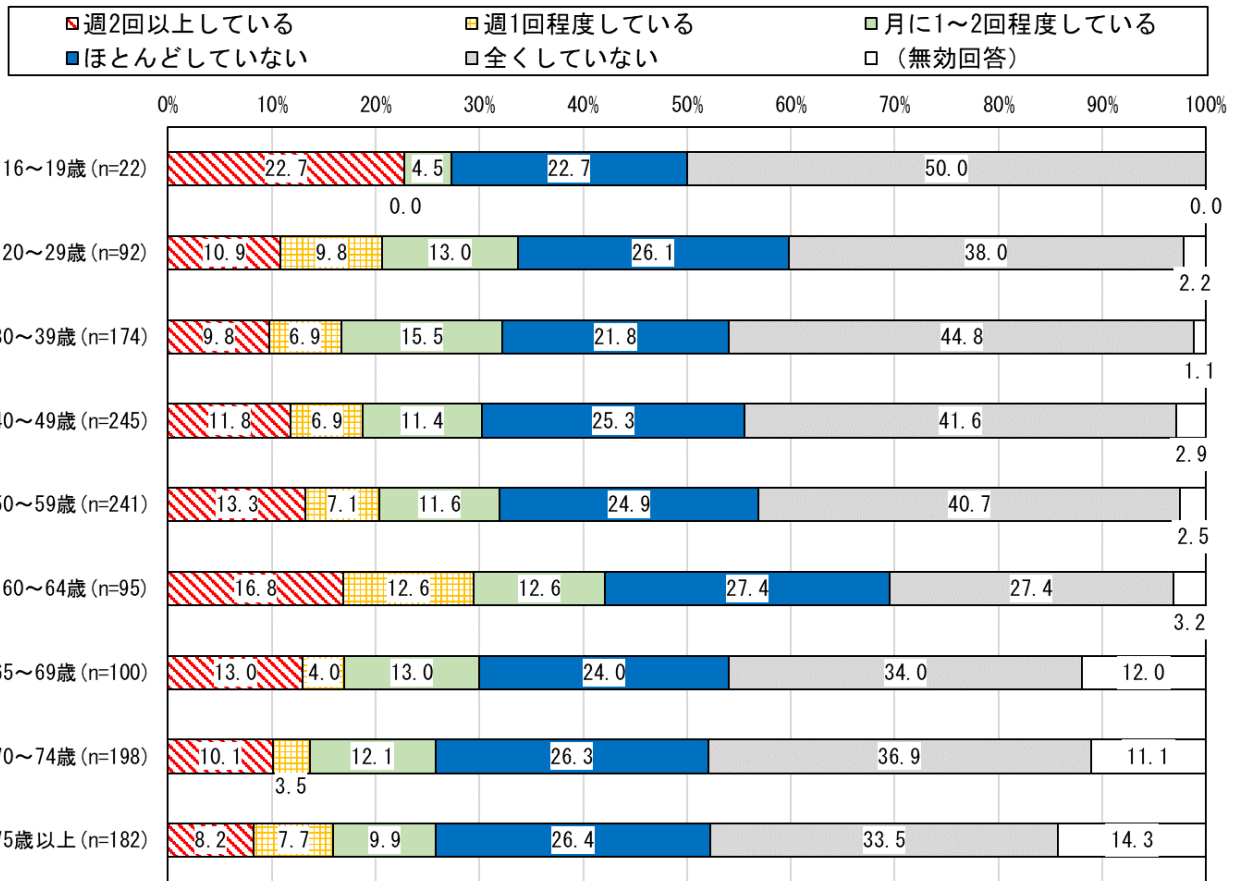
○「時間を見つけて身体を動かしている」では、おおむね年齢を重ねるごとに「週2回以上している」と「週1回程度している」の合計が高くなっています。

ア スポーツをしている

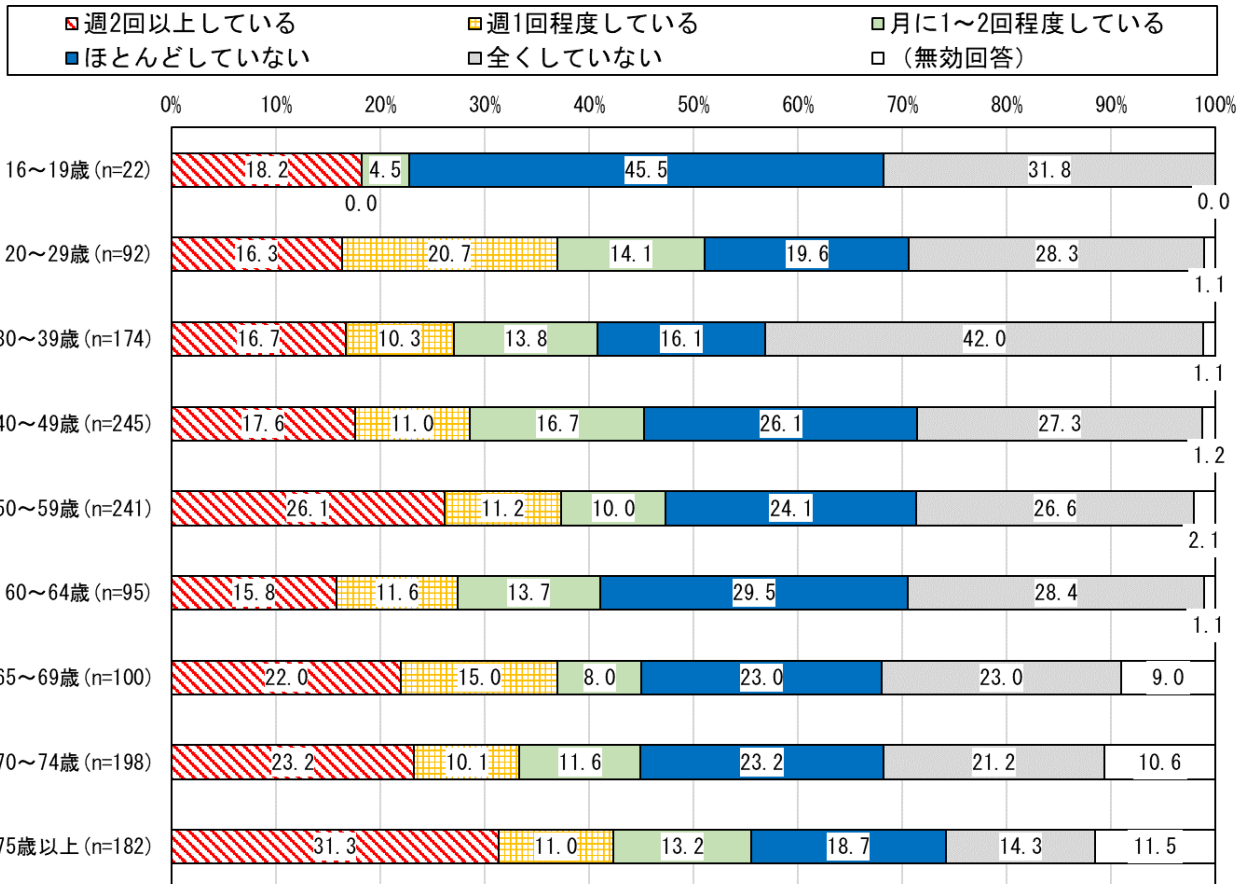


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

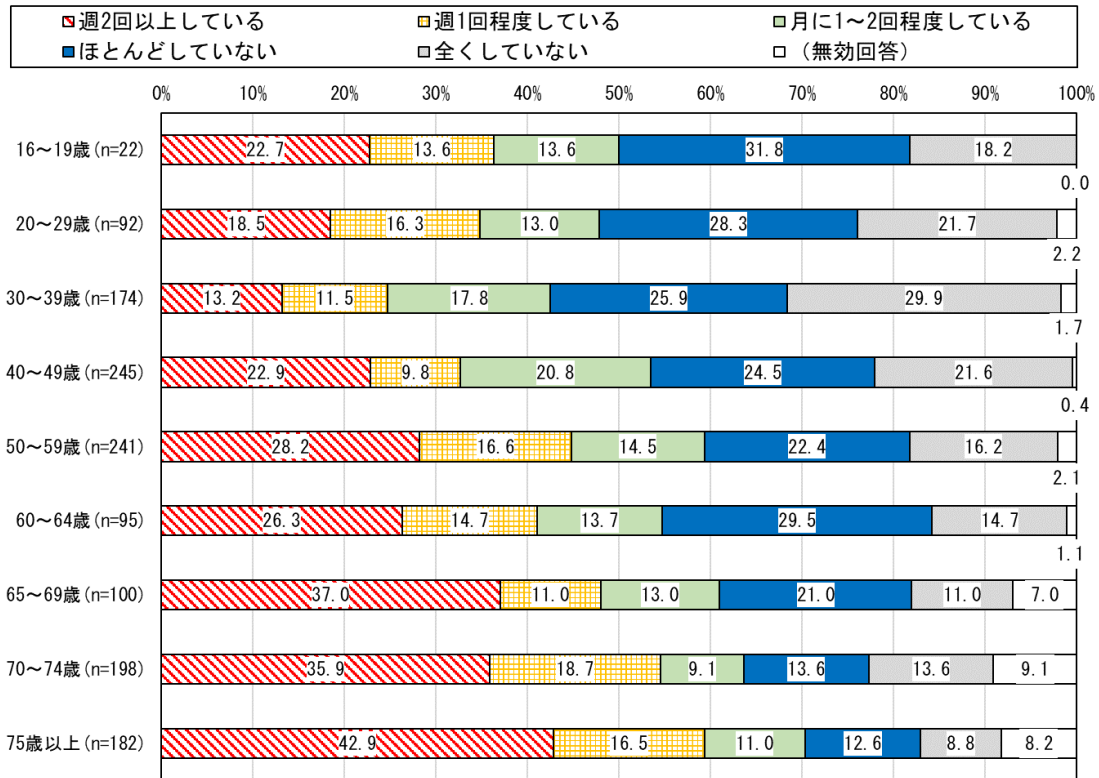
イ 電車やバスを1駅分多く歩いている



ウ 家事やテレビを見ながら、ながら体操をしている



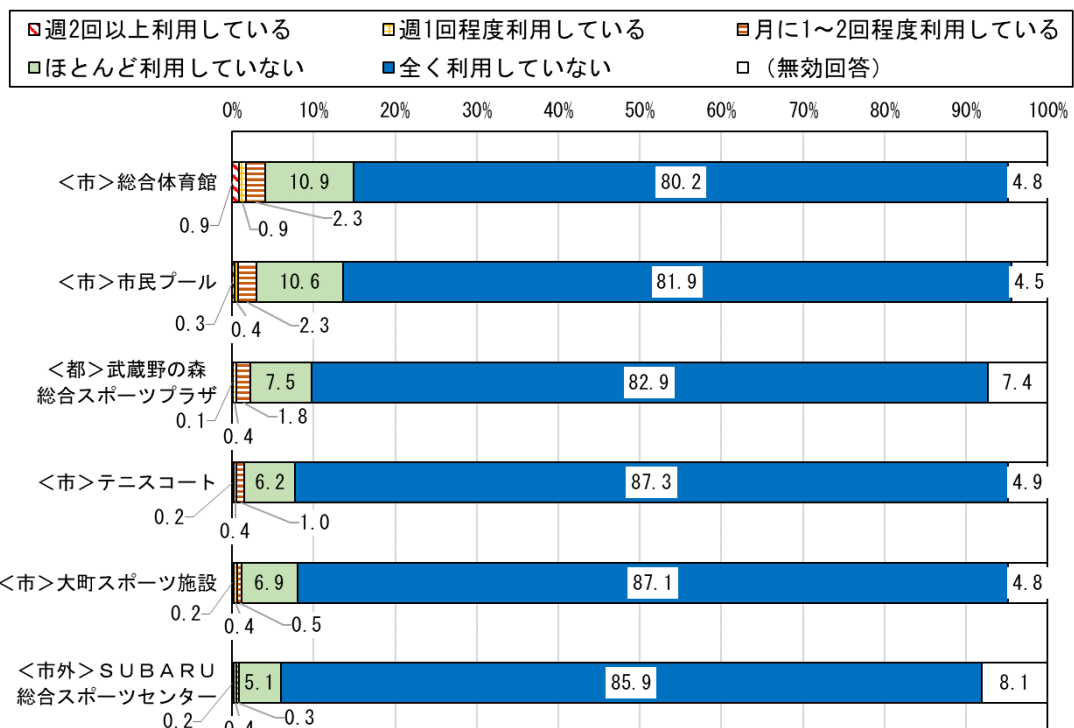
エ 時間を見つけて身体を動かしている



問 37) あなたは、おおむね1年の間に、次の公共スポーツ施設をどのくらい利用しましたか。(公共スポーツ施設：総合体育館，市民プール，大町スポーツ施設，テニスコートなど)

<全体 (n=1,367) >

- 「<市>総合体育館」が、「週2回以上利用している」、「週1回程度利用している」の合計が4.1%と最も高く、次いで「<市>市民プール」の3.0%の順となっています。
- 「全く利用していない」は、いずれの年齢層も80%台となっています。

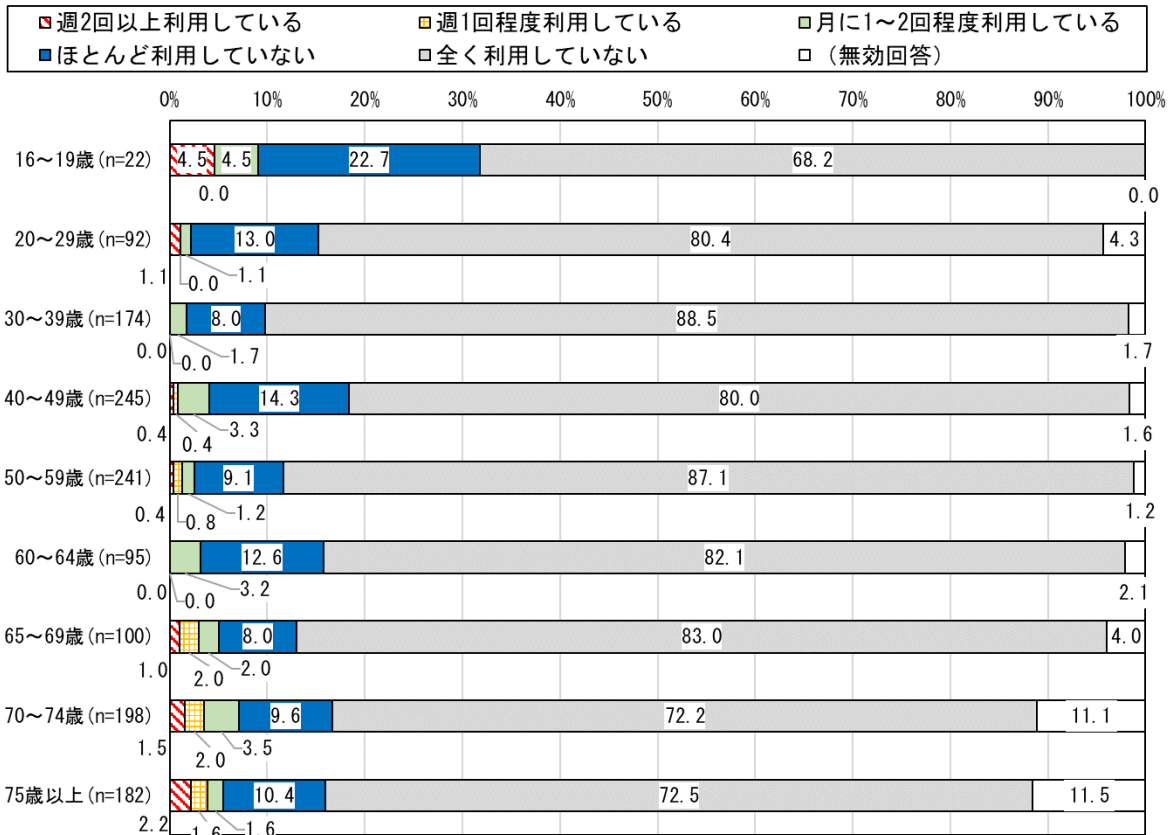


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

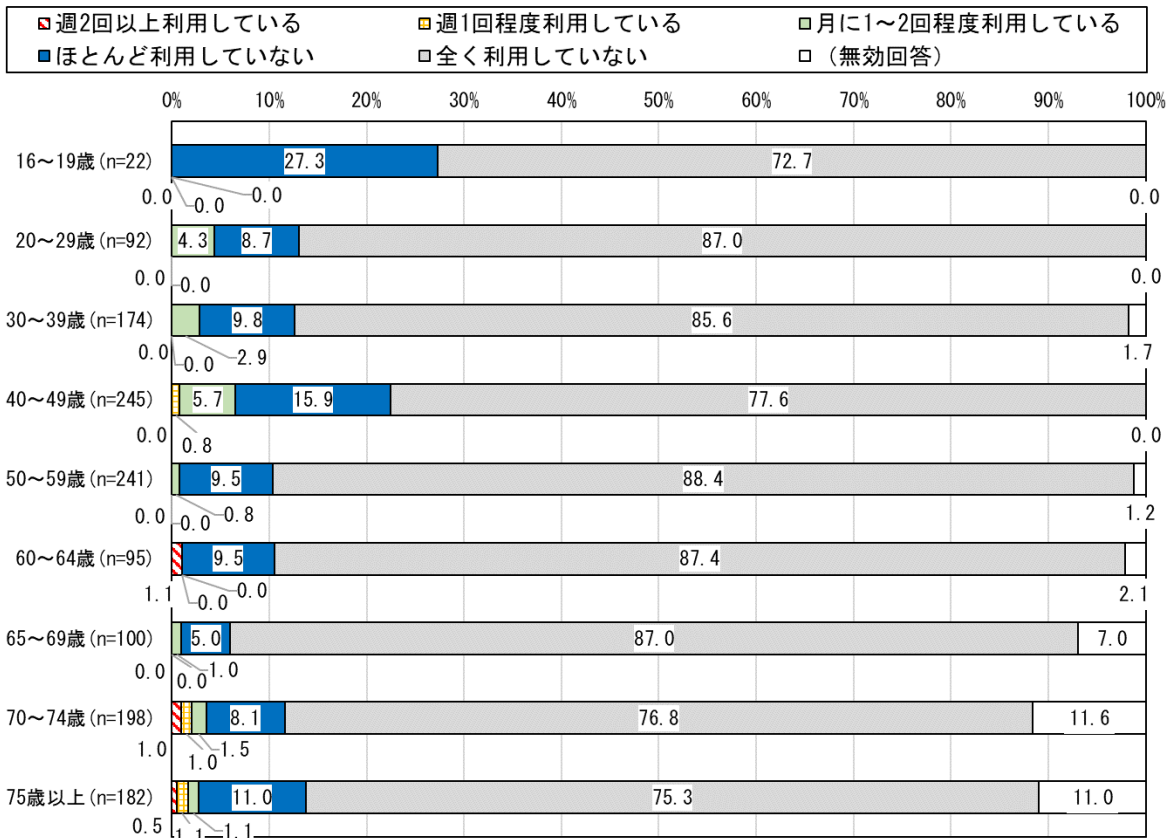
<年齢層別>

○市外の施設（SUBARU総合スポーツセンター）を除き、いずれの施設の利用においても、16～19歳が他の年齢層と比べて最も高くなっています。

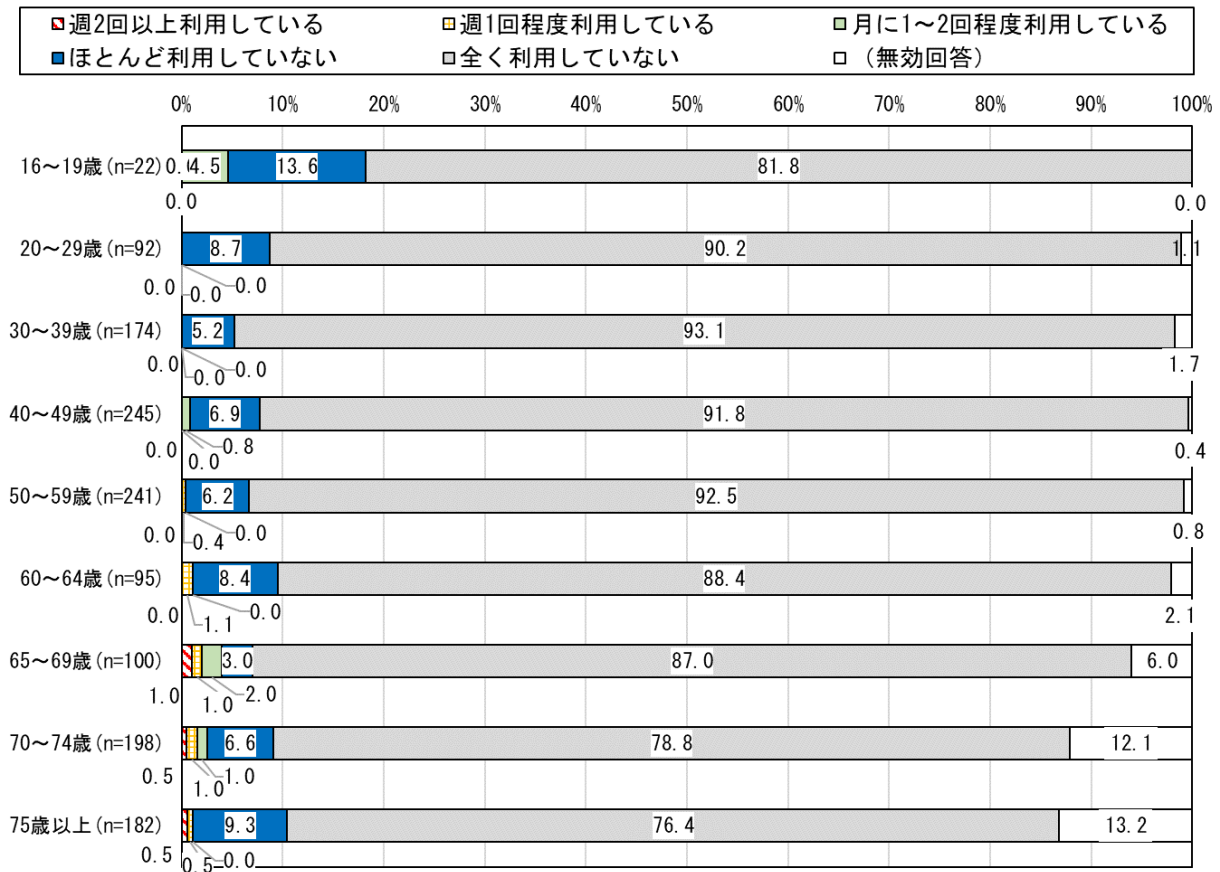
ア <市>総合体育館



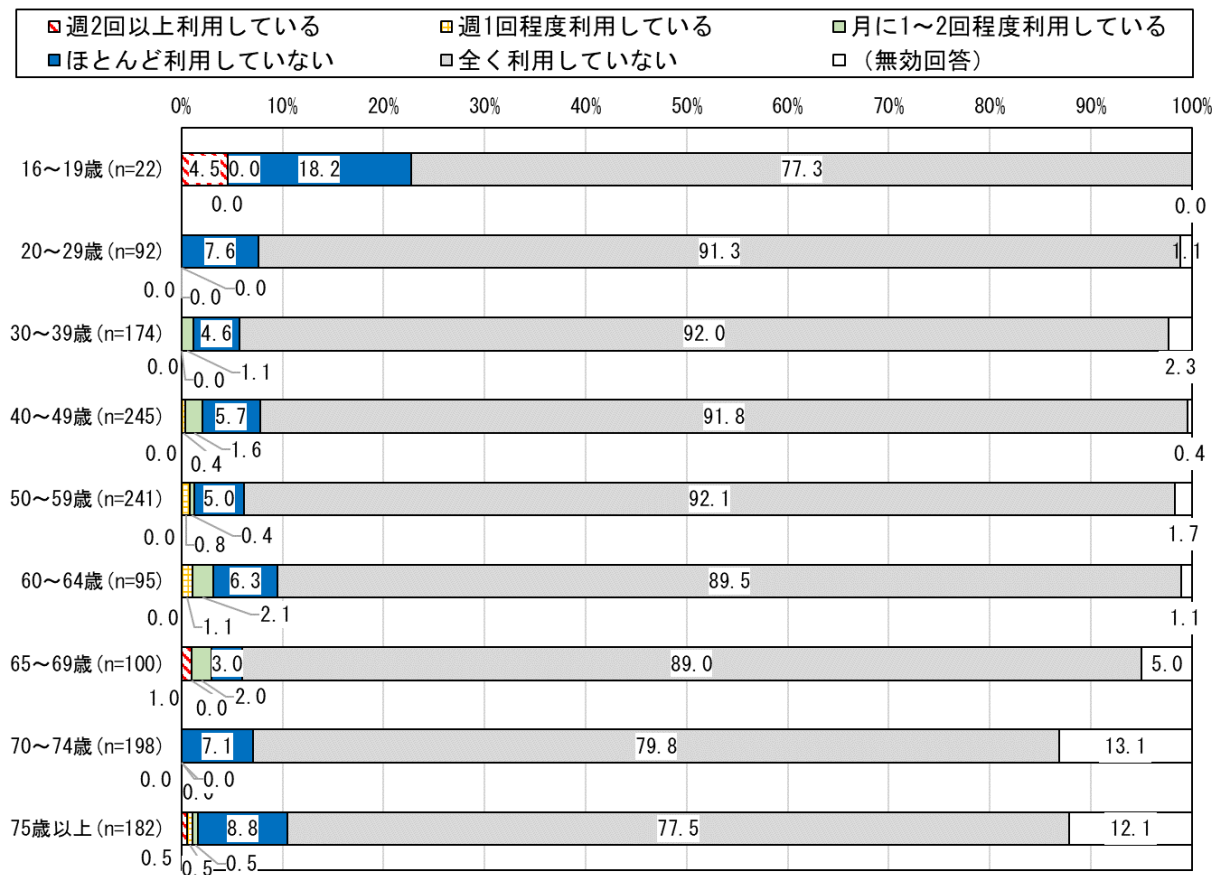
イ <市>市民プール



ウ <市>大町スポーツ施設

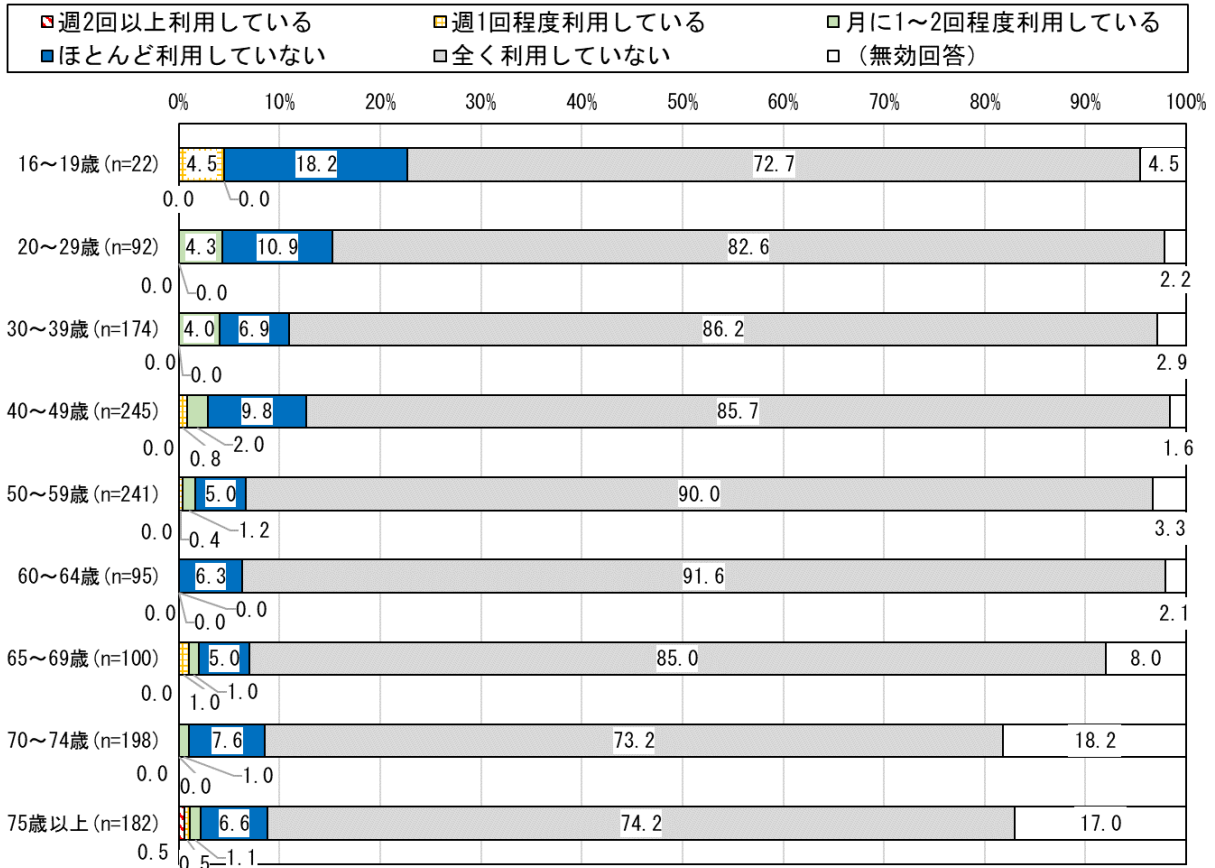


エ <市>テニスコート

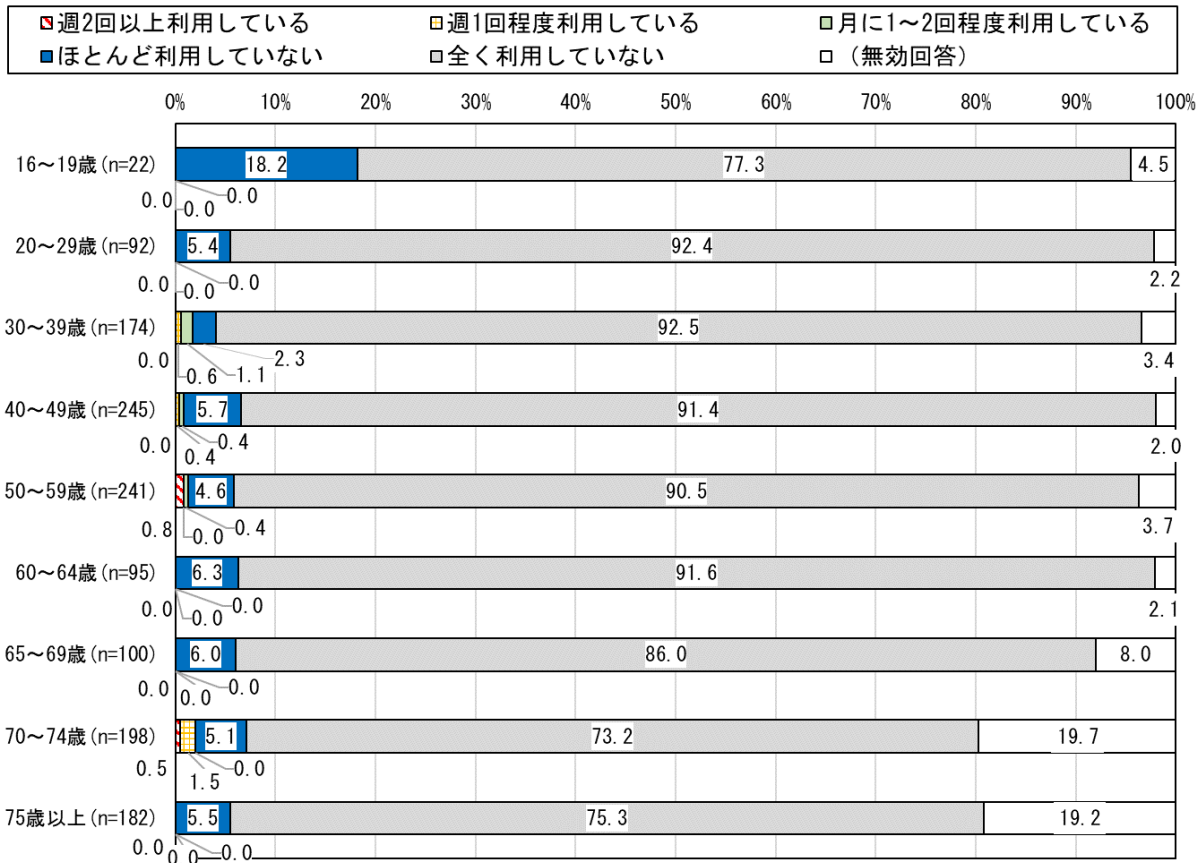


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

オ <都>武蔵野の森総合スポーツプラザ



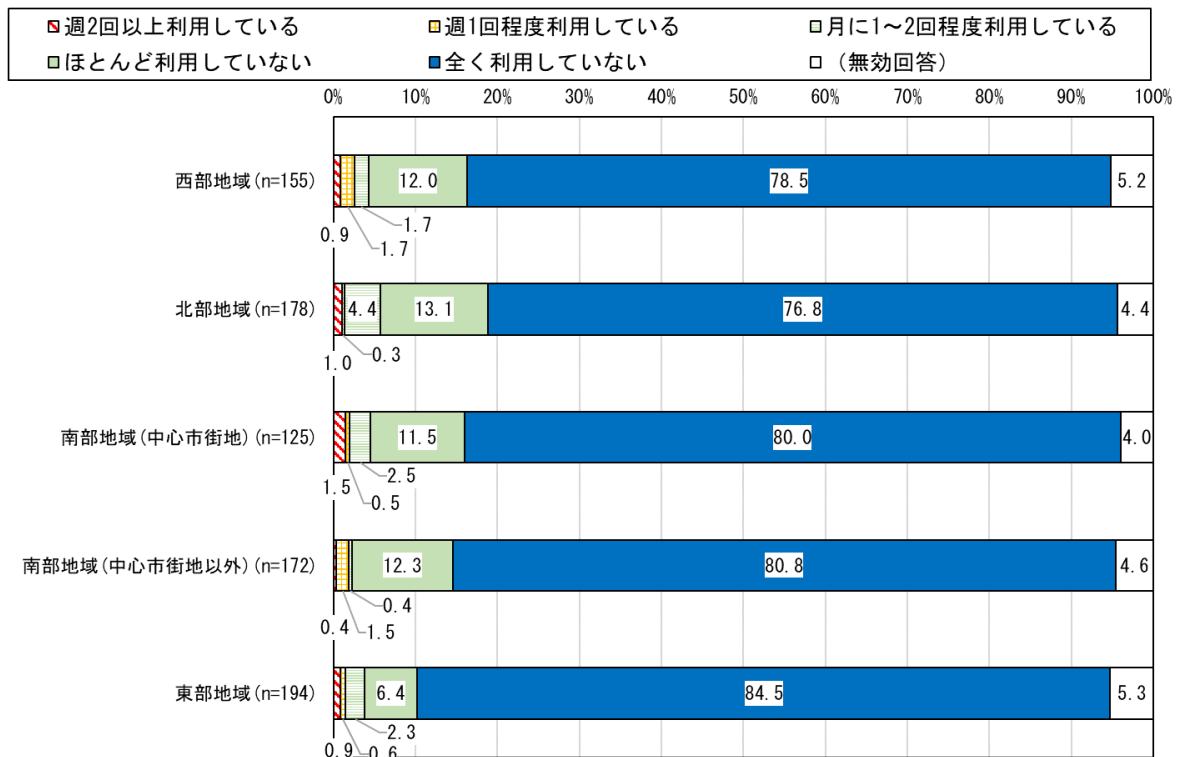
カ <市外>SUBARU総合スポーツセンター



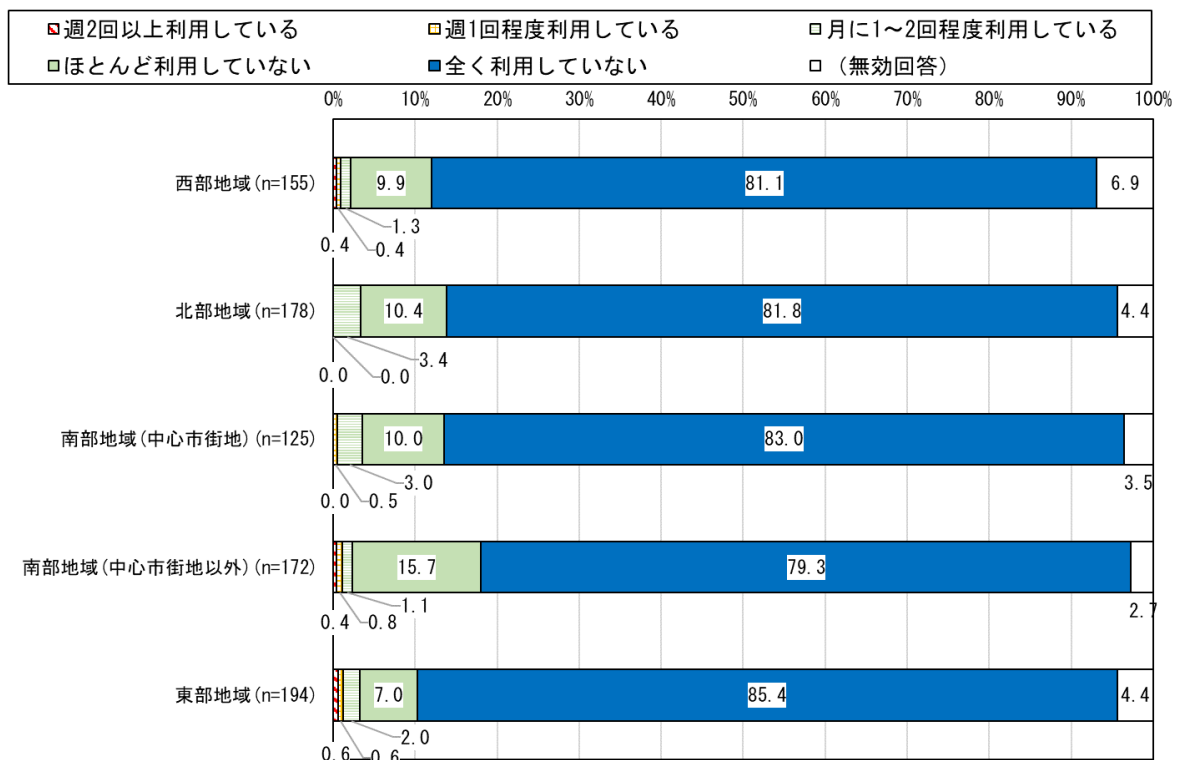
<地域別>

○<市>総合体育館では、北部地域が「週2回以上利用している」、「週1回程度利用している」の合計が4.8%と最も高く、次いで南部地域（中心市街地）4.5%の順となっています。

ア <市>総合体育館

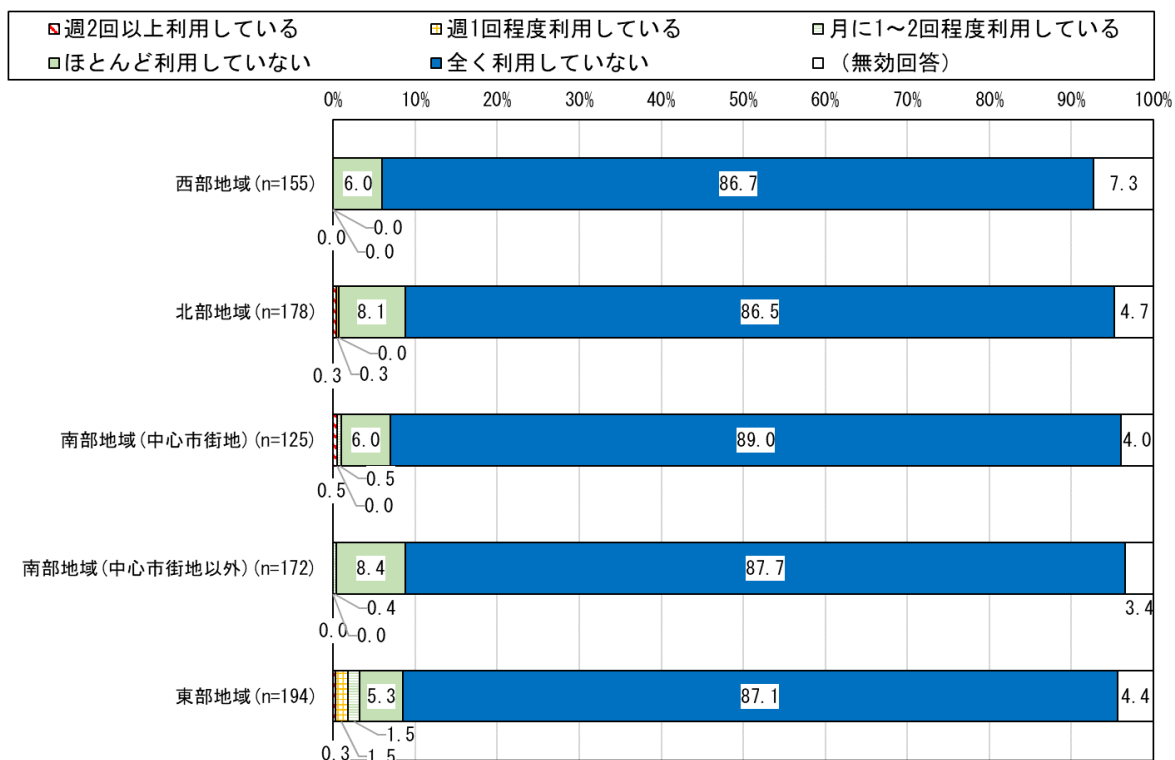


イ <市>市民プール

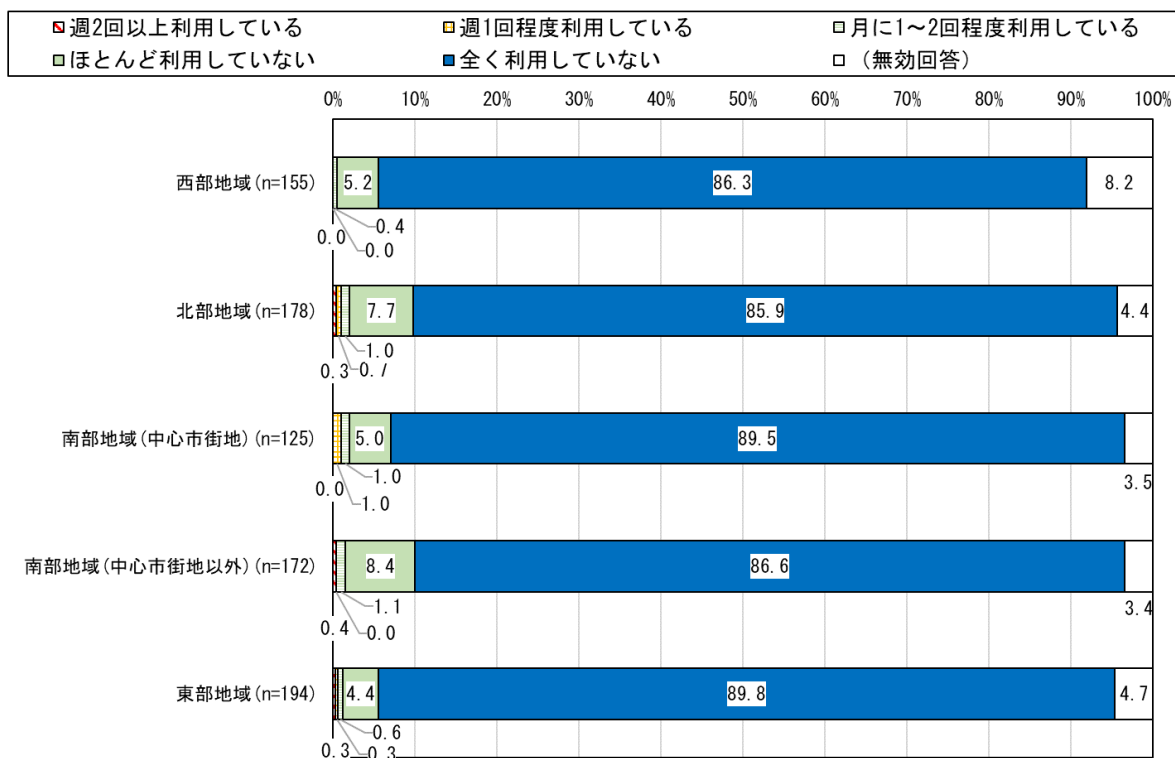


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

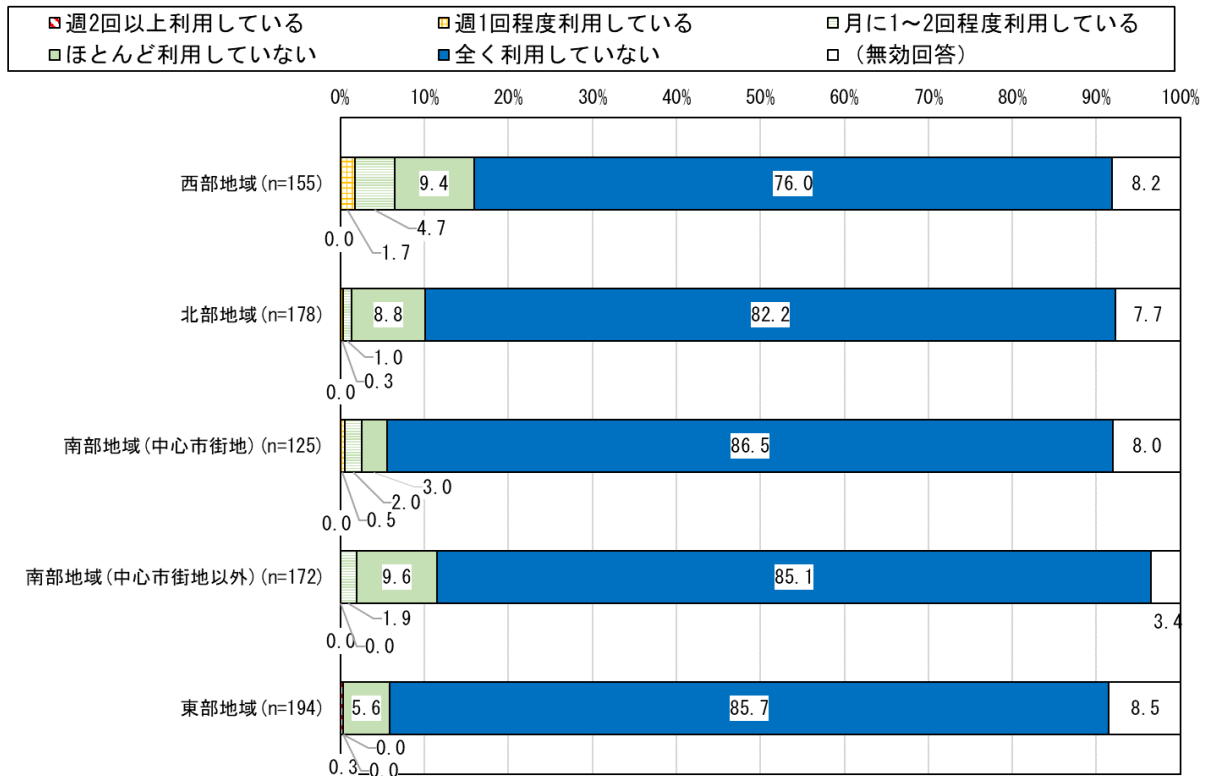
ウ <市>大町スポーツ施設



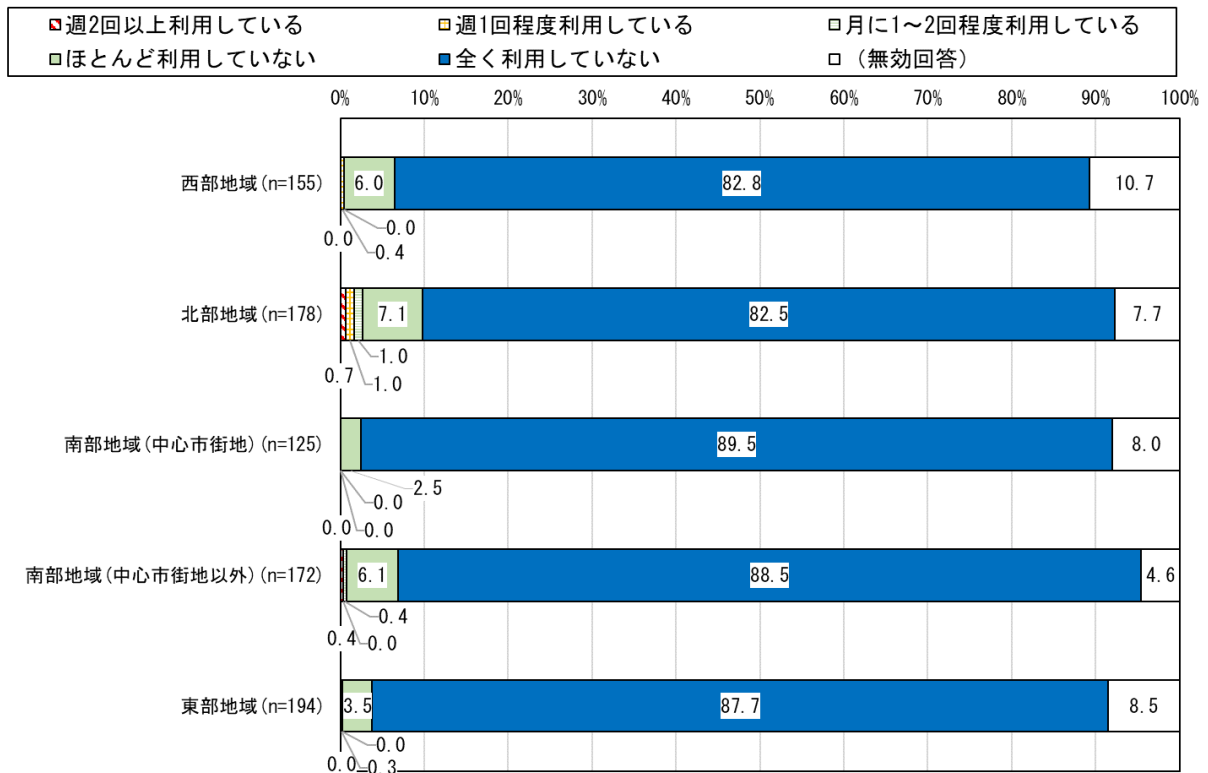
エ <市>テニスコート



オ <都>武蔵野の森総合スポーツプラザ



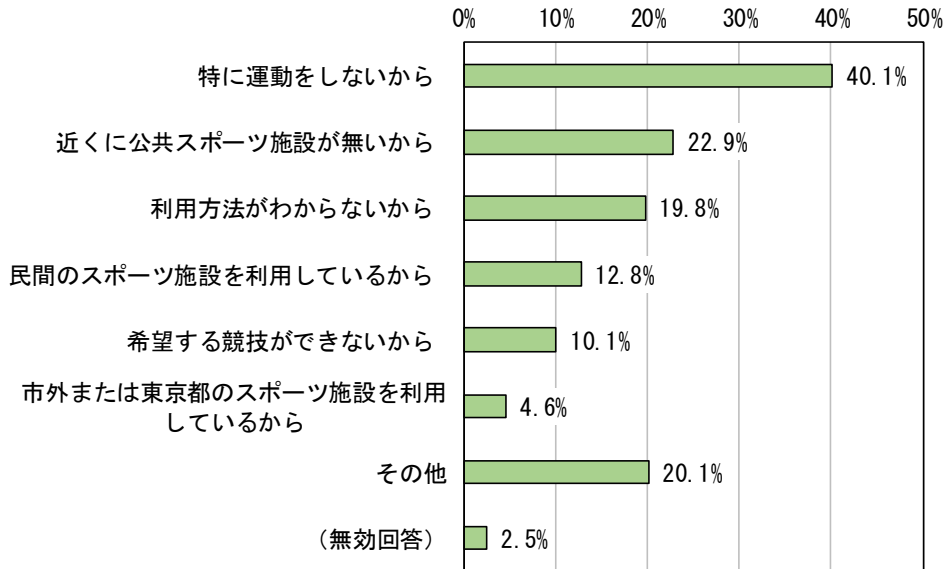
カ <市外>SUBARU総合スポーツセンター



問 37-1) 問 37 で市の公共スポーツ施設を「ほとんど利用していない」「全く利用していない」のいずれかを選んだ方にうかがいます。利用しない理由はなぜですか。

<全体 (n=1,316) >

○「特に運動をしないから」が40.1%で最も高く、次いで「近くに公共スポーツ施設が無いから」の22.9%、「利用方法がわからないから」の19.8%の順となっています。



<地域別>

○いずれの地域も、「特に運動をしないから」が最も高くなっています。また、西部地域と北部地域以外では、「近くに無いから」が2番目に高くなっています。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域(中心市街地)	南部地域(中心市街地以外)	東部地域
全体	1,316 100.0%	222 100.0%	286 100.0%	194 100.0%	256 100.0%	327 100.0%
特に運動をしないから	528 40.1%	95 42.8%	129 45.1%	82 42.3%	102 39.8%	108 33.0%
近くに公共スポーツ施設が無いから	301 22.9%	34 15.3%	29 10.1%	62 32.0%	62 24.2%	103 31.5%
利用方法がわからないから	260 19.8%	45 20.3%	53 18.5%	32 16.5%	38 14.8%	86 26.3%
民間のスポーツ施設を利用しているから	168 12.8%	22 9.9%	36 12.6%	26 13.4%	32 12.5%	51 15.6%
希望する競技ができないから	133 10.1%	22 9.9%	35 12.2%	23 11.9%	22 8.6%	27 8.3%
市外または東京都のスポーツ施設を利用しているから	60 4.6%	15 6.8%	14 4.9%	7 3.6%	11 4.3%	12 3.7%
その他	265 20.1%	47 21.2%	56 19.6%	40 20.6%	52 20.3%	65 19.9%
(無効回答)	33 2.5%	7 3.2%	7 2.4%	5 2.6%	3 1.2%	7 2.1%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

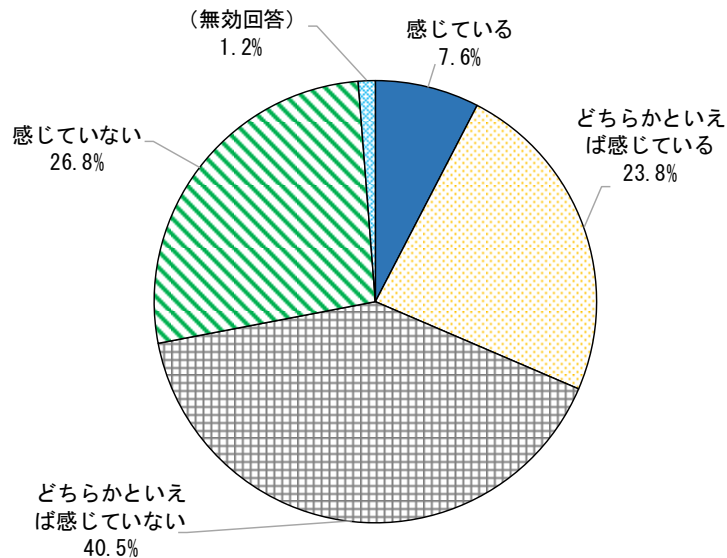
【地域コミュニティについて】

問 38) あなたは、地域の一員としての意識や地域の連帯感を感じていますか。

<全体 (n=1,367) >

○地域の一員としての意識や地域の連帯感を「感じている」は7.6%、「どちらかといえば感じている」は23.8%であり、合計で31.4%となっています。

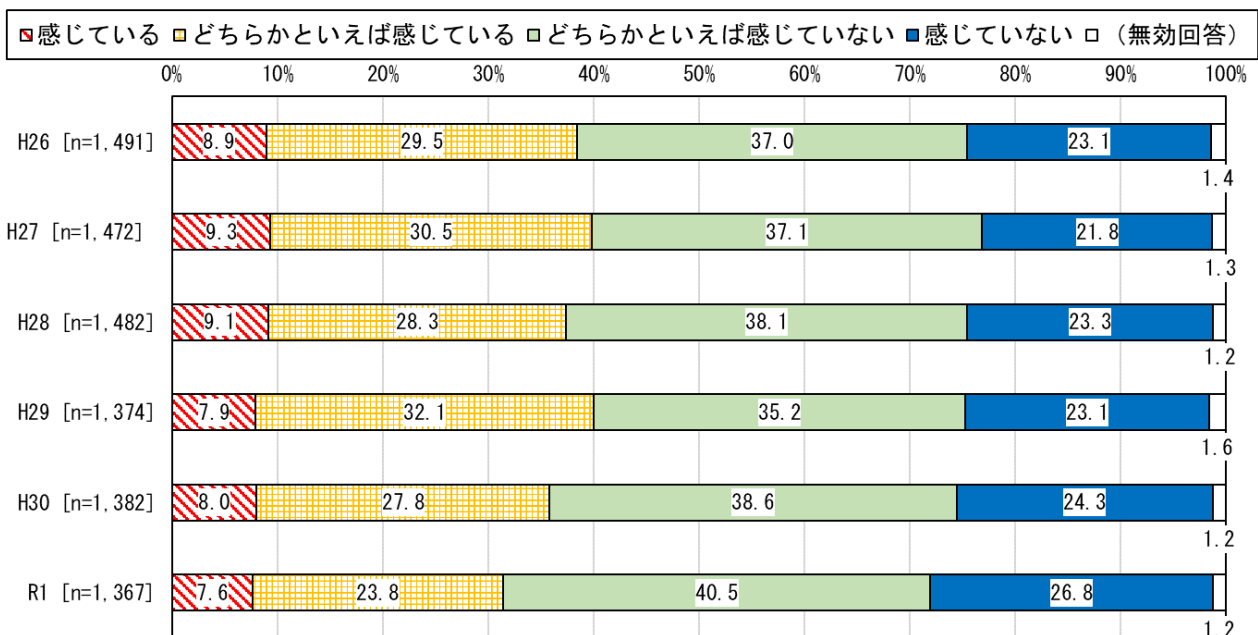
○一方、「どちらかといえば感じていない」は40.5%、「感じていない」は26.8%であり、合計で67.3%となっています。



<経年比較>

○地域の一員としての意識や地域の連帯感を「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計(31.4%)は、平成30年度(35.8%)と比べると4.4ポイント減少しています。

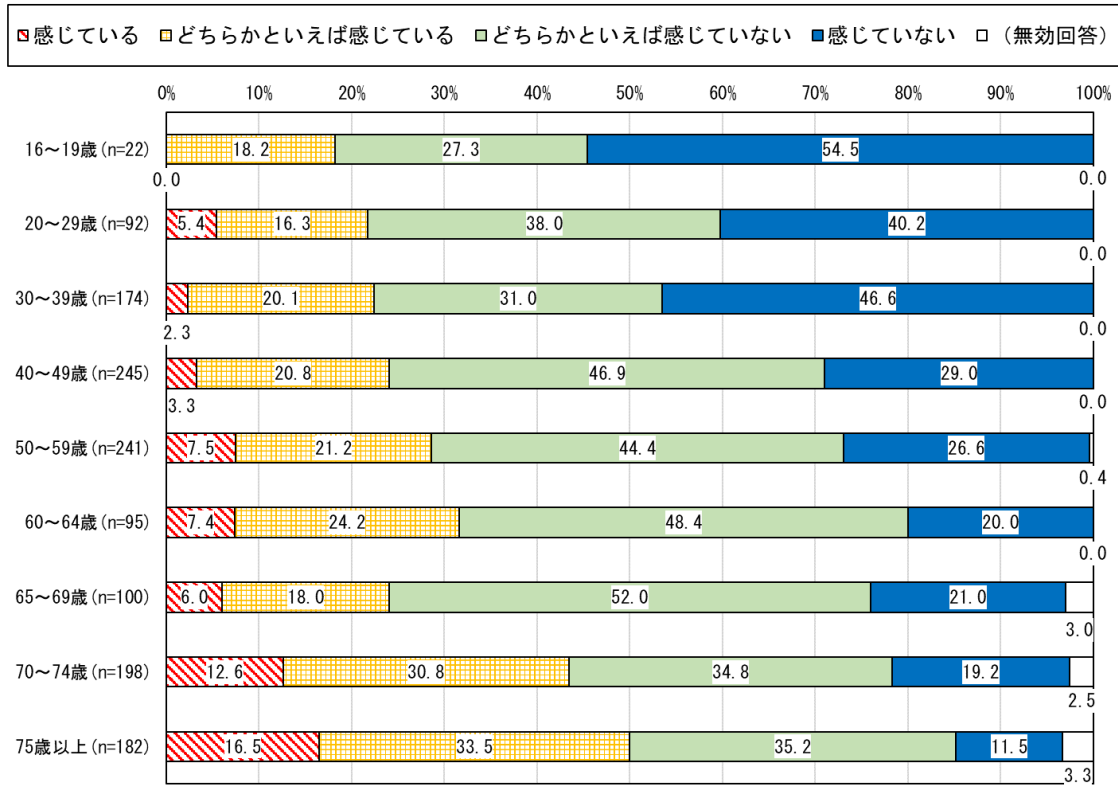
○「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計(67.3%)は、平成30年度(62.9%)と比べると4.4ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

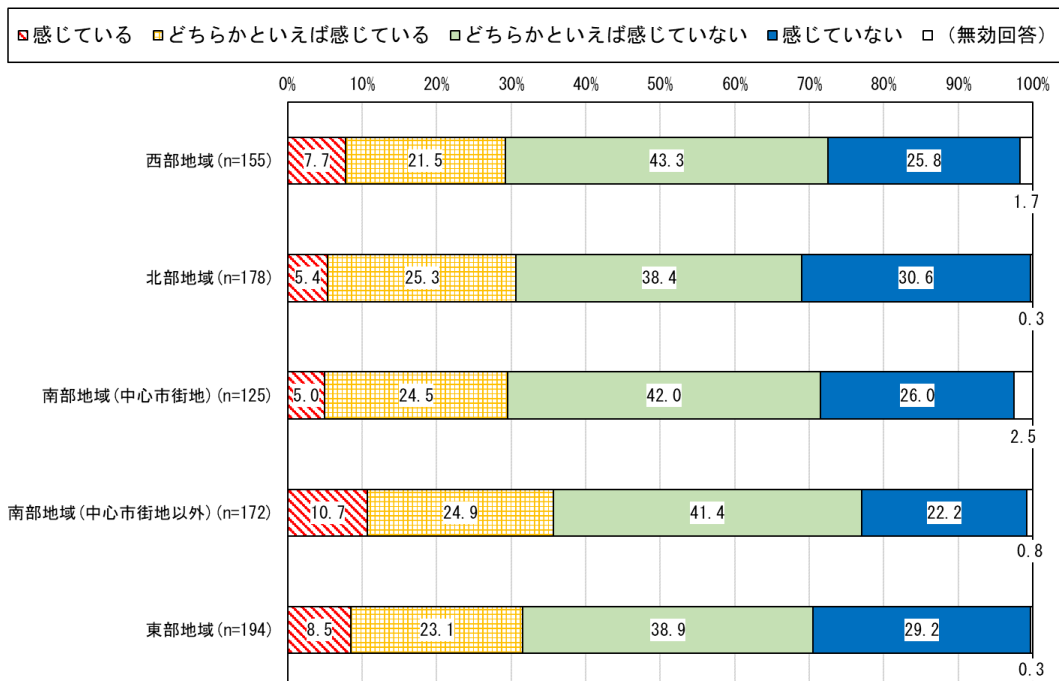
<年齢層別>

- 「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、おおむね年齢層が上がるにつれて高くなる傾向にあります。
- 特に 75 歳以上では、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計が 50.0%となっています。
- 一方、74 歳以下では、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計が 50%を超えており、特に 20～30 歳代では 70%台となっています。



<地域別>

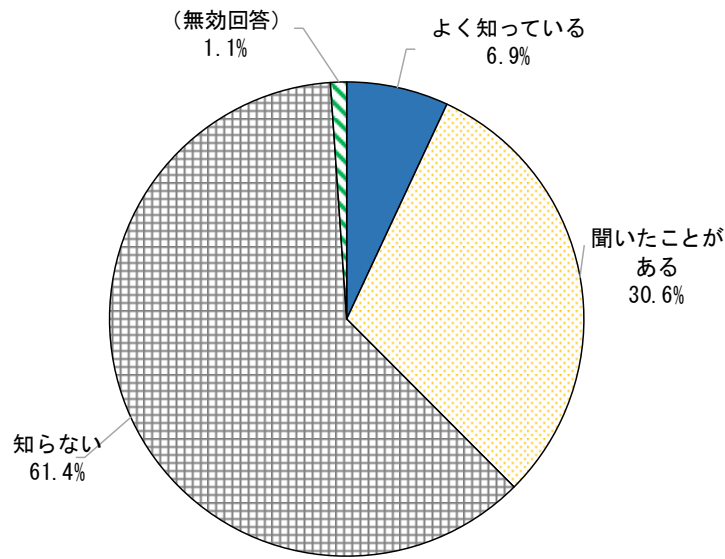
- いずれの地域でも「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計が 60%台となっています。



問 39) あなたは、「地区協議会」を知っていますか。

<全体 (n=1,367) >

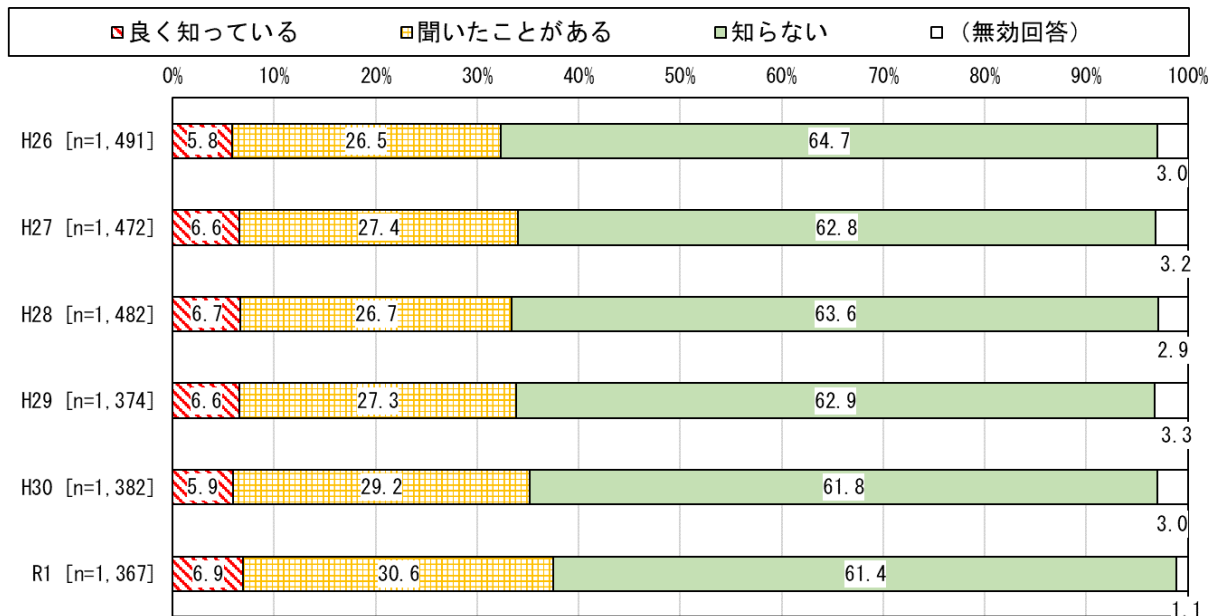
○「よく知っている」が6.9%、「聞いたことがある」が30.6%、合計で37.5%となっています。



<経年比較>

○「良く知っている」と「聞いたことがある」の合計は、平成27年度以降おおむね増加傾向にあります。令和元年度は平成30年度(35.1%)と比べて2.4ポイント増加しています。

○一方、「知らない」は、平成27年度以降おおむね減少傾向にあります。令和元年度は平成30年度(61.8%)と比べて0.4ポイント減少しています。

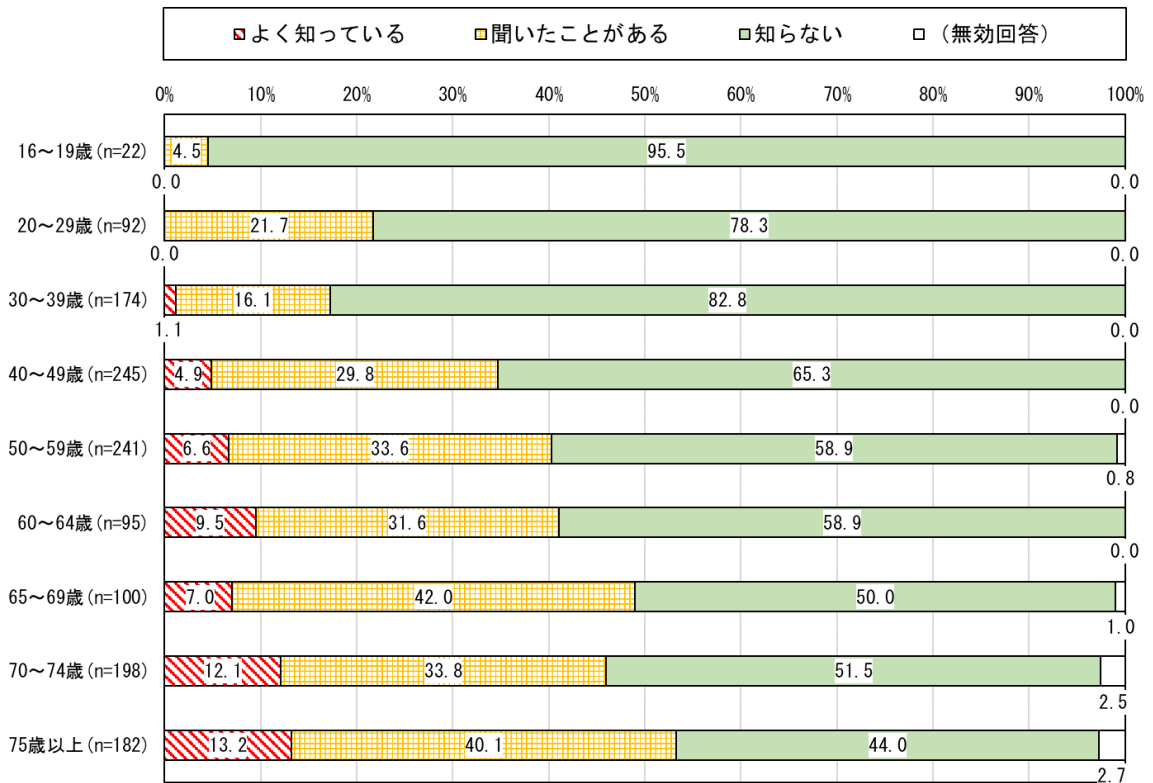


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、年齢層が上がるにつれておおむね増加傾向にあります。

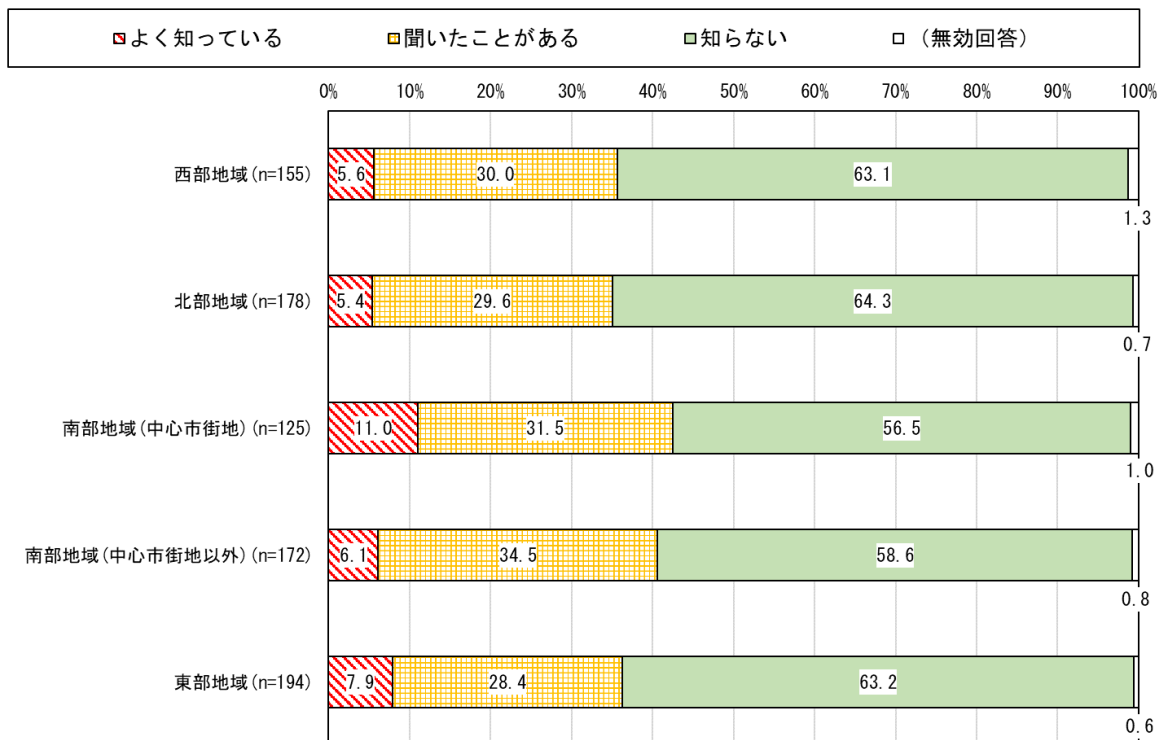
○74歳以下の年齢層では、いずれも「知らない」が50%を超えています。



<地域別>

○「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、南部地域（中心市街地）が42.5%で最も高くなっています。

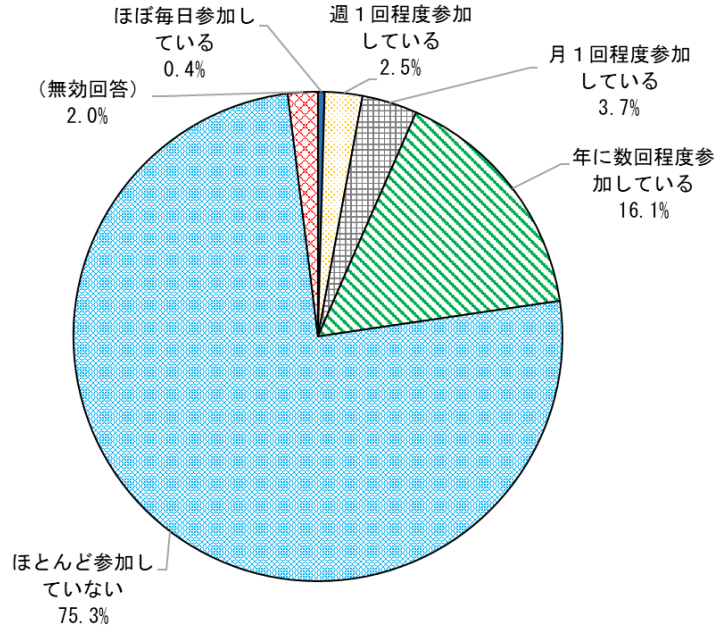
○いずれの地域でも、「知らない」が50%を超えています。



問 40) あなたは、おおむね1年の間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。

<全体 (n=1,367) >

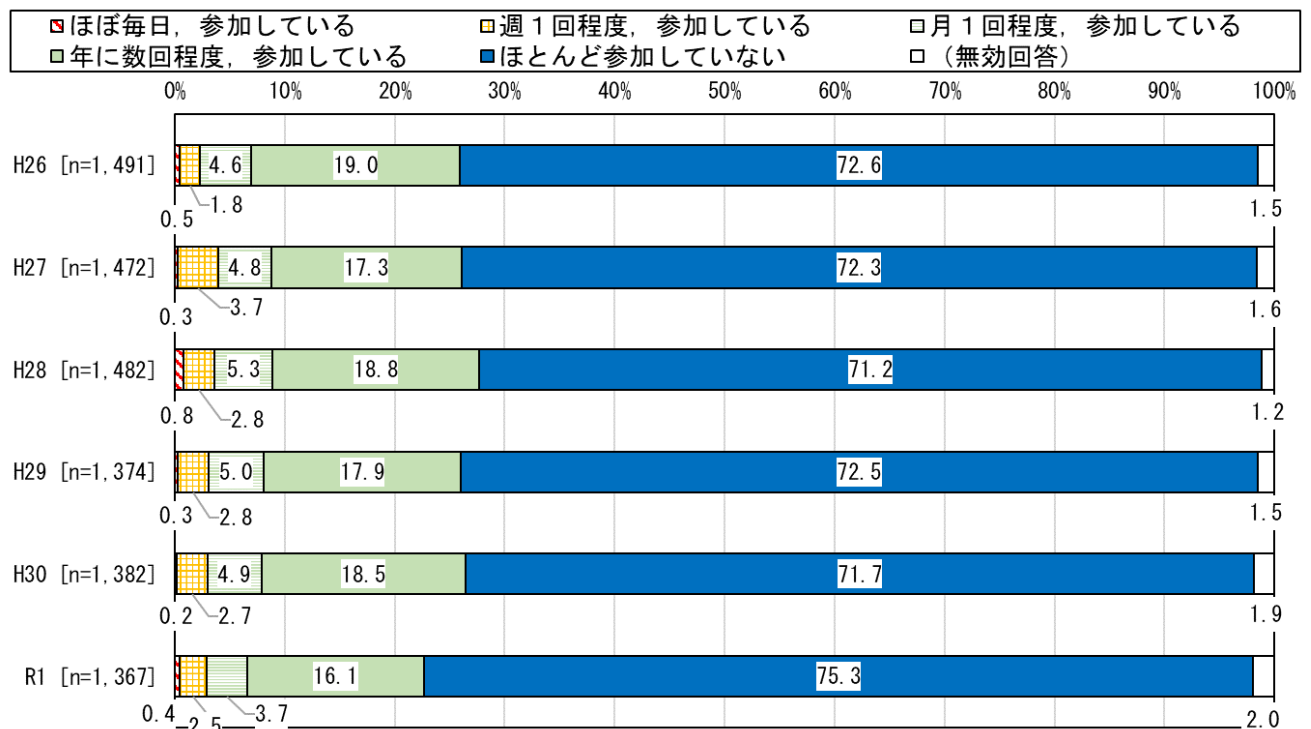
○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計が22.7%となっています。



<経年比較>

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計は、おおむね横ばい傾向で推移しています。

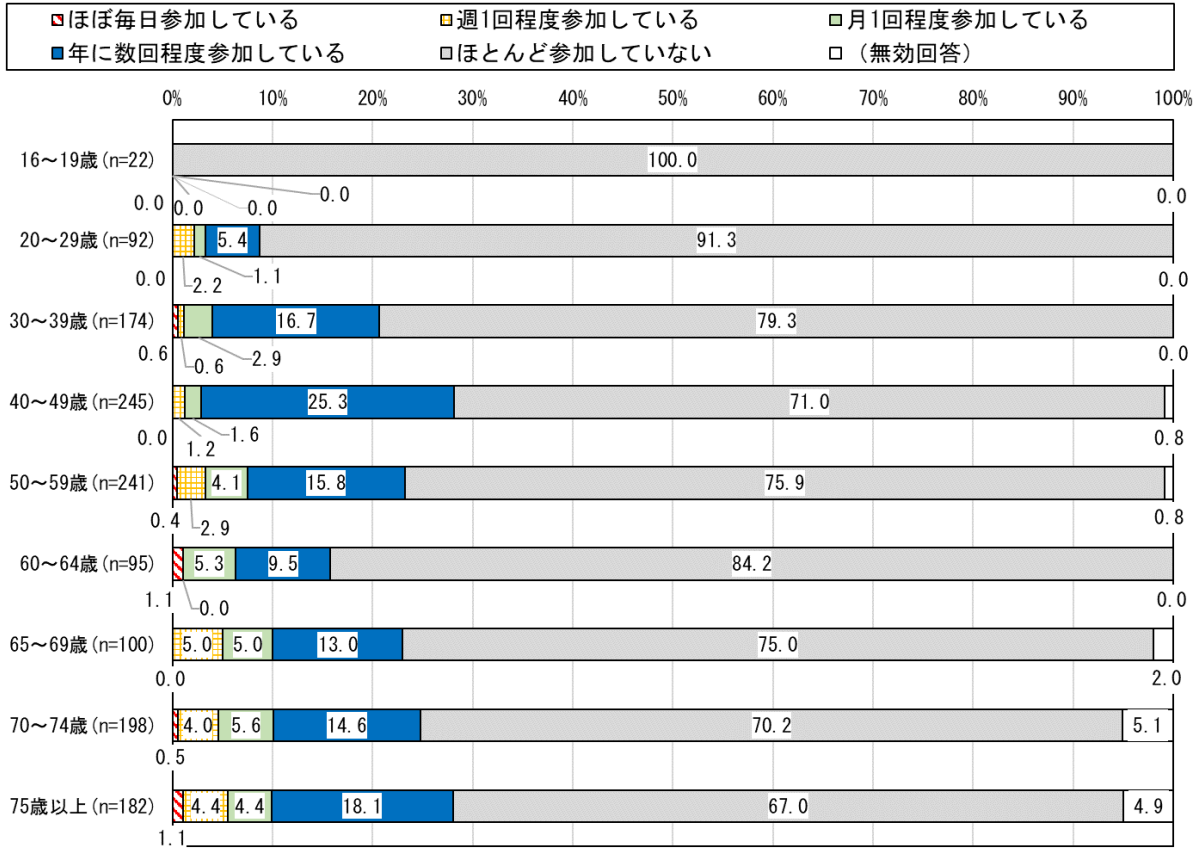
○一方、「ほとんど参加していない」は、いずれの年度も70%台となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

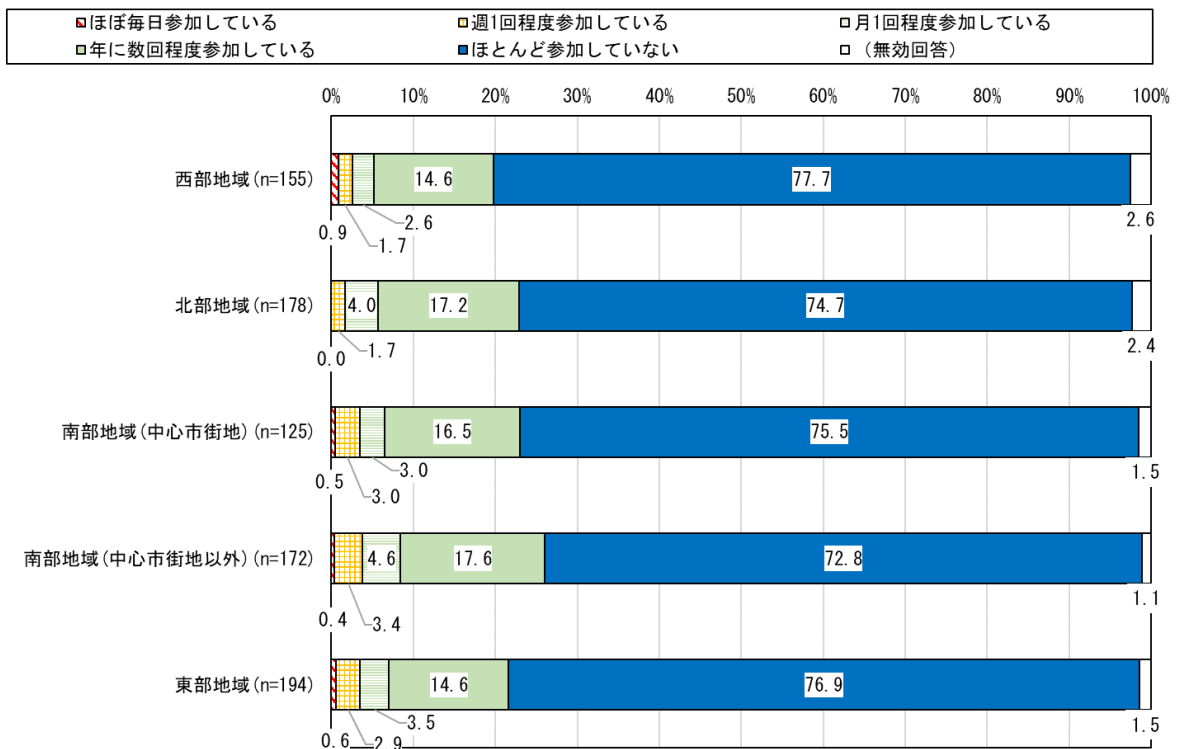
<年齢層別>

- 「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計は、40～49歳が28.1%で最も高く、75歳以上が28%でこれに次いでいます。
- 16～19歳では、回答者の全員が「ほとんど参加していない」としています。



<地域別>

- いずれの地域も「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計が、おおむね20%台となっています。

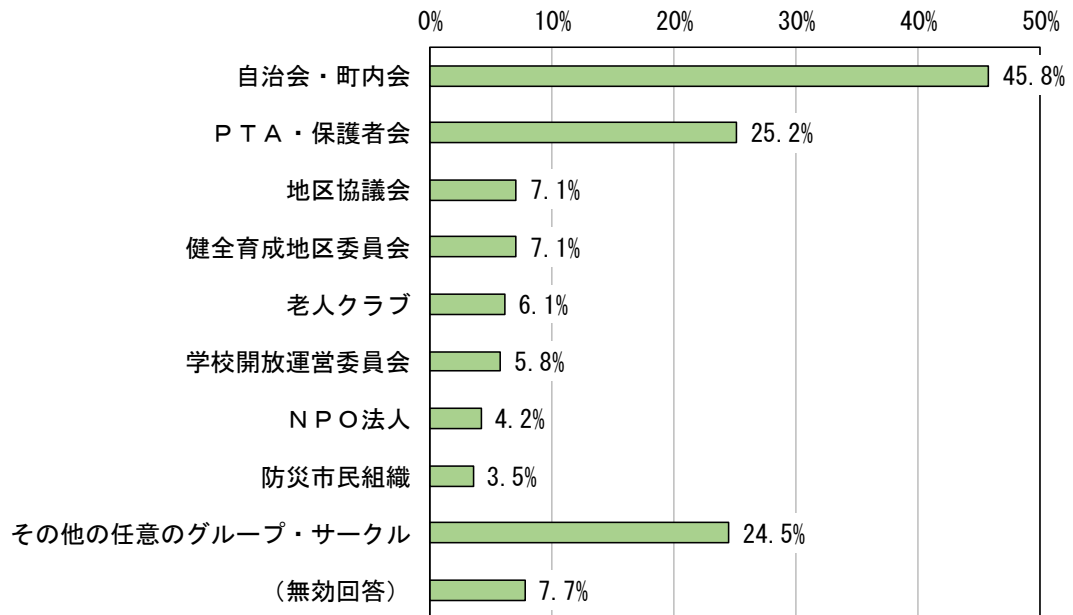


問 40-1) 参加した団体, 活動, 場所について, あてはまるものに○をつけてください。

団体

<全体 (n=310) >

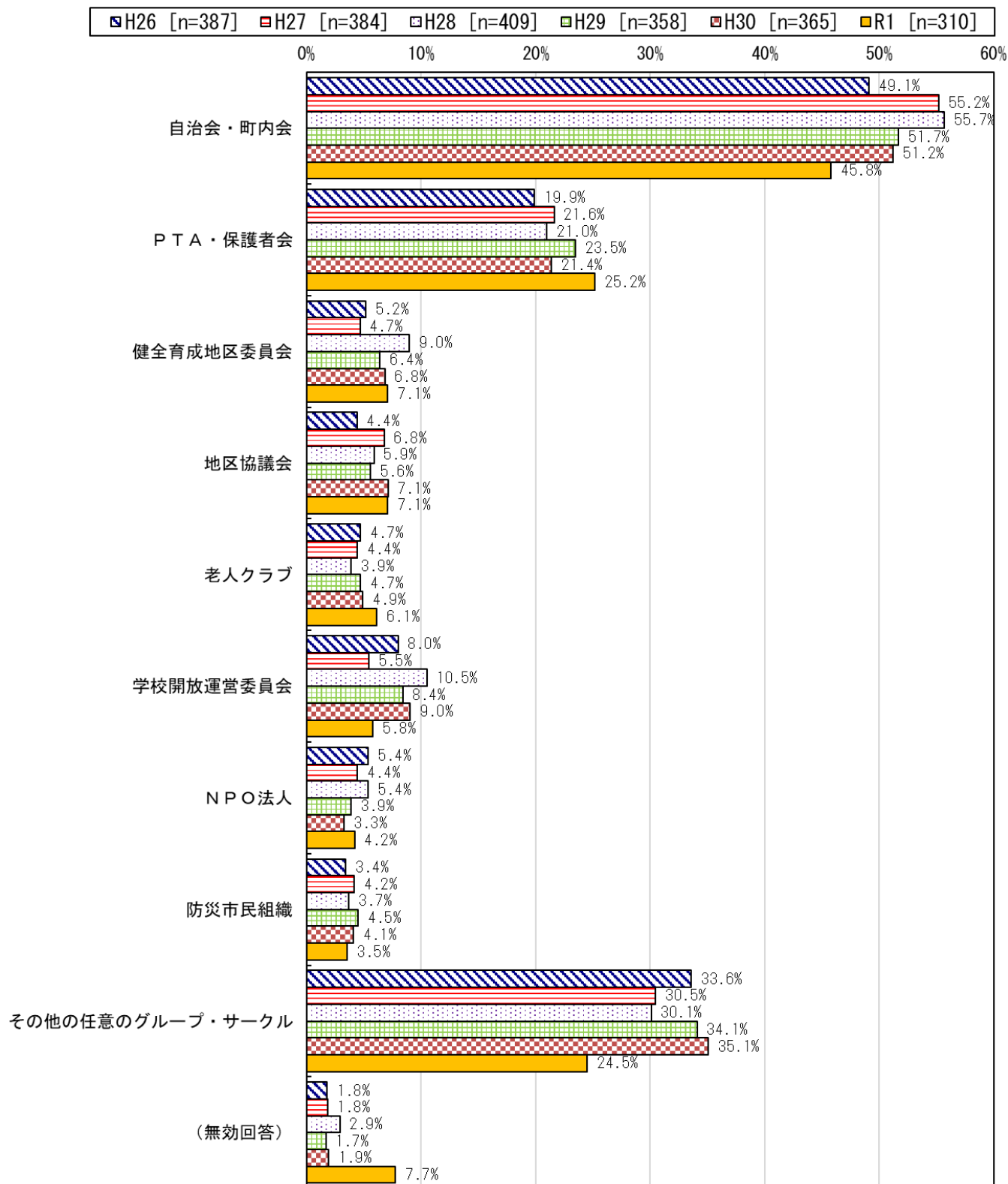
○「自治会・町内会」が45.8%で最も高く, 次いで「P T A・保護者会」の25.2%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<経年比較>

○「自治会・町内会」は、平成28年度の55.7%を境に減少傾向に転じています。また、「PTA・保護者会」は、増減を繰り返しながら推移しており、令和元年度では25.2%で、前年度(21.4%)と比べて3.8ポイント増加しています。



<年齢階層別>

○20～29歳，50～74歳では「自治会・町内会」，30～49歳では「PTA・保護者会」が最も高くなっています。また，75歳以上では「老人クラブ」が最も高くなっています。

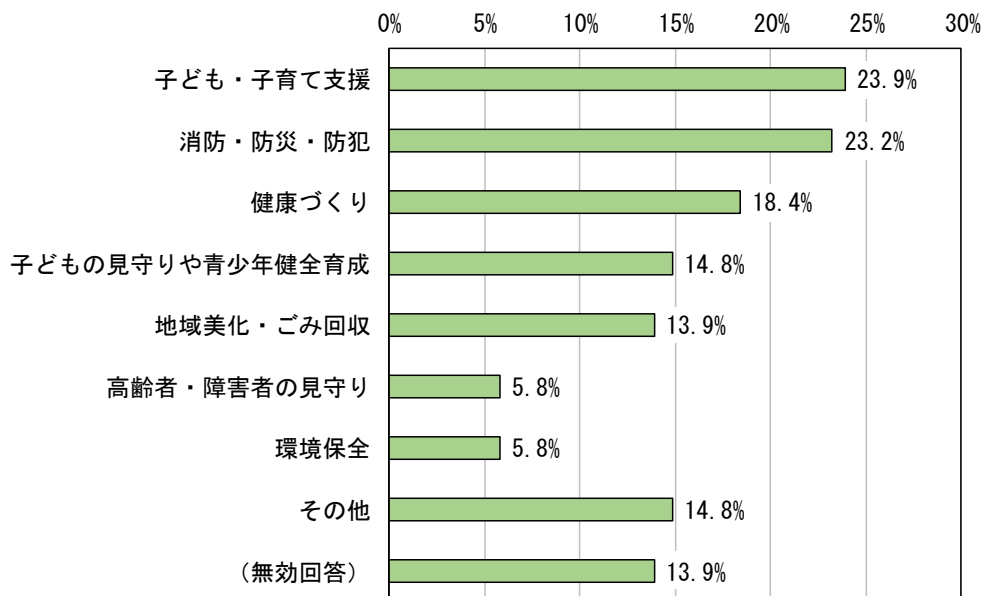
選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	310	0	8	36	69	56	15	23	49	51
	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
自治会・町内会	142	0	2	11	28	27	10	9	26	1
	45.8%	0.0%	25.0%	30.6%	40.6%	48.2%	66.7%	39.1%	53.1%	2.0%
PTA・保護者会	78	0	0	16	47	12	0	2	0	0
	25.2%	0.0%	0.0%	44.4%	68.1%	21.4%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%
地区協議会	22	0	0	0	0	5	2	5	5	5
	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.9%	13.3%	21.7%	10.2%	9.8%
健全育成地区委員会	22	0	0	3	4	7	2	3	2	1
	7.1%	0.0%	0.0%	8.3%	5.8%	12.5%	13.3%	13.0%	4.1%	2.0%
老人クラブ	19	0	0	0	0	0	0	0	8	11
	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.3%	21.6%
学校開放運営委員会	18	0	0	3	6	3	1	1	3	1
	5.8%	0.0%	0.0%	8.3%	8.7%	5.4%	6.7%	4.3%	6.1%	2.0%
NPO法人	13	0	1	0	2	3	1	2	3	1
	4.2%	0.0%	12.5%	0.0%	2.9%	5.4%	6.7%	8.7%	6.1%	2.0%
防災市民組織	11	0	0	1	0	1	0	4	3	2
	3.5%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	1.8%	0.0%	17.4%	6.1%	3.9%
その他の任意のグループ・サークル	76	0	1	1	10	18	2	8	16	19
	24.5%	0.0%	12.5%	2.8%	14.5%	32.1%	13.3%	34.8%	32.7%	37.3%
(無効回答)	24	0	4	8	3	4	1	2	0	2
	7.7%	0.0%	50.0%	22.2%	4.3%	7.1%	6.7%	8.7%	0.0%	3.9%

(上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が最も高い： 回答割合が2番目に高い：

内容

<全体 (n=310) >

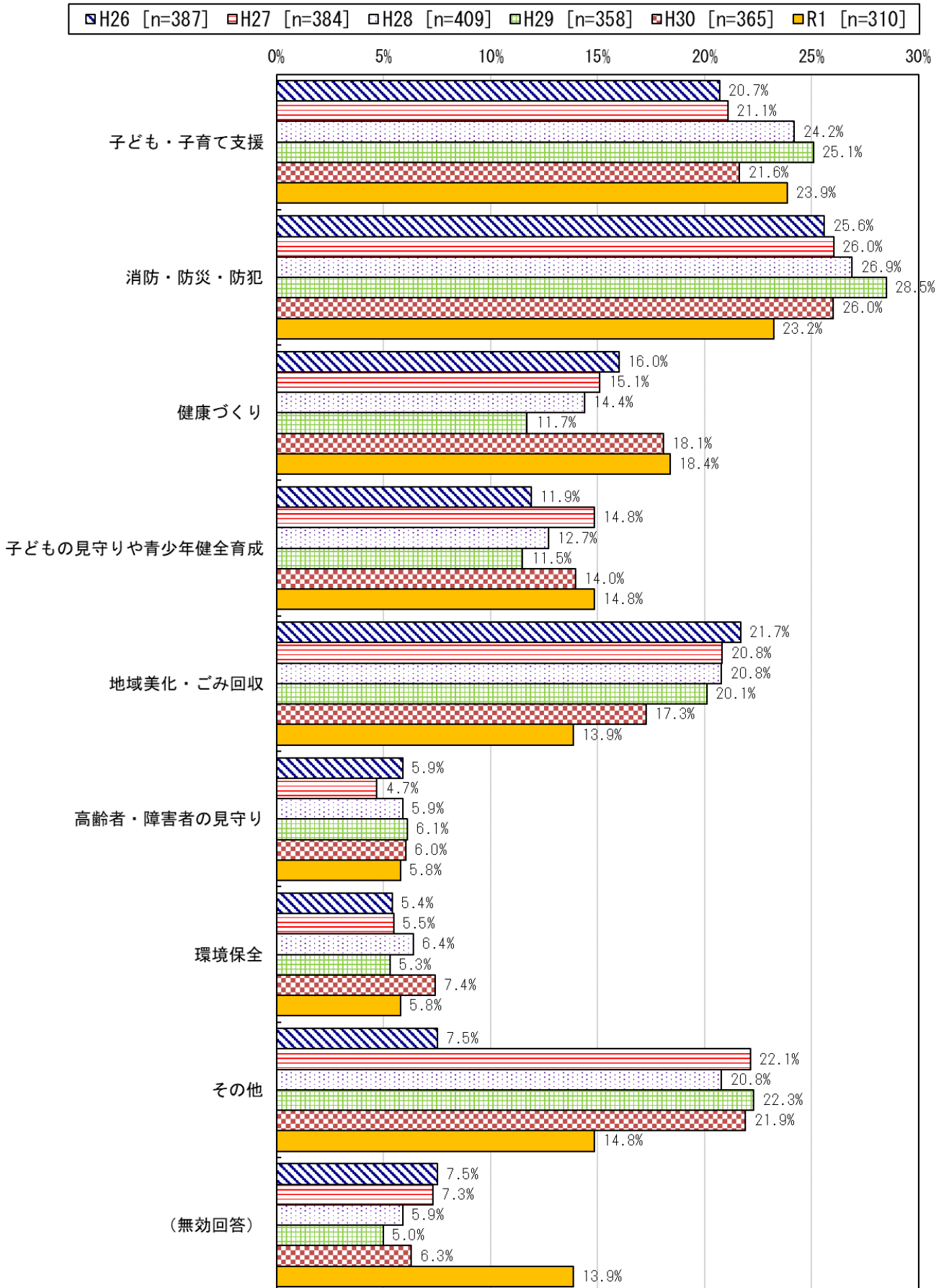
○「子ども・子育て支援」が23.9%で最も高く，次いで「消防・防災・防犯」の23.2%，「健康づくり」の18.4%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<経年比較>

○「消防・防災・防犯」は、平成29年度を境に減少傾向で推移しています。また、「地域美化・ごみ回収」は、平成26年度の21.7%から一貫して減少傾向で推移しており、令和元年度では13.9%となっています



<年齢階層別>

○30～49歳では「子ども・子育て支援」や「子どもの見守りや青少年健全育成」が高くなっています。

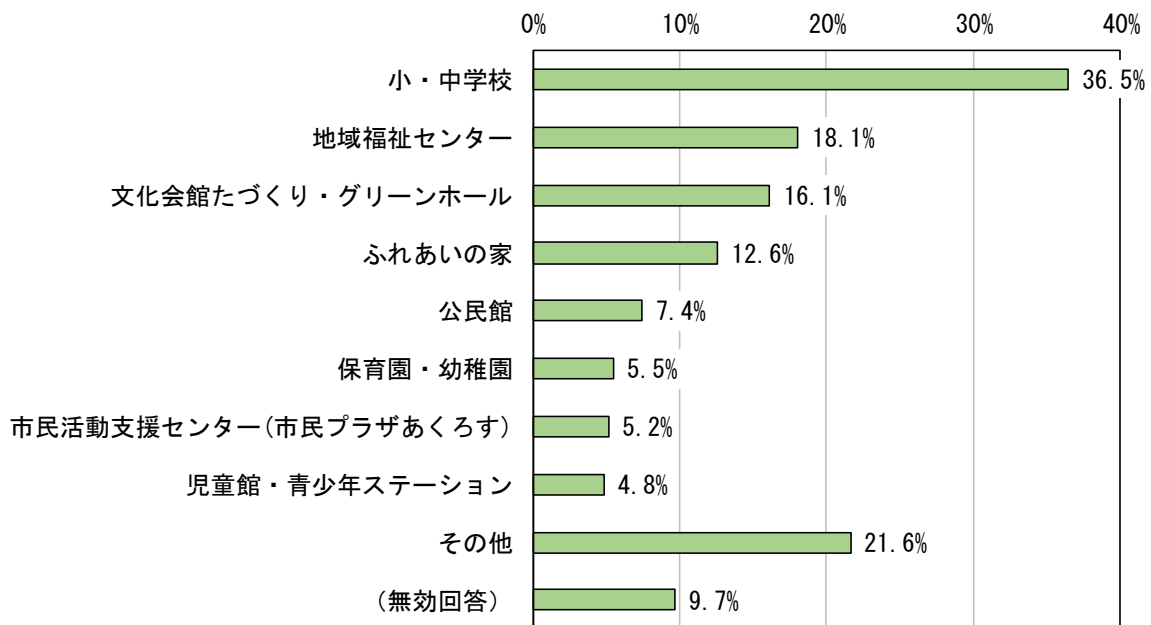
選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	310	0	8	36	69	56	15	23	49	51
	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
子ども・子育て支援	74	0	2	21	31	12	2	2	3	0
	23.9%	0.0%	25.0%	58.3%	44.9%	21.4%	13.3%	8.7%	6.1%	0.0%
消防・防災・防犯	72	0	0	3	12	12	5	7	19	14
	23.2%	0.0%	0.0%	8.3%	17.4%	21.4%	33.3%	30.4%	38.8%	27.5%
健康づくり	57	0	0	0	11	9	3	8	11	14
	18.4%	0.0%	0.0%	0.0%	15.9%	16.1%	20.0%	34.8%	22.4%	27.5%
子どもの見守りや青少年健全育成	46	0	1	5	17	9	3	3	5	3
	14.8%	0.0%	12.5%	13.9%	24.6%	16.1%	20.0%	13.0%	10.2%	5.9%
地域美化・ごみ回収	43	0	2	2	7	5	0	3	11	13
	13.9%	0.0%	25.0%	5.6%	10.1%	8.9%	0.0%	13.0%	22.4%	25.5%
高齢者・障害者の見守り	18	0	0	0	0	3	1	3	6	5
	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	6.7%	13.0%	12.2%	9.8%
環境保全	18	0	0	1	1	3	2	3	3	5
	5.8%	0.0%	0.0%	2.8%	1.4%	5.4%	13.3%	13.0%	6.1%	9.8%
その他	46	0	0	4	12	11	3	3	7	6
	14.8%	0.0%	0.0%	11.1%	17.4%	19.6%	20.0%	13.0%	14.3%	11.8%
(無効回答)	43	0	3	4	7	9	2	2	6	8
	13.9%	0.0%	37.5%	11.1%	10.1%	16.1%	13.3%	8.7%	12.2%	15.7%

(上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が最も高い：
 回答割合が2番目に高い：

活動場所

<全体 (n=310) >

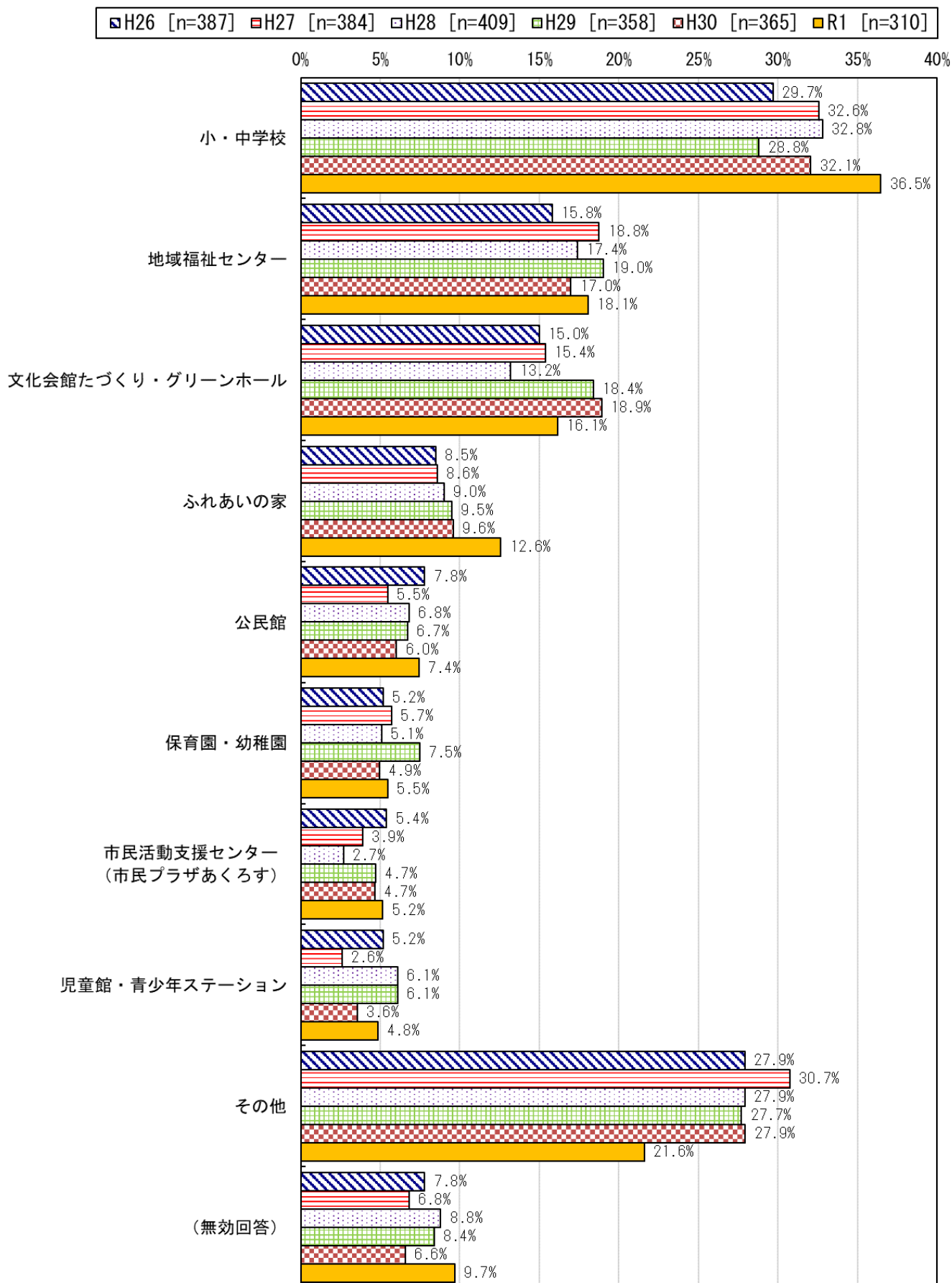
○「小・中学校」が36.5%で最も高く、次いで「地域福祉センター」の18.1%、「文化会館たづくり・グリーンホール」の16.1%の順になっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<経年比較>

○いずれの年度も「小・中学校」が最も高くなっています。また、「ふれあいの家」は、平成30年度の9.6%から令和元年度の12.6%に増加しています。



<年齢階層別>

○30～59歳では、「小・中学校」が最も高くなっています。また、70歳以上では、「地域福祉センター」が最も高くなっています。

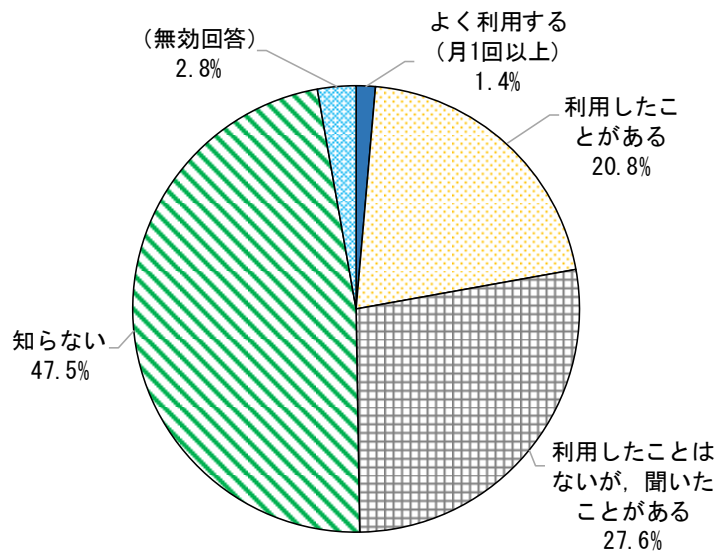
選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	310	0	8	36	69	56	15	23	49	51
	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
小・中学校	113	0	1	17	54	17	3	7	9	4
	36.5%	0.0%	12.5%	47.2%	78.3%	30.4%	20.0%	30.4%	18.4%	7.8%
地域福祉センター	56	0	1	2	1	12	3	5	13	19
	18.1%	0.0%	12.5%	5.6%	1.4%	21.4%	20.0%	21.7%	26.5%	37.3%
文化会館たづくり・グリーンホール	50	0	3	5	7	6	4	4	11	10
	16.1%	0.0%	37.5%	13.9%	10.1%	10.7%	26.7%	17.4%	22.4%	19.6%
ふれあいの家	39	0	2	3	5	7	2	2	9	9
	12.6%	0.0%	25.0%	8.3%	7.2%	12.5%	13.3%	8.7%	18.4%	17.6%
公民館	23	0	2	3	3	3	1	3	3	4
	7.4%	0.0%	25.0%	8.3%	4.3%	5.4%	6.7%	13.0%	6.1%	7.8%
保育園・幼稚園	17	0	0	13	3	1	0	0	0	0
	5.5%	0.0%	0.0%	36.1%	4.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
市民活動支援センター(市民プラザあくろす)	16	0	1	0	3	8	0	1	2	1
	5.2%	0.0%	12.5%	0.0%	4.3%	14.3%	0.0%	4.3%	4.1%	2.0%
児童館・青少年ステーション	15	0	1	8	1	2	0	2	0	1
	4.8%	0.0%	12.5%	22.2%	1.4%	3.6%	0.0%	8.7%	0.0%	2.0%
その他	67	0	3	3	8	16	5	4	12	16
	21.6%	0.0%	37.5%	8.3%	11.6%	28.6%	33.3%	17.4%	24.5%	31.4%
(無効回答)	30	0	0	1	2	6	2	2	6	9
	9.7%	0.0%	0.0%	2.8%	2.9%	10.7%	13.3%	8.7%	12.2%	17.6%

回答割合が最も高い： (上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が2番目に高い：

問41) あなたは、調布市市民活動支援センター(市民プラザあくろす2階(国領駅北側コクティ内))を利用したことがありますか。

<全体 (n=1,367) >

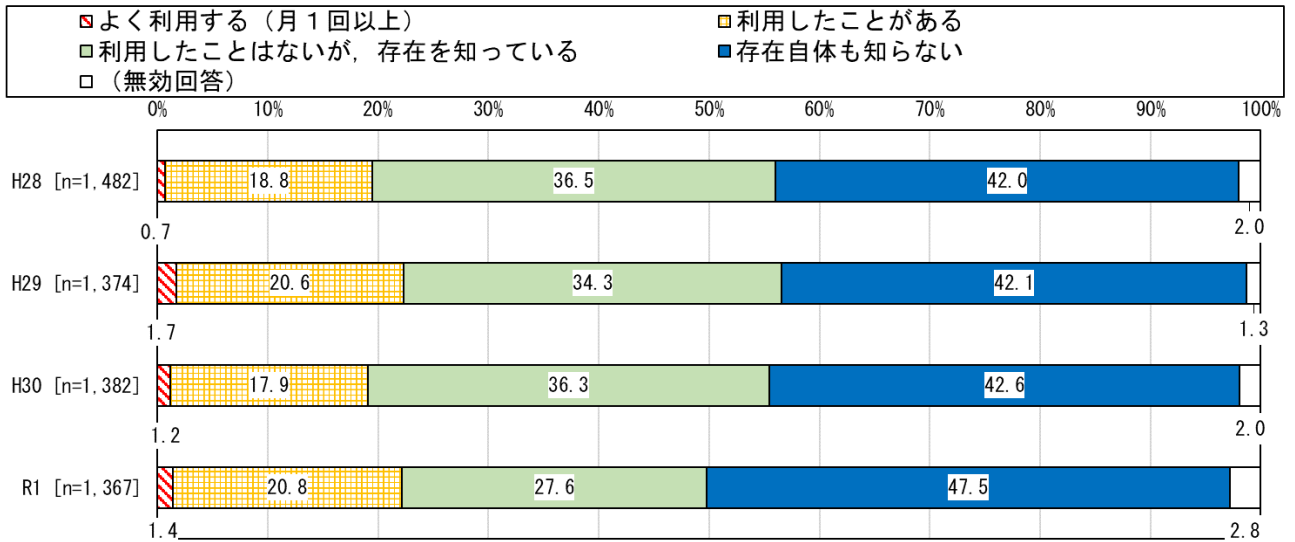
○「よく利用する(月1回以上)」が1.4%、「利用したことがある」が20.8%で、合計22.2%となっています。
 ○一方、「利用したことはないが、聞いたことがある」は27.6%、「知らない」は47.5%となっており、合計で75.1%を占めています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

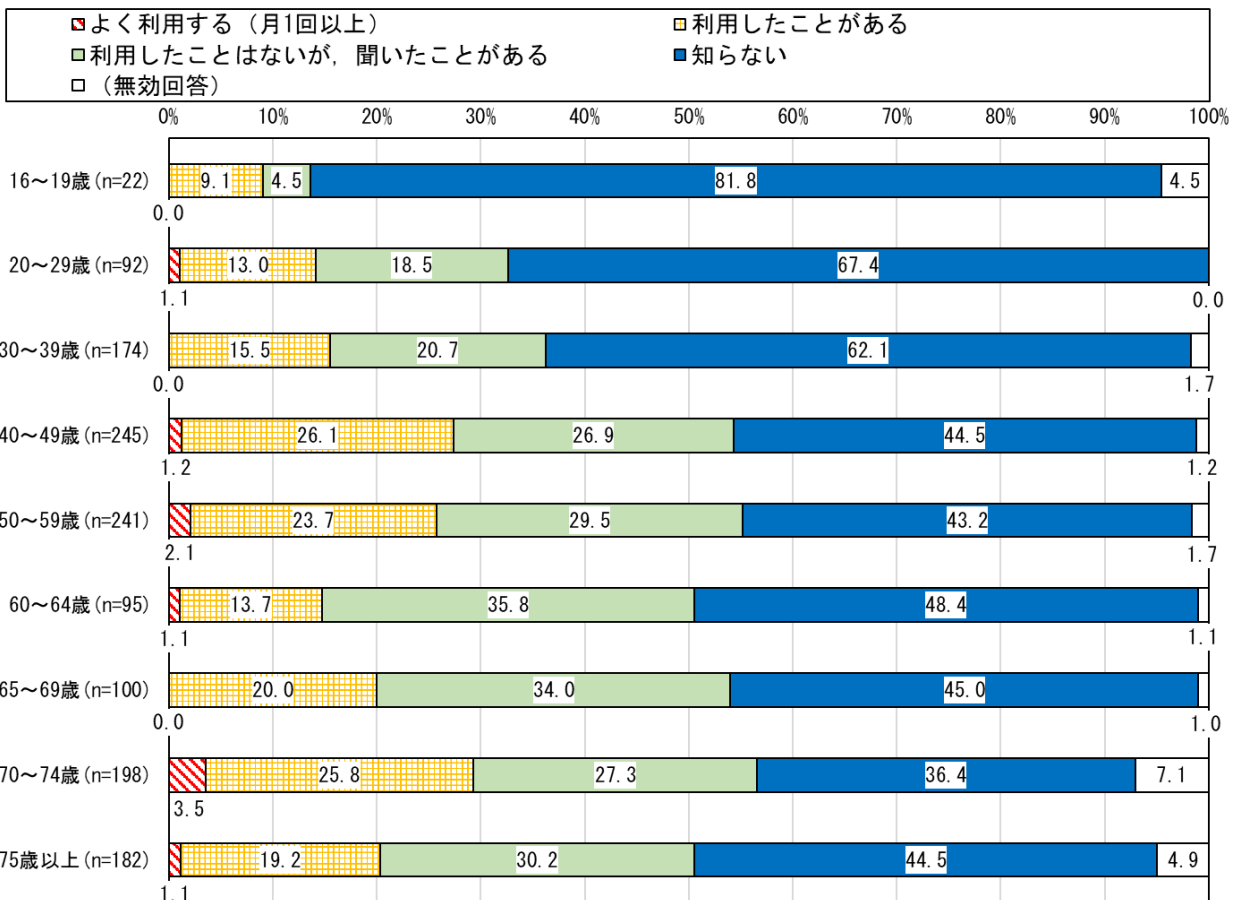
<経年比較>

○令和元年度の「よく利用する（月1回以上）」と「利用したことがある」の合計は、前年度の19.1%と比べ3.1ポイント増加しています。



<年齢層別>

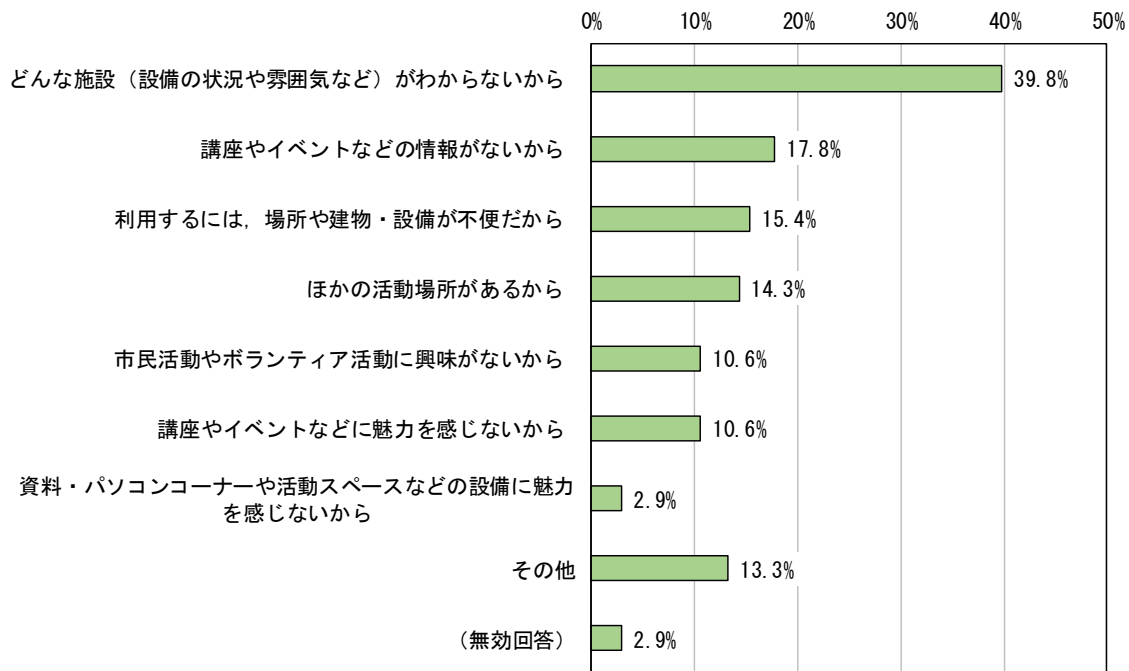
○いずれの年齢層でも、「よく利用する（月1回以上）」と「利用したことがある」の合計は30%を下回っています。



問 41-1) 調布市市民活動支援センターを利用しない理由は何ですか。

<全体 (n=377) >

○「どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから」が39.8%で最も高く、次いで「講座やイベントなどの情報がないから」の17.8%、「利用するには、場所や建物・設備が不便だから」の15.4%の順となっています。



<年齢層別>

○75歳以上では「ほかの活動場所があるから」が最も高くなっています。それ以外の年齢では「どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	377	1	17	36	66	71	34	34	54	55
どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから	150	1	9	15	28	27	13	16	20	17
講座やイベントなどの情報がないから	67	0	1	9	10	12	3	5	13	12
利用するには、場所や建物・設備が不便だから	58	0	0	4	14	14	4	3	8	9
ほかの活動場所があるから	54	0	2	3	4	8	4	7	8	18
市民活動やボランティア活動に興味がないから	40	0	4	5	9	9	2	1	5	4
講座やイベントなどに魅力を感じないから	40	0	2	4	5	9	3	4	5	8
資料・パソコンコーナーや活動スペースなどの設備に魅力を感じないから	11	0	0	2	3	3	1	1	1	0
その他	50	0	2	5	11	5	10	3	6	6
(無効回答)	11	0	0	0	0	1	1	4	3	2

回答割合が最も高い： (上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が2番目に高い：